

# 1月号 (No. 171)

1988年1月10日 (毎月10日発行)

1年間予約制(送料共) 2,000円 1部頒価 200円

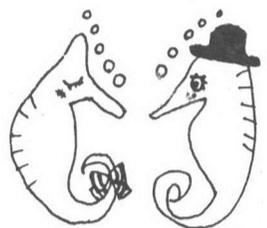
## 発行 「交流」編集会議

東京都中野区江古田4-17-14 (増野潔気付)  
〒165 電話(03)385-2293  
郵便振替 東京 4-51709



◆「交流」は、いろいろな生活領域から、体制に異議申し立てをしている人々相互の交流と討論と発展のための月刊新聞です。

◆原稿料は払いません。編集作業も無償です。購読料とカンパによって、印刷費・郵送費をまかないます。



### お好み対談(27)

訪問看護婦 須田やす子  
高校教師 佐々木 賢



佐 お子さんを自由の森学園に入れたんですよ。その経緯をどうぞ。

須 始めは普通の公立小学校にいたんですけど、いつも「変わったことする」といわれて学校に呼び出されてね。

佐 例えはどんな。

須 うん、写生会の時に、うちの子が「やりたくない」と言っていてランドセルしよって立っているんだって。教師はそれ見て、「学習障害児」だつてすぐ親のところに電話かけてくるわけね。

それで小学校五年の時に明星学園に転校させた。子供の意志を確認しないままね。

佐 ふんふんそれで…

須 そしたら、担任にいじめられるんだな。殴られる。おまえなんか公立に帰れって。明星学園といつても、看板の点数数列を否定する教師は数えるほどしかいなかったみたいで。

それで中学にあがる時もすつたもんだをしてね。とにかく中学にはあがったんだけど、中二中三と登校拒否になるわけ。

佐 そのころ自由の森設立の話が出てきたんですよ。

須 そうそう。明星学園の内部進学テストに反対して辞めた遠藤校長が、理想の学園を作つて下さるのを見て、登校拒否させて待っていたってわけね。

ところが、「自由の森が出来ても駆け込み寺にはしたくない」なんて話が耳に入って落ち込んだ。悲しくて泣けてね。

そのうち腹がたつてきて「受ける権利はある筈」と発作的に寝ている息子をたたき起こして受験させた。案の定高校は落とされ、「中学なら」と言われてもう一度中三をやったの。

須 登校拒否をしていた頃、お父さんは何をしていたんですか。

佐 二回の中三の時ピースボートの事務局に入ってスタッフとしてやっていた。ワープロなんかも打てるようになってね。

須 で、自由の森での進級はどうだったの。

佐 それ、どういふこと。

須 「おれは肉体労働は出来ないし」とか「制度としての学校との接点もないし」とか。近頃文句をいう。「うちの親は一般社会の常識がなかった」と。

佐 「宿題をやつてないおれを、暗に状況をみて」とかだね。これもおかしなもので、公の書類を出す時どこに在籍する事になるのかって学校に問い合わせたら「高校在学中です」と。じゃあ入学できてるんだなあ、てな感じ。

佐 お子さん、ピースボートなんかをやつていて、いろいろ変わつてきているでしょう。

須 自分のやりたいことをやっ

よね。父が地方教育事務所長をしている時など、所謂情実人事のくちききなどをしているのね。僻地から一年早く転勤させるといふようなね。

私の通信簿にはいつも5がついてる。そういふつじつま合わせがあるわけね。褒められ地獄というやつね。学校を憎んでいたものだから、わが子を、しんたものところに知らずに追い込んでいたかもしれない。

佐 でも学校へ行かないことで得たものもあるでしょう。

須 うん、ピースボートにいたり、座談会にたり、雑誌に文を書いたり、それに、漱石や賢治や親鸞なんか読んでたりしているのね。でもタレント並みに発言させられるのも十七歳だからこその、二十二歳ではただの人ということになりかねない。个性的な子が育つたなんて言われると、後ろめたい。漢字の書き取りや三桁の割算ができなかったりするしね。

佐 自由の森にその個性を育ててくれる事を期待した。

須 そう、その時はね。でも今から考えるとんでもない間違っていた。「点数で評価しない、個性で評価する」なんていわれた、それをいふことのように感じたりしたけど。個性で評価するなんてのもって残酷なのに。個性を評価されたら、点数の時よりもって傷つんだよね。

佐 全くその通り。個性なんて他人に伸ばしてもらえないのじゃあなく、伸びるものなんだ。

須 「パラティに富んだ教育ができる」なんてのは、名実とも批判がある。

須 そうね。自由の森こそと選んで入れようとした親達が書いた教育答申という感じだね。

「子どもをどう教育しようか」とばかり考えていてね。もう止めたらどうかとか、休んだらどうかという発想が全然ない。

佐 ある種の選ばれた人の発想だといふわけですか。

須 そう、そう。わかっちゃって教育ママやつている人の方がなんぼか上で、私なんか「教育ママになりたくない」と思つていて、その実、自分の期待を自由の森に託したりして、ものすごい教育ママだったわけで、そのいやらしさを、今しきりに反省してるのね。

佐 だけどね、今は登校拒否の初期の子も達がそろそろ成人に達して、社会に出始めた。この層をどう扱うかということが、これからの課題なんだな。下手をすれば被差別層となりかねない。まず存在を認めること、登校拒否は褒めるべきものでもひがむべきものでもなく、普通の仲間として居場所を探さなくては…。

須 それで、お子さんは今どうしてますか。

佐 友達の人と一緒に下宿して、学校に通い始めているんだけど…。

須 教育というのは大人の願望なんだな。「子どものために」なんて言わず、願望だつてことをもつと自覚した方がいいね。

### 本の紹介

◆深見史「視たあなたに(自己解放史序説)」企画室おおいえ発行・千三百円(徳島市前川町一―一九〇八八六・五三・〇六三三)

先月号にも登場した史さんが

これまで、「現代子育て考」等いろいろなメディアに書いてきた詩的エッセイを集めたもの。

◆大今紀子「ええやんか生徒と教師の恋」にじ書房/千四百円

ハレンチ教師と週刊誌等に書かれた歩さんの「不当処分反対闘争」を軸に、紀子さんの個人史を書きおろしたものだ。この闘いは本誌でも何度か紹介した。

### 電話料の謎

中西敦子

今日び価格を明示しないで物を売る業種があるなんて思われませんか？そんなものあるかなあ。一寸思いつかないでしよう。ところがお手もたの電話がそんなんです。NTTはサービスを売ります。NTTはサービスもよこさずダイヤル通話料としてグロスを示すだけです。本当は明細は作れるのに作らないのです。一寸米国のベル会社の明細を見て下さい。

米国では一ヶ月約十五ドル(約千円)の固定した徴収の中にその地域の通話は何百回であろうと回数をおまかせされていきます。だからローカルコールだと人に電話を借りるのも借り易いわけです。その区域以外はロングディスタンスですが、これが明細が示す通り、日時、時刻、相手の場所と番号、何分話したか、レイトの区分(Aはフル、Bは夕刻割引25%、PM五時~PM十一時、Cは深夜割引50%、PM十一時~AM八時、Dは週末(土日)割引35%、0は10分間1ドル)そしてチャージのところで、その一回の通話がいくらか明確に出ています。遠距離電話を人の電話でかけさせてもらつても、ビルが来て明細を見てからその通話の料金を払えるからすつきり気がいいです。ところがNTTのやり方は近距離も遠距離もごたませのグロスで示しており、こんなにかけたかなあと思つても証拠はなし泣き寝入りするだけです。取り放題もできるし機械が間違つたとしても証明するものはなし、こんなに取り合ひ都合がいいやり方であつていいものでしょうか？日本の技術が米国の技術より劣っているわけでもありません。日本でも長距離で料金を知りたい場合オペレーターに申込みば知らせてくれます。でも日常生活で一回一回オペレーターに申出ることは実際上不可能です。私も米国でビルを手にするまでは明細が可能なことを知りませんでした。人民が知らないのはいかに政治的ですか。日本人は狂乱物価とインキ出費(例えば入学金、礼金、敷金)に馴れ切つていて、金銭感覚がマヒしてしまつています。品物を購入する時はいくつか店を見て廻つて品質を価格を較べたりし納得づくで買います。それなのに電話に限つては向こうの言い値で払うのです。明細が可能なのによこさないのだから人を馬鹿にしてあげらるをわかってるのです。日本人ほど怒らない丸めこまれやすい人種はありません。お金のことでガタガタ言うのは貧乏くさいみつもなないという感覚も骨の髄までしみこまされていきます。これがインキ商法でないというのなら明細を出すべきです。私は今住んでいる市のNTTにこのことを三回言いました。すると一人は「一回一回の通話を記録する設備がないし作ることも莫大な費用がかかる」と言いました。あとの二人は「プライバシーの問題があるので明細は出さない方もおられますので」との返事。明細を出さずには商売のイロハです。明細が欲しいかわらないか全員にアンケートをとつたわけでもないのにプライバシーのせいにするのはどう答えるよう指導されているのです。「よく言えよ」と思いました。お客さんのプライバシーのためだつて、そんなのおためごかしだ、本心は出さしたくないのだと直感で思いました。あの時の通話がいくらと一回一回出さしたくないのです。何故なら高いから私ばかりの時一回一回記録をとつてみただけです。ビルを見たから公衆でかけてたらこれの半額ですんだ筈だと思える。(後略)



# 今日行くがや 体育教師(18)

愛知 岡崎まさる

### 「父母との連帯」ってなに？

●Aさんの場合

新年にふさわしくないけど、張りつめた空気が、スーッと抜けてまうような事があるでしょう、みなさんにも、人によって色々だわな。そういう事は、たのむでやめてちょーといふことだわな。

わしの学校における事務職員の森島さんは、朝、コンクリートの道路に、使用済みのコンドームが落ちると、スーッと気が抜けるといふんだわ。やっぱりゴミは散らかしたらいかんわさ。それから、チャイムが鳴って「さあ授業ノ」というときに、「コーヒーでも一ぱい飲まん？」と誘ってくれる声聞くと、わしはスーッと力が抜けるがね。もちろん、コーヒー飲むけどよ。

昨日、今日、そして明日、わしの学校では個人懇談(保護者一人ひとりと会って子どもの話をやる会)をやる。今日は、ちょうどまん中の日だわ。基本的にはよお、こんなもやりのたなわ。そんなもんで、子どもたちに、「個人懇談を希望するか、パスするか、どっちでもいいのか聞いてこい」と言ってる。そうすると、時代の流れで、どっちでもええよというのが、けっこう多い。わしにとっては、どっちでもええよというのとは、パスと同じだわさ。三十八人中十人が「どっちでもええよ」、五人が「パス」だわ。結局、十五人をパスにしたつたわさ。一人十分位だけど話をしとると結構色々なことがある。結論を言うと、わしは、ほめちぎることにしてる。

●Cさんの場合  
この人の場合、ほとんど他人の子どもと母親の悪口に終始する。わしは、「ヘエー」「フーム」

「なるほど」をくり返すだけ。こういう人は、近所でもあまり相手にされず、さみしい日常生活を送っているのだから、たとえ十分でも相手になってやればええ。それで満足してらんだわ。サビビス業だてよ、教員は、Dさんの場合

岡崎先生はいい先生のくり返して終る。こうゆう人は大歓迎だがね。ウソでもエエ。幸せいっばいで、ルンルン。わしもお子さんも素直で本当にええ子だわ。Eさんの場合

前々回、担任の他に数ヶ国語話せる語学専門の先生がいると書きましたが、驚いたことに佳代は週一回、個人授業をしてもらっている。ペニーというその先生は、シソガポールで4年間、子供から大人まで英語を教えていたそう。日本にもとても興味をもっているそう。

自分のつれ合いの不満を限りなくしゃべるでいかんわ。はじめは、子どもの教育に対して不熱心だつちゆうんだけど、性格が悪いだとか、色々と言っでいかんわ。こーゆーのが、いつちやん(一番)つかれるさやあ。

「別れりやええがや」と言いたいけど、不用意な事言うて、あとで、えりやあめに合うでね、「そいうですか、大変ですな」ぐらいにしとく。

家を出たお母さんのことで、わしはナンも知らんのに、「岡崎先生に相談して出ることにしたそうすね」なんて話が広がってまっつた事も、ずっと昔にあった。その父ちゃんにもイヤ味言われるし。わしは知らんがや、それを言っつたのが、耳鼻科医院の受付のねえちゃんという、わしの全く知らん人、世の中は、おそろしいな。出ようが、出まいが、その人の問題だわ。

生徒は自分がやりたいことに手話せる語学専門の先生がいると書きましたが、驚いたことに佳代は週一回、個人授業をしてもらっている。ペニーというその先生は、シソガポールで4年間、子供から大人まで英語を教えていたそう。日本にもとても興味をもっているそう。

木曜は図書館の付き添いか授業の手伝い、金曜は英語、そして火曜は、クラス全員で日本に帰る本を一冊、秋の学期一杯かけて仕上げるのだそう。私は文化大使といったところ。

紙の折り方を教え(ツルと風船しか折れないのに)ついでこの間は白玉あずきを子供達につくったという程度なんです。

先生が今日のテーマに關係のあるお話しや本の紹介をした後「真由美と白玉つくりたい人」「剣道の絵を描きたい人」と聞き、

「かかん(管理教育はあかん)6号」ユニテ出版が出版した。佐々木賢十山本哲士十岡崎の格調高い対談があります。終刊号ですが、僕も他にいくつか書いてます。ぜひ読んで下さい。

●Fさんの場合

何度か時間の変更をして、ようやく決めた日に、来ない。むなくストロブだけが燃える教室で、わしは「ええかげんせーよ」と、なげなくつぶやく。はじめつからパスしやええがや。父母への信頼が、ソフトクリームのコーンのように、音をたててむなくくずれ去つたがや。

父母との連帯を夕という教育のスローガンも、ときどきはむなくなくなるでいかんがね。

実際に金銭的にも精神的にもかなりの援助がなければ大学まで進学することは困難な様です。私のグループは物珍らしさもあつてなかなかの人気なんです。

授業は4時に終わりますが、それから7時までは学校で遊んでいいのです。その間お菓子やジュースも学校で売って食べていることが出来るし、ビリヤードやピンポンもあつてなかなか楽しそうなんです。

週2ポンド(500円位)の給食費だけで申し訳ない位に思うんだけど、こちらでの公立学校の評判は悪く「あんな所に行かしていたら子供が馬鹿になる」という極端な意見を耳にしたことあります。実際に公立学校に通わせている親の半分は、金銭的余裕さえあれば私立に行かせたいと考えているという統計もあるんです。

その理由は私なんか説明できる程簡単なことではないのですが、サッチャー政権による教育費の大幅削減や伝統的な階級社会、移民の増加等が拍車をかけているようす。

私がお話した人の殆どは、このふりわけ教育に批判的でした。天国は小学校まで、しかもそれもふりわけの準備段階といふ所なのですよ。



「男の寺小屋」  
日時：一月三十一日(日) 一時  
会場：中野新井老人会館

「痴漢を考える」  
日時：一月三十一日(日) 一時  
会場：清水博文さん

「男の子育てを考える会」  
日時：一月三十一日(日) 一時  
会場：中野新井老人会館

※なお、この場を「法廷」にする気は全くありませんので検事役、裁判官役はご遠慮下さい。それをやりたい方は、別の場を設定下さいますように。

「男の子育てを考える会」  
一月例会は、一月十九日(火) 七時半より。

「ミニ・シンポ「男たちヨ・越えられるか?」のハードル」仕事・昇進・育児」  
日時：二月六日(土) 二時  
会場：千駄ヶ谷区民館(原宿駅)

「毛利子来さんの毎日出版文化賞受賞記念パーティ」  
日時：一月三十一日(日) 五時  
会場：新宿・東京大飯店

「おんなの学校「フツ」の生活」  
日時：一月三十一日(日) 二時  
会場：秦野市ほうらい会館

「共同保育の専従募集(男女を問わず)」  
〇四三・六七・〇九八六  
ごんべのお宿保育園(府中市是政一四八一九)

「おんなの学校「フツ」の生活」  
日時：一月三十一日(日) 二時  
会場：秦野市ほうらい会館

「共同保育の専従募集(男女を問わず)」  
〇四三・六七・〇九八六  
ごんべのお宿保育園(府中市是政一四八一九)

## ロバソの小学校

### PART 3

#### 川村まゆみ

私に勉強は本来楽しいことだと思えます。わからないことが理解できた時の喜び、新しい事に挑戦する楽しさをこそ、子供に伝えたい。

でも例えばどんなにおもしろい推理小説でも初めの登場人物や背景がわからないと楽しめないのと同じ様に、基本となるルールや法則等、とに角覚えなくちゃ始まらないという部分も少なからずあります。

そこをどう興味をもたせて、やらせられるかが教師や親の技量だと思っております。(あくまで小学校レベルの話ですが)

子供はおももしろいと感じたこととは一度で記憶してしまうけれども、嫌な事は10回言わせても覚えなない。それを20回でも30回でも言わせたり、ひどいことになる恥をかかせたり、人と比べたりすること無理矢理に覚えさせるのが日本のやり方と言え

今、佳代も別人の様で「算数ってパズルみたいだね」なんて笑ってます。やれやれ。

日本とイギリスでは期待される社会人像そのものが異なるのだから、教育方針が違うのは当然だし、英国式が全ていいと思わなければ、こんなにもびびっている子供達を見ているとやっぱりなんとかしたいなあという気になってきます。

共働きが増え、兄弟が減り、空地や近所のワンパクグループも消えてどんどん孤立してゆく子供達。その上生活の大部分を占める学校では、おもしろいこともつまらなくしてしまう一方的な授業で、嫌でも我慢してやらないと、落ちこぼれたのではない子供という評価が待っている。これじゃ子供はいつ自分の力を試したり、生きることに自信をつけていたりできるのかしら。やっぱり大人たちが何かしなくちゃいけないのかなあ。私達が子供の頃にあったもの、今の子供が奪ったのは大人の都合だし、私も片棒かついで来た様なもんだもんね。

(おわり)

# ぼくの保育日記

## 門野悦生 (12)



冬の空にむかって、「サタさん。ゴタにも来てね。」

と、ゴタツツたちが叫ぶと、次の日東京は雪だった。「きつと、サタにぼくらの声が聞こえんだヨ」

大人たちが冬まつりの準備でアタフタして、子どもたちは天気が悪い日が続くため外出できずエネルギーがたまりイライラしているゴタの年末です。

公立保育園の参加実習が終わりゴタにもどった僕の気持ちにちょっとした動揺がおきた。

午前中のお散歩へ行く前に、こどもたちを全員集めて、「どこへ散歩行きたいか決める時がある。子どもたちを集ませるために本を読んだり、興味のある話をしたり大人たちは苦勞する時だ。しかし必ずといっていいほど一人や二人は話の中に入れては個人で勝手に遊んでいる子が多い。今までは僕がこういふ子はほっておいた方だった。しかし公立保育園へ行くと、ゴタツツの子2倍以上いる子どもたちを一人でまとめている保育者に出会った。一日目、全員がきちんと集中している光景にア然とした。二日目、子どもたちの姿にゾッとされた。三日目、どうしてだろうと保育者の動きに注目した。四日目、保育の技術に感心した。五日目、いっしょになってやっていた。

「朝の相談時間に集中してない一人の子もがやたらと気になっている自分がいた。いろんなことをして子どもを全員集中させ、集中してくれる子どもたちを見て感動している自分がいた。ハッと気がついたとき、とつともなくおそろしいことをしている自分がいた。公立の保育園の子どもたちは、もちろん保育の技術も認めるけど、毎日決められた時間に集中するように訓練されていたのだった。今、思い出すと第一目に見たときゾッとしたというのは、子どもたちがのっていない姿勢で、自然にそうなるように訓練されていた姿に僕はゾッとしたので。遊びの一つとして持ってきたものを技術として使った、子どもの気持ちをそのままにして、自分の気持ちをおさえていく、確かに始めは子どもたちの気持ちはのっていた。そして僕も、自分の気持ちをおさえていく、自然にそうなるように訓練されていた姿に僕はゾッとしたので。遊びの一つとして持ってきたものを技術として使った、子どもの気持ちをそのままにして、自分の気持ちをおさえていく、確かに始めは子どもたちの気持ちはのっていた。そして僕も、自分の気持ちをおさえていく、自然にそうなるように訓練されていた姿に僕はゾッとしたので。

「別に引っぱってなんかいません。ただあいつらがついてきてくれるんですよ。」

「え……」

普段おつかない顔しかしていません。あの時、あの頃の思い出。ある日、「やれるものなら(退学)やってみろ」と教師のケンカを買った。それを見ていたツツツ連中が毎日僕の所へ来て、相談する者、グチする者、遊ぶ者と仲間が増えた。生徒の大半が教師のおどしにのらず、僕の気持ちにのってきいてくれた。もちろんおもしろくない教師たちも毎日のようにイビり、手を出させて退学を考えていた。

しかしその挑発にのらずグツとたたえた。そして正当法でせめていくと仲間が増えた。あいつらを引っぱっていいこうなんて思っても、対学校、反教師と目的がみな同じだった。ツツツでもガリ勉もアベレージもみんな僕と同じ気持ちになった。

「つまらない授業だ。」

「うるさい。だまっていてろ。」

つまらない授業の時、あの手ので脱線し、おもしろい話にしていきクラスを笑いの声の出るようになった。授業後はきつちりとおこられたけどその教師

が最後と言ったことは、

「どうしておまえはそんなにあいつらのことを引っぱっていいんだ？」

「別に引っぱってなんかいません。ただあいつらがついてきてくれるんですよ。」

「え……」

普段おつかない顔しかしていません。あの時、あの頃の思い出。ある日、「やれるものなら(退学)やってみろ」と教師のケンカを買った。それを見ていたツツツ連中が毎日僕の所へ来て、相談する者、グチする者、遊ぶ者と仲間が増えた。生徒の大半が教師のおどしにのらず、僕の気持ちにのってきいてくれた。もちろんおもしろくない教師たちも毎日のようにイビり、手を出させて退学を考えていた。

僕がツツツのガキ大将をしてた時、それはあいつらと同じ気持ちでいたし、あいつらを引っぱっていいこうなんて思っても、対学校、反教師と目的がみな同じだった。ツツツでもガリ勉もアベレージもみんな僕と同じ気持ちになった。

「つまらない授業だ。」

「うるさい。だまっていてろ。」

つまらない授業の時、あの手ので脱線し、おもしろい話にしていきクラスを笑いの声の出るようになった。授業後はきつちりとおこられたけどその教師

が最後と言ったことは、

「どうしておまえはそんなにあいつらのことを引っぱっていいんだ？」

「別に引っぱってなんかいません。ただあいつらがついてきてくれるんですよ。」

「え……」

普段おつかない顔しかしていません。あの時、あの頃の思い出。ある日、「やれるものなら(退学)やってみろ」と教師のケンカを買った。それを見ていたツツツ連中が毎日僕の所へ来て、相談する者、グチする者、遊ぶ者と仲間が増えた。生徒の大半が教師のおどしにのらず、僕の気持ちにのってきいてくれた。もちろんおもしろくない教師たちも毎日のようにイビり、手を出させて退学を考えていた。

しかしその挑発にのらずグツとたたえた。そして正当法でせめていくと仲間が増えた。あいつらを引っぱっていいこうなんて思っても、対学校、反教師と目的がみな同じだった。ツツツでもガリ勉もアベレージもみんな僕と同じ気持ちになった。

「つまらない授業だ。」

「うるさい。だまっていてろ。」

つまらない授業の時、あの手ので脱線し、おもしろい話にしていきクラスを笑いの声の出るようになった。授業後はきつちりとおこられたけどその教師

「つまらない授業だ。」

「うるさい。だまっていてろ。」

つまらない授業の時、あの手ので脱線し、おもしろい話にしていきクラスを笑いの声の出るようになった。授業後はきつちりとおこられたけどその教師

が最後と言ったことは、

「どうしておまえはそんなにあいつらのことを引っぱっていいんだ？」

「別に引っぱってなんかいません。ただあいつらがついてきてくれるんですよ。」

「え……」

普段おつかない顔しかしていません。あの時、あの頃の思い出。ある日、「やれるものなら(退学)やってみろ」と教師のケンカを買った。それを見ていたツツツ連中が毎日僕の所へ来て、相談する者、グチする者、遊ぶ者と仲間が増えた。生徒の大半が教師のおどしにのらず、僕の気持ちにのってきいてくれた。もちろんおもしろくない教師たちも毎日のようにイビり、手を出させて退学を考えていた。

しかしその挑発にのらずグツとたたえた。そして正当法でせめていくと仲間が増えた。あいつらを引っぱっていいこうなんて思っても、対学校、反教師と目的がみな同じだった。ツツツでもガリ勉もアベレージもみんな僕と同じ気持ちになった。

「つまらない授業だ。」

「うるさい。だまっていてろ。」

つまらない授業の時、あの手ので脱線し、おもしろい話にしていきクラスを笑いの声の出るようになった。授業後はきつちりとおこられたけどその教師

が最後と言ったことは、

「どうしておまえはそんなにあいつらのことを引っぱっていいんだ？」

「別に引っぱってなんかいません。ただあいつらがついてきてくれるんですよ。」

「え……」

普段おつかない顔しかしていません。あの時、あの頃の思い出。ある日、「やれるものなら(退学)やってみろ」と教師のケンカを買った。それを見ていたツツツ連中が毎日僕の所へ来て、相談する者、グチする者、遊ぶ者と仲間が増えた。生徒の大半が教師のおどしにのらず、僕の気持ちにのってきいてくれた。もちろんおもしろくない教師たちも毎日のようにイビり、手を出させて退学を考えていた。

しかしその挑発にのらずグツとたたえた。そして正当法でせめていくと仲間が増えた。あいつらを引っぱっていいこうなんて思っても、対学校、反教師と目的がみな同じだった。ツツツでもガリ勉もアベレージもみんな僕と同じ気持ちになった。

「つまらない授業だ。」

「うるさい。だまっていてろ。」

つまらない授業の時、あの手ので脱線し、おもしろい話にしていきクラスを笑いの声の出るようになった。授業後はきつちりとおこられたけどその教師

が最後と言ったことは、

「どうしておまえはそんなにあいつらのことを引っぱっていいんだ？」

「別に引っぱってなんかいません。ただあいつらがついてきてくれるんですよ。」

「え……」

普段おつかない顔しかしていません。あの時、あの頃の思い出。ある日、「やれるものなら(退学)やってみろ」と教師のケンカを買った。それを見ていたツツツ連中が毎日僕の所へ来て、相談する者、グチする者、遊ぶ者と仲間が増えた。生徒の大半が教師のおどしにのらず、僕の気持ちにのってきいてくれた。もちろんおもしろくない教師たちも毎日のようにイビり、手を出させて退学を考えていた。

しかしその挑発にのらずグツとたたえた。そして正当法でせめていくと仲間が増えた。あいつらを引っぱっていいこうなんて思っても、対学校、反教師と目的がみな同じだった。ツツツでもガリ勉もアベレージもみんな僕と同じ気持ちになった。

## リレー・ノート

# 性 を考える (10)

たなかまさと

場所、「SEX」するという、  
どれも皆、変わりばえしない映像  
でつまらないといえ、あんな  
つまらないものは、ないんだけ  
ど……

ところがである。妙に体だけ  
は興奮するのである。しつかり  
と余韻が残っているからである。  
そして「SEX」したく  
てたまらないという感じになっ  
てくるのである。(そばに男が  
いれば、どんな人でもSEXした  
かもしれないという感じ。す  
たまたま女の恥である。)シ  
ングルの友達も、男なしでみる  
のはたまらない。男こみで借  
りたっていった。

「やっ」と思った。何だ  
か解放された感じ。だって自分  
の体という自分の性は、男と  
か関係ないことがわかったから  
主権は自分女にあることが  
体で感じられたから。自分の感  
覚は相手によって変わるんでは  
なく、自分自身によって変え  
られることがわかったから。ま  
たかく、私もスケべになれる  
ことが、本当にはうれしかった。  
中学生の頃、こっそり読んで  
週刊新潮とかの小説「桐山三子」  
とか「川上宗薫」とか読んで性  
のよさ(なつかしいこと)は  
のを見て、(僕)ビデオなるも  
のを楽しんでおられるかといは  
は内容を御存知のとおり、女が  
いて、男がいて、オナニーした  
り、おそれたり、いろいろな

つぶれるのが早いか、僕の店が  
つぶれるのが早いか競争しませ  
んか。というものはジョーダン  
で、いつまでも長く、内容をコ  
ク、カラク、オイシク、アツク  
ラーメンのようにがんばって下  
さい。(京都 正一)

「気管支せんそくの息子の転地  
療養を兼ねて、田舎へ落ちさ  
ることにしました。息子ならず  
とも、思はずむせ返ってしま  
う息苦しさの昨今、交流は元氣  
の基です。ガオーッ、  
(所沢 浩次)

「あの私にとって、死を視野か  
らはずして語られる生は何か片  
手落ちのような気がします。人  
は、そのいのちが有限だからこ  
そ互にかかわるのではないで

「交換」よ、二百号までもう  
すぐだぜ。長文のシリーズもん  
が多くなっちゃって、おもし  
ろくなくなっちゃったな。と思  
つた頃、清水のダンナのチョ  
ウハツ文章が出て、ガゼン活気  
がどう?

男と女が互い世界で、ハダ  
カになつて、ベッドインキー  
ングしかないのかもしれない。  
それでも、一行二行のイント  
ロにハツとさせられることの多  
い「交流」紙の交流者よ、あり  
がどう?

ど、送れるかどうか決まると  
思っていました。だから反対に  
「女ははかばか無知で従順なほど  
良い」ということになると思っ  
ていた。「女がいろいろ経験した  
り、自分の考えをもつたります」  
のは、性生活に関しては弊害に  
なるかと思つていた。男性は、  
いろいろ経験して、有能な(？)  
男になったほうが、女性のため  
に良いのかなあと思つていまし  
た。(男でこう思つている人案外  
多いんじゃないかな。小さい  
ころから育てても、自分に思  
いどおりの人間が出来あがるわけ  
はないのわかっていのに、こ  
と性に関しては、やり方によ  
って、自分の思いどおりの女男  
になるかと思つたから、けつさ  
くといへば、けつさくだヨネ。  
恥かしい話ながら、私もオル  
ガズムに達しなくても、相手の  
男性に悪く、「技術がへたと思  
って傷つくと」思つて、達した  
りをしてきたこと、たびたびあ  
あ、

余談になるけど昔「主婦の友」  
とかのふろくなんかは「ドク  
トルエゴ」とかいて「体位」オ  
ンパレードだったけど、あれも  
流行つてあるのかしらネ。  
もう一つ余談だけど、ビデオ  
の中の人、妙に暗く弱々  
しくて、あわれっぽいよネ。  
ひたすら女性を喜ばせるため  
に奉仕しているという感じ。外  
国のなんか、女性にはむしろ  
るくて、「フォロ」だもんな。  
ま、とにかく「男」やってあ  
げる人。女「感じる人」とい  
う考え方。さようなら。「男」  
人。女「犯される人」という考  
え方さようなら。「男」加害者。  
女「被害者」という考えさよう  
なら、である。

どっちかが優位に立つてこ  
とおかしいと思つたよネ。だ  
から強姦なんぞというのくだら  
ないと思つたよネ。「SEX」そ  
のものは、相互運動なんだから。  
この前思春期の娘の裸を(ち  
らつと)見たけど、美しかった。  
若さにあてられた感じがした。  
で、もう肉体的には、若さには



# 印刷屋がなぜ「ほう助罪」?

## フリーライター (い)のつせつ(二)

87年の統一地方選立候補(無所属、横浜市議)として見事に落選した私が、選挙ポスターやリーフレットの印刷でお世話になった東京の印刷屋さんが「警察につかまった」と聞いてビツクリ。

どうして? 「売春防止法ほう助罪なのよ」と聞いて、二度ビツクリ。

八六年の末、東京は新宿歌舞伎町の交番横で小さなプリントショップを営むAさんと仕事仲間のBさんがピンクチラシを刷ったとして売防法ほう助罪で書類送検された。Aさんは妻とわずかな従業員で「前金でお願いします」という零細企業の印刷業を営む誠実で篤実な庶民である。Bさんも書類送検されたこととで一部の新聞が実名報道したために仕事がバツと減って八七年六月に倒産した小さな印刷会社を営んでいた。

歌舞伎町での商売ともなれば印刷物の内容は関係者に送る開店の挨拶、宣伝用チラシ、名刺のたぐいである。なかには、右翼の宣伝チラシやヤッチャンの破門状もあれば、警察関係や交通安全のポスター、チラシなどもある。Aさんは、安くて早くでキレイに仕上げるといふことで警察や区役所からも紹介されたとあってやってくる客ささいるマジメな印刷屋さんなのである。午前七時には店のシャッターをあけて午後十一時まで仕事をし、帰宅するという毎日を送っている人である。

その印刷屋さんが警察によばれて調査をとられて(本人は参考人としてよばれただけと思っっていた)起訴されたのは、一九五六年(昭和三十一年)に制定施行されたザル法で有名な「売春防止法」。

印刷業というのは、出版物にとつては欠かすことが出来ない最終過程の一つで、どんなすぐれた文章も写真も印刷されなければ「表現」されることにはならない。だから江戸の昔から権力者(オカミ)は言論・出版・報道の取りしまりに異常な熱意をもやす。テレビの時代劇で有名な大岡越前も一七三二年(享保七年)に「出版各目」を出して、第一に権現様(家康)を論じてはならない。第二に好色物(ポルノ)を出さない。第三に好色物(ポルノ)を権力批判と好色出版物をまっ先に取りしまったのである。この流れは現在も「公序良俗に反する」印刷物規制となつて続いている。

八七年二月に始まって十二月十四日で第十回公判(東京地裁)を続けているこの裁判は、オカミ側の予想に反してスポットライトがあたりはじめた。「印刷屋」というのは、注文された印刷物を正確に製作するの仕事で、その内容についてせんざくする権利も時間もありません(第10回公判証人「印刷ジャーナル」社長)。

「売春は許せないけれど、なぐで組合にも入っていない弱い直接関係のない印刷屋さんを罪人にするのよ」と、作家でAさんの店の版下製作を請け負っている丸山友枝子さん(死刑をなくす女の会)はじめての愛阿部定等の著者や中山千夏さん、寿岳章子さん(元京都府立大教授)たちの「花の応援団(印刷屋がなぜほう助罪?)の会」がうまれて、署名運動もひろがっている。

そして「これは憲法問題だ」とする弁護士には、六価クロム(七〇〇〇円、この会社、四〇人(本社)中八十九人が大型免許取得者。意外と少ない。時間外が五〇〇円(二時間)AM八時PM五時プラス残業三時間で一日八千五百円。仕事内容は、メイル会社の専属となる。始めの五日間は先輩の助手をやる。車も運転し慣らす。何と先輩はほとんどこんな調子。もうこれで無かり。ビツクリノ6日目からひ

一昨年の末で前の仕事を辞め、失業保険を受けながら休養、さとお金も無くなってきた。そろそろ働かなければと考えたのが、運転手。運転手と聞いて、まず頭に浮かぶのが、「大変」という言葉かしら。荷物の積みおろしや知らない道を地図を見ながら行ったり、車の大ききにも慣れるまで時間がかかりそうだし、それでも運転手になろうと思つたのは、車に乗るのが好き。給与が良い。直ぐ働ける。女性の仕事としてはまだまだ新しいので、どんなものか見てみたかった。(好奇心から)

さて、運転手に実際になる為には、普通大型免許を講習所に取りに行きました。この講習所は、今年の二月号「交流」現代職業カタログにも紹介された所です。お陰様で毎日二時間乗れて、二週間程度免許が取れました。この免許さえあれば、どこに行っても働けると思つたのも束の間、職探しには苦労しました。職安に行つて女性の求人を見ると宅配か、タクシー(免許を持っていない)で求人も少ない。そこで男性求人の中から自分で出来るような内容(荷物は

ミ側の予想に反してスポットライトがあたりはじめた。「印刷屋」というのは、注文された印刷物を正確に製作するの仕事で、その内容についてせんざくする権利も時間もありません(第10回公判証人「印刷ジャーナル」社長)。「売春は許せないけれど、なぐで組合にも入っていない弱い直接関係のない印刷屋さんを罪人にするのよ」と、作家でAさんの店の版下製作を請け負っている丸山友枝子さん(死刑をなくす女の会)はじめての愛阿部定等の著者や中山千夏さん、寿岳章子さん(元京都府立大教授)たちの「花の応援団(印刷屋がなぜほう助罪?)の会」がうまれて、署名運動もひろがっている。

公訴訴訟の遠藤直哉を団長に人権擁護問題などにとりくんでいる竹岡八重子、牧野茂の三弁護士が論陣をはっている。反面、この裁判には目に余るピンクチラシをよく取りしまつたとする人や「ピンクチラシは売春春よ」と署名を拒否する人が女性に多いことは事実である。私も女の性を商品化することには反対だが、男女関係をオカミがとりしまることにはセツタイ反対である。「スパイ防止法」がうんぬんされているキナ臭い最近の世の中、「ほう助罪」の判例の積み重ねがオソロシイことにつながるのではないかと、私は思うので「印刷屋がなぜほう助罪?」の会「印刷屋がなぜほう助罪?」の会「連絡先」東京都新宿区大久保一三一九一201 TEL 03(二〇九)八五三九

公訴訴訟の遠藤直哉を団長に人権擁護問題などにとりくんでいる竹岡八重子、牧野茂の三弁護士が論陣をはっている。反面、この裁判には目に余るピンクチラシをよく取りしまつたとする人や「ピンクチラシは売春春よ」と署名を拒否する人が女性に多いことは事実である。私も女の性を商品化することには反対だが、男女関係をオカミがとりしまることにはセツタイ反対である。「スパイ防止法」がうんぬんされているキナ臭い最近の世の中、「ほう助罪」の判例の積み重ねがオソロシイことにつながるのではないかと、私は思うので「印刷屋がなぜほう助罪?」の会「印刷屋がなぜほう助罪?」の会「連絡先」東京都新宿区大久保一三一九一201 TEL 03(二〇九)八五三九

「これは憲法問題だ」とする弁護士には、六価クロム(七〇〇〇円、この会社、四〇人(本社)中八十九人が大型免許取得者。意外と少ない。時間外が五〇〇円(二時間)AM八時PM五時プラス残業三時間で一日八千五百円。仕事内容は、メイル会社の専属となる。始めの五日間は先輩の助手をやる。車も運転し慣らす。何と先輩はほとんどこんな調子。もうこれで無かり。ビツクリノ6日目からひ

「ほう助罪」の判例の積み重ねがオソロシイことにつながるのではないかと、私は思うので「印刷屋がなぜほう助罪?」の会「印刷屋がなぜほう助罪?」の会「連絡先」東京都新宿区大久保一三一九一201 TEL 03(二〇九)八五三九

固定した読者を維持してんだらうけど、あれが世の中を変わるインパクトを持つとは、とても思えないでしょ?つまり、読者も編集者も、ひたすら小さな穴に閉じこもっている感じなのね。

一方、奇抜な味付けに挑戦すると、「こんな料理なんか食えるか?」と皿ごと突っ返す客も当然出てくる反面、面白いことにそんな料理に限って、ハタと膝を打ち、「これこそ探していた味だ」とか言ってくれる風変わりなグルメもいたりして、このスレスレのキワドイ線を探検するのが活字のシェフの楽しみでもある。悩みでもあるような気がするわけ。ある時期に新しくなつた味も、次にはもう古くなつていくんだし、その点では、人間の可変性って、かなりのものだと思うね。この人間の可変性

りづいが、月に二日は休むようにしています。月曜日から土曜日まで働いて祝日はお休み。運転手の仕事で良いと思うことは、一日ひとりで気ままに出来るということ。忙しい、ヒマと時間の調節が自分で出来るようになる。

会社に入らなければ、どこへ行くでも珍らしいが仕事を手伝ってくれる親切な男性が多かったのですが、それも始めだけ。ガツカリ。もうしばらく今の2t車に乗ってから大型自動車にも乗りたいと思つていま。得意先に行つていろいろな会社の仕事を見て、女性にも出来るものが随分あります。道も走っている時にすれ違う女性ドライバーが、どんな車に乗って、どんなものを選んで、次の目標は、大型けん引免許をとってけん引車に乗るか、大型の陸送をやりたいと思つています。やはり車に乗って

率の良いのは大型車で、朝は早く出勤し夕方方は早めに帰れます。今大型車で女性ドライバーが多いのは、ダンパー、これは車から降りずに仕事出来る。ミキサー車、これも右と同じ。そして陸送。これは新車を数台乗せて運ぶが、コースが決つていたりするので安心。たまには長距離に出るのも良さそう。運転手は、女性にとつて「おいしい」職種!!

率の良いのは大型車で、朝は早く出勤し夕方方は早めに帰れます。今大型車で女性ドライバーが多いのは、ダンパー、これは車から降りずに仕事出来る。ミキサー車、これも右と同じ。そして陸送。これは新車を数台乗せて運ぶが、コースが決つていたりするので安心。たまには長距離に出るのも良さそう。運転手は、女性にとつて「おいしい」職種!!

率の良いのは大型車で、朝は早く出勤し夕方方は早めに帰れます。今大型車で女性ドライバーが多いのは、ダンパー、これは車から降りずに仕事出来る。ミキサー車、これも右と同じ。そして陸送。これは新車を数台乗せて運ぶが、コースが決つていたりするので安心。たまには長距離に出るのも良さそう。運転手は、女性にとつて「おいしい」職種!!

率の良いのは大型車で、朝は早く出勤し夕方方は早めに帰れます。今大型車で女性ドライバーが多いのは、ダンパー、これは車から降りずに仕事出来る。ミキサー車、これも右と同じ。そして陸送。これは新車を数台乗せて運ぶが、コースが決つていたりするので安心。たまには長距離に出るのも良さそう。運転手は、女性にとつて「おいしい」職種!!

これは、マタニティブルーにひっかけたばかりの新語。つまりね、交流に限らず、ミニコミの編集者というのは、多かれ少なかれ、読者から期待された通りの味付けの、安心できるメニューを提供しなければ、という思いと、もう一つ、意外性のある新しい味覚の冒険をしてオヤ?と思わせたい、という、方向の違う二つのベクトルの間をゆれ動くものだと思うのね。と書きながら、一向にゆれ動かないらしい、薄月刊誌を約二つ思い出したけど...

で、同じ味付けのものだけ提供するのは無難には違いないけど、自分を愛する気のない人が、世の中を変えたいと言っているおこがましい話じゃないかと、思うのね。つまり、たまたまの話「婦人之友」みたいな雑誌はあるワケを絶対に出さないこと、だと思つた。この人間の可変性

で、同じ味付けのものだけ提供するのは無難には違いないけど、自分を愛する気のない人が、世の中を変えたいと言っているおこがましい話じゃないかと、思うのね。つまり、たまたまの話「婦人之友」みたいな雑誌はあるワケを絶対に出さないこと、だと思つた。この人間の可変性

で、同じ味付けのものだけ提供するのは無難には違いないけど、自分を愛する気のない人が、世の中を変えたいと言っているおこがましい話じゃないかと、思うのね。つまり、たまたまの話「婦人之友」みたいな雑誌はあるワケを絶対に出さないこと、だと思つた。この人間の可変性

で、同じ味付けのものだけ提供するのは無難には違いないけど、自分を愛する気のない人が、世の中を変えたいと言っているおこがましい話じゃないかと、思うのね。つまり、たまたまの話「婦人之友」みたいな雑誌はあるワケを絶対に出さないこと、だと思つた。この人間の可変性

で、同じ味付けのものだけ提供するのは無難には違いないけど、自分を愛する気のない人が、世の中を変えたいと言っているおこがましい話じゃないかと、思うのね。つまり、たまたまの話「婦人之友」みたいな雑誌はあるワケを絶対に出さないこと、だと思つた。この人間の可変性

で、同じ味付けのものだけ提供するのは無難には違いないけど、自分を愛する気のない人が、世の中を変えたいと言っているおこがましい話じゃないかと、思うのね。つまり、たまたまの話「婦人之友」みたいな雑誌はあるワケを絶対に出さないこと、だと思つた。この人間の可変性

で、同じ味付けのものだけ提供するのは無難には違いないけど、自分を愛する気のない人が、世の中を変えたいと言っているおこがましい話じゃないかと、思うのね。つまり、たまたまの話「婦人之友」みたいな雑誌はあるワケを絶対に出さないこと、だと思つた。この人間の可変性

について楽観的な苦のサヨクとか、フェミニストとかいった業界の人たちが、意外に保守的だったりすることが多いのは奇妙だけれど...

先月号の「お好み対談」の中で「二十年後の出征」とあるのは「息子」が欠落していました。お詫びして訂正します。

柳川流愛さんの文の後に「ますの」の文がありました。実はあれも全部山根さんの作文なのです。又、スズキヒサヨさんの文にサルの交尾のイラストがあつて「又ますの」がスケッチを描いた」と思った人も多いようすが、あれもヒサヨさんの写生なのです。ホントだよ。

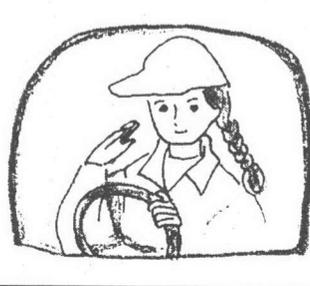
一月十三日朝八時半からのNHK「おはようジャーナル」に育時連の男たち(阿部さんや田尻さん)の育児状況が放映される予定です。ほくも出るかな?

先月号の「お好み対談」の中で「二十年後の出征」とあるのは「息子」が欠落していました。お詫びして訂正します。

柳川流愛さんの文の後に「ますの」の文がありました。実はあれも全部山根さんの作文なのです。又、スズキヒサヨさんの文にサルの交尾のイラストがあつて「又ますの」がスケッチを描いた」と思った人も多いようすが、あれもヒサヨさんの写生なのです。ホントだよ。

一月十三日朝八時半からのNHK「おはようジャーナル」に育時連の男たち(阿部さんや田尻さん)の育児状況が放映される予定です。ほくも出るかな?

先月号の「お好み対談」の中で「二十年後の出征」とあるのは「息子」が欠落していました。お詫びして訂正します。



### 現代職業カタログ (29)

## トラック運転手 高見澄江

# 2月号 (No. 172)

1988年2月10日 (毎月10日発行)  
1年間予約制 (送料共) 2,000円 1部頒価 200円

## 発行 「交流」編集会議

東京都中野区江古田4-17-14 (増野潔気付)  
〒165 電話(03)385-2293  
郵便振替 東京 4-51709



◆「交流」は、いろいろな生活領域から、体制に異議申し立てをして、いる人々相互の交流と討論と発展のための月刊新聞です。  
◆原稿料は払いません。編集作業も無償です。購読料とカンパによって、印刷費・郵送費をまかないます。

# お好み対談 (28)

## 小学教員 入沢愛子 本紙編集 ますのきよこ



「まえがき」は、この欄2回目の登場で、気がひけますが、実は、別の男を予定していたところ、フラれましたので、安易にも、一番身近なところで間に合わせることにした次第です。

ま「入沢さんは、昔「女・エロス」誌の編集委員をやったわけだけども、あれが廃刊になったいきさつとか、裏話があれば聞きたいですね。『今だから話せる』みたいなヤツ、好きなんですよ、ほくもニコミ編集者のはしくれだから、他のメディアの消息は人一倍好奇心があります。』

愛「別に特別な話なんてないですよ、だんだん売れなくなっただけのことです。それに、最初の意気込みは凄くエネルギーだったけど、みんな手弁当でやっていて、疲れてきたり、他のメンバーに変わったりとか、よくある話じゃないですか？ 皆さんの話がやっていて、『現代子育て考』シリーズもやはり編集委員方式でやってたんです。』

ま「はあ、そんなもんですか？ 『現代子育て考』の方は、もともとそんなに長く続けるつもりで始めたんじゃないかと、むしろ意外に売れたもので5巻まで行ったというのが真相でして。』

愛「そんなことよりね、今にして思えば、あの頃、いつもYさんの家に来て編纂の相談しなうたんですよ。』

ま「いろいろ聞いてみると、我々の第二世代は、親に反発してか、優等生になるタイプと、ツッパッテ落ちこぼれをやるタイプと二コースあるみたいね。』



ま「たしかに、うちの子ども『何をやらうと自由だが、その代わり結果も自分で引受けろ』と言われるのは子どもとしちゃきついで、ほくに言わせれば、ほくの母は教育ママで、すべて『子どものため』タイプ。それもほくにあっては負担だったわけね。』



入沢愛子

以来御無沙汰だったのね。だから、『交流』で久しぶりに読んで懐かしかったわ。私が見学した学校はリースクールで、イギリスは小学校段階はレベルでいいんだけど、何しろ階級制度が厳然とあるお国柄だから上の学校に行くとは別れてしまいうたよ。』

ま「やはりそうですか。マルクスが大英博物館で資本論書いた背景は、今も残っているわけですね。会社のトイレも、階級によって別れているとか。』

愛「ただ、西ドイツもイギリスも、一クラスの人数が二、三十人ですから、日本とは比べものにならないくらい静かですね。中学なんか日本じゃ授業にならないうちか迫られているから、興味しんしんなので、やっているわけ。とにかく、言葉が通じない、文化が違う国へ、バック旅行でない旅をするのが、今、私たちに必要ね。自分がよく分かってるね。自分を試すのが好きなのかな？」

ま「あの『帰国子女』という用語は違和感ありますねえ。なんでも『女』が入るのかしらん。』

愛「あれは、文部省が、あれでいいんだ、つてつっぱねちゃったのよ。』

ま「文部省は、官庁の中でも一番保守的ださうだからね。』

# ヒマラヤへの片想い

金岩宏二

生まれて初めての海外旅行に行ってきた。ツアー名はヒマラヤ大自然の旅14日間。ツアー参加者も14名。昨年十二月二十五日から一月七日までの二週間、ネパールの首都カトマンズから西へ二〇〇キロのポカラを出発点とするトレッキング(山歩き)の旅です。

日本でも山歩き、登山の経験が一度もない私が、ヒマラヤの山々(のふもと)を歩くなんていう大それた事を可能にしてくれたのは、現地でのポーターさん、シェルパさんたちのお蔭でした。14名のツアー参加者に、旅行会社の人一名、サーター(シエルパ長、コック長、キッチンボーイ四名、シェルパ七名、ポーター(荷物の運搬役)十名という現代版大名旅行でした。トレッキング中の私達自身が持つ荷物は、セーター、雨具、水筒などを入れたサブザックだけです。それでも、天までとどろかと思ふ段々畑の続く丘陵地帯を抜く、峠を越え、谷を渡るコースを歩いただけで、膝はガクガク息は切れる、あまりの体力のなさを恨みつつけると同時に、シ

ポカラから西への交通手段は徒歩しかありません。目にする風景は昔の日本の田舎の風景そのものです。段々畑には菜の花が咲き、水牛が寝そべり、通る村々では子ども達が裸足で遊びまわり、お母さんたちは洗濯と糸つむぎに精を出し、男たちは…ドロとロバ・牛の糞を水で

洗った石づくりの家の前で、お茶を飲み、タバコをふかし、時間の過ぎるまま座っておりました。五、六軒しか家がない集落のお茶屋さんで、お母さんに抱かれた赤ちゃんがごくかわいらしくおりました。ナマステ(こんにちは)、ちよっと抱かせて下さい(これはゼスチャーで)。ピスターは嫌がりもせず、ニコニコ僕の腕の中に抱かれます。八千メートルの山々が見える峠の中で僕は幸せでした。十五分くらいの時間が永遠の時の中に流れ込みます。通りかかった白人のトレッカーが何か言いたが(英語は分かりません)カメラで私と赤ちゃんをパチリ。そうでしょう。一週間は風呂に入らず、ヒマラヤの陽差して焼けた顔、目はギョロリの無精ヒゲよこれたシャツとスボンの私と赤ちゃんは格好の被写体だったのでしよう。

急に息を切らして登りつめたゴラパニ峠で僕の目に飛び込んできたヒマラヤの大パノラマほど、すさまじい光景は忘れる事ができません。ダウラギリ、アンナプルナ、マチャプチャレ等々八千m級の山々が本当に目の前に一八〇度ひらけた時の感動には言葉はいりません。あまりのショックに帰って来て半月近くたつても社会復帰ができません。今夜も空を見上げています。(四十歳を過ぎてからの思い入れほど恐ろしいものはありません。)又行きます。



○今、母子家庭が面白い、デモ福祉八正道イノ(北海道母子餓死事件を考える)  
日時二月二十八日(日)二時  
会場 国立市福祉会館中会議室  
主催 母子福祉を考える会  
0425・76・1297  
保育付資料代 三〇〇円

○おんなの学校「男と女はどことまで分る？」上野千鶴子VSますのきよこ  
日時 二月二十八日(日)二時  
会場 秦野市ほうらい会館  
主催 同実行委員会(0463・82・4633浜田)

電気・ガス・トイレ・水道もない生活の中で、牛もロバも犬も人々もピスター(ゆつくり)ピスターと生活している、と感心しながら歩いていくのは、やはり旅行者の目でしかないのかと自問自答せざるを得ない言葉がしやべれない、話せない生活が知りたい…今度来る時には…いやまてよ、ネパールの人々の生活にわけ込む前に、日本での心に今まで融け込んで来たのか、と。



# 今日行くがや 体育教師 (19)

愛知 岡崎 まさる

## 「牛乳は牛の飲み物だがや」の巻

わしの家には、小学校の四年生の娘、保育園へ通つとる三歳七カ月の息子がいる。

息子は、大甫という。息子の食物性アレルギーの事を書くわ

息子が生まれてすぐは、あんまりどうも、目立った症状はわからなかった。けど半年ぐりやすくと、どうも、ホッパが赤ずきるといふことで、小児科医に

看せた。色々検査してみると食物性アレルギーだということらしい。アレルギーの原因となる物は、鶏卵・鶏肉・牛乳・牛肉・大豆としてカビ。それで母

乳から入らなように、母親は、ケーキやその他ケンタッキのフライドチキンとかタメになっ

た。離乳食も色々、はじめはよくわからず大変だったがね。食器はもちろん包丁やまな板も

別、なべも別。それに、卵焼きやかしわを焼くと、そのとんだ油や粒子で、反応を起こす始末

で、はつきり言つて、どーしようという感じだったわさ。

幸い米は良かった(この米でさえダメな子もいて、アワやヒエが主食となる場合もある。し

かし、みそ、しょうゆは、普通のものに比べて、米しょうゆや麦しょうゆ、そして、麦みそと

いったものを使わなにかん。当然、保育園は弁当持参。主治医の言うには、「給食調理場の付

めた方がいい」ということを絶対に言わなかつたところが、わしの気に入った所だがね。しかも、「まあ牛乳は絶対いかにけども、」飲んでらそりやしようがないわな」つちゅう、いいかげんな所もあつて、あまり権威主義的にあつた言わなかつたところが、いい。だもんで、逆に、頼り甲斐がないとか、冷たいと言つて、足が遠のく人もおるがね。この先生は、自分もアレルギー体質で、ずいぶん色々苦勞しとらつて。医学の専門分野でも意見が分かれて、食事療法と、薬で治そう(何食べても良い)という二派あるらしいわしが、「それで、どつちが、どつちですか?」と聞くと、「わからんなあ、哲学の違いだなあ」と言ふんだわ。わしは、納得し

た。ときどき診てもらい、子どもの健康の話をして、アジアの健康思想の話をして、親をケムに

あつた。あまりしつしんがヒドいと、ぬり薬を出してくれるんだけど、10種類位並べて、「右から左へ行くにしたがって強いんですよ。今日は、どれにしましょう」つ

て、わしに選ばせていかにわ。しかも、「この薬は、あまりよくない」といふ。こういう先生に治療してもらつとると、つくづく、病院つち

ゆうのは、わしらが主体的に関わつていかにいかにと思ふ。だもんで、他の病院へ行つて、断

定的に診療され薬を山程もらつと、ものすごい不安になるさやあ。

大甫は、おかしも市販されとるのダメ。むかしの、フ菓子とか、黒砂糖菓子とか、かん天

菓子なんか中心になり、もつ

ぱら手作りとなる。パンは牛乳も卵も、なんも入つたらんもの

で、これは、「ワッパン」という「障害者」が中心となつて始めたパン屋さんで買つとる。

月に一回の誕生会には、ケーキが出るそうだが、わしがケーキを大甫用に二コつくる。これは、わしの自慢のキャロットケーキで、ななね油でつくつたマーガリン少々、小麦粉、純ココロト、ほしフルツと、ビート糖で作つとる。もう一年半ぐりやあ毎月つく。これは、むちやくちやうみやあ。あつさりして、評判はええ。去年の十月には、クリスマスケーキをつくつた。マロンやフルーツ、チョコなんかいっぴやあ入れてつくつた。けどよ、半分しか食べれんかった。つくりすぎたんだけわ。

が完全に変わった。根菜類が多くなり、味付けも、うすくなり(油・脂肪)は、かなり減少したに。(コーヒードだけは、まだわしも飲みすぎとるけどよ)体力づくりもええけどよ、も

つと根つこの所で、スコと足を払われるんちがうんかな。病院の先生が言つとつた。

「牛乳は良くありません。牛乳は牛が子を育てるためのもので人間の子を育てるものじゃないんだから」

## 性を考える(11) (福岡)山部 嘉彦

マジにいこう。性教育は、性器教育じゃないぞ、とよく言われる。生殖教育ともちがう。しかし、愛がなけりや、と百万遍くりかえしても、官能についてつまり性愛についてはしつかり教えない。学校で官能を体験学習はできないからしつかり教えないが、官能について教えることはできるはずなのに。だから、みんな体験的に学ぶしかない。が、もともと性は求心的なベクトルをもつていて、本能的な描写が得られれば(得られなくても)、深く考えたり、討論したりしないものなのだ。せいぜい若いころに、あれこれラゲを変えてたのしむぐらいなものですよ。もちろん年輩になつてからもかまいませんが、

でも私は、可、不可、という水準で割り切れないが、愛なき性愛は気の抜けたビール、というほどの認識はもつていない。いや寝てる間に犯されたら、死なばどうだ、とにわが考

えだしたら性はくたらないのだ。こういうのを読むうちに性欲が昇華する人もいるのだけれど、とにかく考えすぎずに書きすくめて参りませう。以下独断と偏見です。

官能なき性教育 とりあえず今を盛り「性教育」を枕に行きます。愛あるセックスは可、愛なきセックスは不可。いかがですか、この命題。マスターベーションならどうでしょう。愛あるマスは可、愛なき

マスは不可。おかしいな、アイドルの写真をながら、または想像しながらのマスは可、二本を見ながらのマスは不可。これもおかしいな。思い出したぞ、札幌の大森勝久君の、彼女のパンティをむさぼりながらの同時二発のマスは愛あるマスじゃないかな。ええい、バカバカしい。

マジにいこう。性教育は、性器教育じゃないぞ、とよく言われる。生殖教育ともちがう。しかし、愛がなけりや、と百万遍くりかえしても、官能についてつまり性愛についてはしつかり教えない。学校で官能を体験学習はできないからしつかり教えないが、官能について教えることはできるはずなのに。だから、みんな体験的に学ぶしかない。が、もともと性は求心的なベクトルをもつていて、本能的な描写が得られれば(得られなくても)、深く考えたり、討論したりしないものなのだ。せいぜい若いころに、あれこれラゲを変えてたのしむぐらいなものですよ。もちろん年輩になつてからもかまいませんが、

でも私は、可、不可、という水準で割り切れないが、愛なき性愛は気の抜けたビール、というほどの認識はもつていない。いや寝てる間に犯されたら、死なばどうだ、とにわが考

えだしたら性はくたらないのだ。こういうのを読むうちに性欲が昇華する人もいるのだけれど、とにかく考えすぎずに書きすくめて参りませう。以下独断と偏見です。

官能なき性教育 とりあえず今を盛り「性教育」を枕に行きます。愛あるセックスは可、愛なきセックスは不可。いかがですか、この命題。マスターベーションならどうでしょう。愛あるマスは可、愛なき

マスは不可。おかしいな、アイドルの写真をながら、または想像しながらのマスは可、二本を見ながらのマスは不可。これもおかしいな。思い出したぞ、札幌の大森勝久君の、彼女のパンティをむさぼりながらの同時二発のマスは愛あるマスじゃないかな。ええい、バカバカしい。

マジにいこう。性教育は、性器教育じゃないぞ、とよく言われる。生殖教育ともちがう。しかし、愛がなけりや、と百万遍くりかえしても、官能についてつまり性愛についてはしつかり教えない。学校で官能を体験学習はできないからしつかり教えないが、官能について教えることはできるはずなのに。だから、みんな体験的に学ぶしかない。が、もともと性は求心的なベクトルをもつていて、本能的な描写が得られれば(得られなくても)、深く考えたり、討論したりしないものなのだ。せいぜい若いころに、あれこれラゲを変えてたのしむぐらいなものですよ。もちろん年輩になつてからもかまいませんが、

互いになじみになると情も出て通つてしまふ。女のほうはわかんないが、男のほうは、こちらの方が望ましい。なぜか。腰をしめてくれるからか。だとして、性交が性交らしくなるから、つまり、緊張・弛緩の差が大きくなるからということになるのである。肉体的な弛緩が完全に得られなければ性交は真に充たされはしないというわけだ。

性交と自慰のちがいは、男がマスターベーションで満足せずにわざわざ女を買ひ出す理由にそれだけであらうか。腰内にペニスを挿入し、射精する快感(肉感)はマスターベーションでは得られない、という程度の問題も確かにある。この点では女も、コケシやキュウリを挿入してもイマイチ、クリトリスや乳首を自分で愛撫しても受動感が欠如するためオ

ルガスの質がちがう、ということ。ほんとうはこうだ。異性との性交は、性的に意味づけされた関係性、すなわち、男の場合は支配、女の場合は独占に裏打ちされている。問題の獲得目標はここにあるんだぞ。男はこの女と寝たというだけで支配感満足させ、従つて性欲が充たされる。たいていの場合、男は性交時目を開けて女の顔や結合している局部を見ている。これがなにかをかくそう、征服の実感、解作業のプロセスなのである。

だいたい女を買いに行こう、と決心するからには、男は相手の心や要求を満たそうという気持ちにははじめからない。せいぜい勝手知つたあつたのからだのあの味を求めて、金を払う気にならないうるもの。相手にならないうるだけなく、気も交流してはいます。お互いに気をお互いにいかにいかに思ふ。相手は気が持ちのいいように(より大きな快感が得られるように)動きやラゲを工夫し、自分の感じを伝えあおうとする。

若い男(とは限らないが)がよく射撃のあとですぐ相手の女に「よかつたか」と訊くのは「オレはよかつたか」というフ

痛快な意趣返しの意味を持ち、こたえられないものなのだ。いうまでもなく別にこれは娯楽の性交に限らない。性交とはこの程度のことである。要するに性交による自己満足のかた

ちであつて、きわめて本能的、一義的であり、さしあつて相手手がほんとうに満足したかどうかは問わない。しているにこしたことはないが。

おことわりしておきますが、私は性愛性交の反対論者ではありません。性愛の濃い方がヒトとしての本能的な満足感強いのでありますから、相手が妻であれ誰であれ、当然そういう性交を志向するときはごいいます。女も同様。女だつて、だれともいいからとかく男と寝たいときはあるのです。でしよ。

ただ、性愛性交—愛なき性交—なんて気の抜けたビールとあえて言う理由は書かなくてはならないように書いてきた。ようやく本題です。

実は私、ここ数年「気功」に凝つておりました。最近、教えるほど入れ込んでおります。その体験的知識をからめて、気の入った性交—いやこの場合、性交、または性交通と言いたい—について書いてみようという気になつて、ますのさんからの依頼を引受けたのです。それがプライベートな性交体験など書くものか。

男の思いやりなんて 少々乱暴だが定義抜きで本題に入ります。好き合つていて同士の性交すると、肉体的に相接しているだけでなく、気も交流してはいます。お互いに気をお互いにいかにいかに思ふ。相手は気が持ちのいいように(より大きな快感が得られるように)動きやラゲを工夫し、自分の感じを伝えあおうとする。

レイズが省略されているのサ。せいっぱい思いやつてはいるのだ。「こめん」と言うのは、例えば強姦に近いかたちで性交に及んで自分だけ満足して相手を氣遣わなかつた反省のあらわれである。相手が満足しなかつたところが確実なとき、自分の挫折感の表現としても用いる。

でもこんな程度じゃ気をお互いにいかにいかに思ふ。おまえが好きなよ、と言つてるだけだもの。男は単純だね。

戦術的性交指南 男には気の遣い方の指南書が必要かもしれない。指南書といえば、最近の少年用の性交指南書には、女はとろいんだから、あせつてピストンするな、と書かれてある。挿入したら、しばらく入れ込んでまじつとせよ、と。これは正しい。

これは、中国の傍中術からの寸借だろうと思う。ともあれ、これは女の性感特質を配慮しないうという点は汲んで評価しなればならない。しかし、これはあくまで男本位で、女を安心させるための戦術的域を出ていない。ほんとは短くとも十五分ぐらいはその状態を男も女も味わうべきなのだ。できるかな。何のために。男と女の気の交流の前提条件づくりとして、だ。

気功では「氣」のレベルを浅い方から順番に、精、氣、神と三分する。ここで説明は有く。ニュアンスでわかるはずだ。性交による男と女の精の交流・気の交流・神の交流。

精の交流は、愛しあう仲なら無意識的にやつてる。気の交流はキチンと意識しなればできない。気を発し、気を受ける感覚を互いに磨く必要がある。はつきり言つて、これはワサワサと腰を動かしては不可能なのであります。

性交における本極運動 まず結合したまま静止の状態

でこれができ、次に動きの中でできなければならぬ。相手の呼吸、鼓動を性器でとらえる。

(次頁へつづく)

# ぼくの保育日記

(13) 門野悦生



年末年始にゴタに一人客がき  
た。昔、彼が中学生をやっていた頃よくゴタに来て子どもたちと遊んでくれた子だ。その頃遊んでいた子どもたちはみんな小学生になり、赤ちゃんだった子どもたちが今のゴタの大きい子になっていた。彼は時の流れに最初少しさびしそうだったが、自分の抑圧された学校生活の話をき

つかけにいろいろよくしゃべり出し、身体も動き出し、そしていつのまにか子どもたちにもみちくちやにされていった。毎日子どもたちといっしょにしていると「大きくなったネ」という感覚が見えにくいが、昔の姿を知っている人が突然タイムスリップしてくると、「あー、こいつらもでかくなつたんだな」と思っている。一人一人の顔をみながら「さあ、よくわかりませんが、たぶん興味からでしょう。」

「このことは保育する上で必要なことですか。」  
「あう上であう上と便利でしよう。」  
「先生は性格分けがどういうことに利用されたのか知ってますか。」

「いいえ、でも人が他人とつきあうのにこういうことは知っておいた方がよいと思います。」  
「アメリカの心理学者たちが一九〇〇年から一九四〇年頃までにこれらのことを発表してきた。性格判断が軍隊を統制していくに利用されたという話を聞いたことがある。日本の軍隊は血液型により隊を分け、命令の仕方を変えたそう。一人の人間が多数の人に自分のことを言い聞かせようとすると、

「ヘーすこいじゃん」  
「あう上であう上と便利でしよう。」  
「先生は性格分けがどういうことに利用されたのか知ってますか。」  
「いいえ、でも人が他人とつきあうのにこういうことは知っておいた方がよいと思います。」  
「アメリカの心理学者たちが一九〇〇年から一九四〇年頃までにこれらのことを発表してきた。性格判断が軍隊を統制していくに利用されたという話を聞いたことがある。日本の軍隊は血液型により隊を分け、命令の仕方を変えたそう。一人の人間が多数の人に自分のことを言い聞かせようとすると、

性格判断を知っているとたしかに目安になり、やりやすいのかもしれない。しかし教育の場では大が(教師が)子どもをまとめるに利用するというのは許せない。人につきあう上で体型とか話し方とかで初面の人を勝手に性格を決めつけてしまうのはおそろしい。まして子どもたちはまだ性格がこれだ



な。この子はふとついているから社交的な性格だからこういうふうな指導すればよい、なんて勝手に思われては大変だ。人につきあうのに必要なのは話をかわすことやスキミングである。性格判断で人を区別してつきあうのはよくない。子どもにつきあっている保育さんで「あの子はO型だからこうなのよ。私とはあわないのよ」なんていう人がいた。

「交流を拝見していると、女の子と路線のように見えたの。子供と日本人論のテーマで、二度目の拙稿を送ってみた。こゝろと、このテーマでなければ困るというものでなかつたのだが、「交流」紙の路線に敬意を表して、できるだけ、それに外れないテーマがよいだろうという私なりの善意の判断であつた。ますの氏から「待った」が

な。この子はふとついているから社交的な性格だからこういうふうな指導すればよい、なんて勝手に思われては大変だ。人につきあうのに必要なのは話をかわすことやスキミングである。性格判断で人を区別してつきあうのはよくない。子どもにつきあっている保育さんで「あの子はO型だからこうなのよ。私とはあわないのよ」なんていう人がいた。

「交流を拝見していると、女の子と路線のように見えたの。子供と日本人論のテーマで、二度目の拙稿を送ってみた。こゝろと、このテーマでなければ困るというものでなかつたのだが、「交流」紙の路線に敬意を表して、できるだけ、それに外れないテーマがよいだろうという私なりの善意の判断であつた。ますの氏から「待った」が

な。この子はふとついているから社交的な性格だからこういうふうな指導すればよい、なんて勝手に思われては大変だ。人につきあうのに必要なのは話をかわすことやスキミングである。性格判断で人を区別してつきあうのはよくない。子どもにつきあっている保育さんで「あの子はO型だからこうなのよ。私とはあわないのよ」なんていう人がいた。

な。この子はふとついているから社交的な性格だからこういうふうな指導すればよい、なんて勝手に思われては大変だ。人につきあうのに必要なのは話をかわすことやスキミングである。性格判断で人を区別してつきあうのはよくない。子どもにつきあっている保育さんで「あの子はO型だからこうなのよ。私とはあわないのよ」なんていう人がいた。

な。この子はふとついているから社交的な性格だからこういうふうな指導すればよい、なんて勝手に思われては大変だ。人につきあうのに必要なのは話をかわすことやスキミングである。性格判断で人を区別してつきあうのはよくない。子どもにつきあっている保育さんで「あの子はO型だからこうなのよ。私とはあわないのよ」なんていう人がいた。

な。この子はふとついているから社交的な性格だからこういうふうな指導すればよい、なんて勝手に思われては大変だ。人につきあうのに必要なのは話をかわすことやスキミングである。性格判断で人を区別してつきあうのはよくない。子どもにつきあっている保育さんで「あの子はO型だからこうなのよ。私とはあわないのよ」なんていう人がいた。

な。この子はふとついているから社交的な性格だからこういうふうな指導すればよい、なんて勝手に思われては大変だ。人につきあうのに必要なのは話をかわすことやスキミングである。性格判断で人を区別してつきあうのはよくない。子どもにつきあっている保育さんで「あの子はO型だからこうなのよ。私とはあわないのよ」なんていう人がいた。

な。この子はふとついているから社交的な性格だからこういうふうな指導すればよい、なんて勝手に思われては大変だ。人につきあうのに必要なのは話をかわすことやスキミングである。性格判断で人を区別してつきあうのはよくない。子どもにつきあっている保育さんで「あの子はO型だからこうなのよ。私とはあわないのよ」なんていう人がいた。

## 交流の不良度

尼崎 田中由布子

「交流」紙の路線に敬意を表して、できるだけ、それに外れないテーマがよいだろうという私なりの善意の判断であつた。ますの氏から「待った」が

# 死との出会い

野村一枝

人は永遠には生きられない。このことは、当然すぎるほど当然のことだが、多くの場合、人々の日常の意識からは排除されている。日常というのは、自分と自分にとって大切な人々だけを決して死ぬことはないという思い込みによって成り立っているかのようなものである。したがって、死という言葉は、日常をくずすものとして忌み嫌われる。人々は、科学の力を総動員して死をかなたに追いやろうとする。そして、その結果はきつては何か。それは生の矮小化ではないだろうか。生にこだわるうえで、死を視野に取りもどすということの占める位置は大きいと思うのだが……

旅行から戻ってすぐに病院に行つた。何回かの検査を経てはつきり結果が出たのは一ヶ月後だった。私の予感はずから、乳ガンであり、手術が必要のことだった。その時私の中をよぎったものは、乳房を失うことの悲しみではなく、あと少ししか生きられないのなら手術で身体を弱らせたくないという思いだった。まじしこりは小さいから他の場所にはまいていないという医師の言葉で、どうやら不安を押さえつけ、手術を受けた。手術というものは、私にとって初めての経験だった。確かに術後に痛みはあつたが、それらは時間が解決してくれた。しかし、自分ももう長くは生きられないのではないかという思い、いわば妄想といつたものは、時間と共に薄れたことには驚き、私を苦しめた。事実には隠さずに夫や医師に要求し、その結果、初期には珍しくリンパ節まで転移していることをしっかし、リンパ節まで転移している。リンパ節まで転移している。リンパ節まで転移している。リンパ節まで転移している。

死の妄想とのつきあひは、それから一年半近く緩慢な形で続いていった。身体のことどころか気になる症状があると、死の妄想がさつと現れてくるという具合だった。それに対抗すべく、東洋医学のあれこれに手を出した。時には、宗教書をひもとく。時には、宗教科書をひもとく。時には、宗教科書をひもとく。時には、宗教科書をひもとく。

ただただ途方にくれた。夫や見舞に来てくれた人相手に泣いたりくちやったりした。今から思い出しても、あの時が一番きつかったと思う。とにかく、いろいろな人の支えでその穴から脱出した。

な境地がおとづれた。「またどこかに転移しても、それはそれで仕方がないことではないのか。もしも長く生きられないとしたら、とても残念なことではあるが、仕方がないのではないのか。それよりも、おびえながら一日一日を無為に過ごす方がよっぽど残念だ」と思った。当然と言えばあまりにも当然なことなのだが、こう思えるのに一年半かかってしまった。

安定を見出したというところではないだろうか。自己と他者に関するものだった。キリスト教に出発点を持ち、養護施設の保育のありようをめぐる葛藤の中で自己を形づくってきた私は、自分の中にいてこころでいる。過剰な他者をもてあましていた。私は自分を見つけた。そのために大学に入り、自分の中の他者をそぎおとす作業に励んだ。自分の中の大事な何かをそぎおとせば、自分という存在全体がたつく。そのがたつきの結果が死の妄想となつてあらわれたのではないかと思う。そして、死の妄想が耐えられなくなつた時、今まで追い出してきた仕方のなかつた他者を、自分の方から自分の中に取り込み再び

**ひとこと**  
つうしん

「性」を考える……ここで何かこだわっていました。たなかさんの記事読んでいたく反省したのです。これでは三人の子どもたちに明るいフツの性を語れない。ふたりの子供の登園拒否に悩まされ、周囲のお

どしにおびえてすごした私ですが、反管理と言いつつ、我が子を管理していたのです。もしかして、その原動力は、性に対する妙なこだわりがあったのではと思つたのであります。私も「フツ」でいきなさいです。

いろいろな考えました。まだ「少数派は悪」の世の中ですがそれを多数派にするものでもない自分しかないのです。一人一人の自分がやらねば。

「清水ノート」登場以降尻上りがり紙面が面白くなってきました。お好み対談はどのくらいも二人よがり。読者にとつては不発という感じ。たとえば、この段階で清水VS渋谷ならみな注目しますよ。

「お客様はみなお酒でよっぽら酔っているし、小さなへまはかわいらしきでカバーなんて勝手に決めていられるけれど、年期の入つたお客様の一言、一言が胸にズキリとささるのです。お座敷と言つたところ、空いた器を下げるのも畳の上には絶対置かない、必ず盆の上には必ずお膳にお膳に乗せるのも必ず上座から、お姉様方の置いた通りに。どんなにお客様に勧められても料理は口にしてはならない。



「現代職業カタログ」(30) お座敷コンパニオン

はやしまい

プロの持ち歌をタンバリンの音と共に披露してはいけません。と、いふ時はいきなり空白の時間が訪れ、しばらくはポーとして日常にもどるのに時間がかかりました。見てみると、ママや女の子の顔を積み重ねたお座敷はあまりこの差がないようです。

現在の竹下総理に決定するまでの、総裁選関係のニュースが朝日新聞の一面に載つた写真は、思わずふき出してしま

## 編集後記

田中由布子さんの文章、これだけで分りにくいと思いませんか。説明しますと、数ヶ月前「子供と日本人」という原稿を送って下さったのですが、ぼくとしては首をひねって「できれば書き直して貰えないか」と注文。二度目も同じことを繰り返した結果、三度目が今回のもので、これが三つの中では一番面白いので、掲載することにしました次第です。

伝言板の追加。練馬のゴタゴタで、悦生さんの後任の保育専従を募集しています。詳しくは929・8891まで。

「百人一首の空」というのに出て、

二、三時間から取りをしていただきます。TVで見ると競技かるたは凄まじい殺気ですが、こちらはキャットと童心に帰つてやっています。本音を言えば頭の老成防止といったところ。

「五〇歳過ぎたら、自分のために生きる」というのは、ぼくのかねての持論で、理由はいろいろあります。ワガママだ、という方もいると思いますが、人生全体のバランス上、「世のため人のため」(主観的に)「生きる時期」と、自分のために生きる時期とあっていいのじゃないかな、とぼくは割切っています。二〇代、四〇代の人、大いに世のため人のため生きて下さいね。マジヤンなんかにはワツツをぬかしちゃいけませんよ、というのには冗談ですが……

りなくあるうちは、われわれサービス業もまた安泰でしょう。ビールを逆さに握る野暮は三面ものでしょうけれど、手もちぶさたの酌婦の写真は一面に載るといふものです。

浅草の料理では、金屏風の前で踊る芸妓や太鼓持ち、膳の上の料理を急がしく運び回る仲居さん。昔ながらの旦那衆が無くならないように、料理の味がおもしろいこと、料理の味がおもしろいこと、料理の味がおもしろいこと……

「味の解らん役人ふせやい」という女性かざり知らず、あるいは中曾根氏の身内の方でもありましようか、どう見てもあのさだまりのない中腰と、画面の中空にあてもなく差し出されたビールは、浮草稗業のつかみどころのなさを感じさせます。見てみると、ママや女の子の顔を積み重ねたお座敷はあまりこの差がないようです。

現在の竹下総理に決定するまでの、総裁選関係のニュースが朝日新聞の一面に載つた写真は、思わずふき出してしま

# 3月号 (No. 173)

1988年3月10日 (毎月10日発行)  
1年間予約制(送料共) 2,000円 1部頒価 200円

## 発行 「交流」編集会議

東京都中野区江古田4-17-14 (増野潔気付)  
〒165 電話(03)385-2293  
郵便振替 東京 4-51709



◆「交流」は、いろいろな生活領域から、体制に異議申し立てをして、人々相互の交流と討論と発展のための月刊新聞です。  
◆原稿料は払いません。編集作業も無償です。購読料とカンパによって、印刷費・郵送費をまかないます。

### 集会レポート

## 2/6 越えられるかこのハードル 仕事・昇進・育児

### 大須賀啓子記

これまでいわれられてきた「男は仕事」という言葉の中には、男は稼いで家族を養うという意味と、仕事を通して一人前になるという二つの意味がこめられているようだ。

一人前になるために、多くの男たちは、アフターファイブも嫌わず、会議に商談にと熱を入れる。だから、なりゆきとして家事・育児を担う男たちは職場からスポイルされ、仕事も昇格もかやの外に置き去りにされてしま

戦後すぐに生まれた男たちは普通に働いてくれば、今や職場の中枢に組み込まれている中で育時連に集う男たちは、仕事と家事・育児のはさまで感わずにはいられない。嗚呼、男って本当にツライ。



これまでにいわれられてきた「男は仕事」という言葉の中には、男は稼いで家族を養うという意味と、仕事を通して一人前になるという二つの意味がこめられているようだ。

一人前になるために、多くの男たちは、アフターファイブも嫌わず、会議に商談にと熱を入れる。だから、なりゆきとして家事・育児を担う男たちは職場からスポイルされ、仕事も昇格もかやの外に置き去りにされてしま

戦後すぐに生まれた男たちは普通に働いてくれば、今や職場の中枢に組み込まれている中で育時連に集う男たちは、仕事と家事・育児のはさまで感わずにはいられない。嗚呼、男って本当にツライ。

たらの現状報告から話し合いは始まった。エッソ石油に働く田尻君は「このところ、男の育児」をテーマにしたテレビ、新聞等にひびきかされた存在。が、いまいち、自分の居場所に充足できない。大学を卒業してトップの成績でエッソ石油に入社して、新入社員を代表して決意表明までした田尻君、当時彼はアタッシュケイスを持って海外出張するのが理想だったのに、今は鶴見の研究所でルーティン化した検査の仕事にたずさわら。組合分裂を経験し第一組合に所属し御用組合員が昇進していくのも冷めた眼でみることもできるし、妻君と共働きで収入にも不満はない。でも、今のままで終わることに一抹の悔いも残る。学生時代の友人が大学に残り自分の研究室を持ち海外研修の旅さきから絵

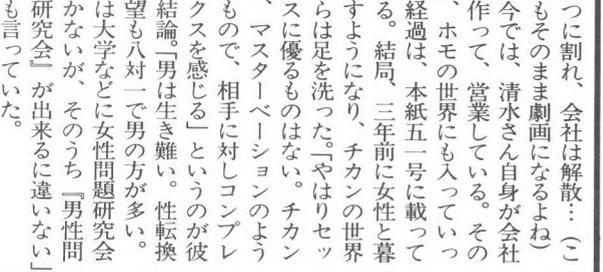
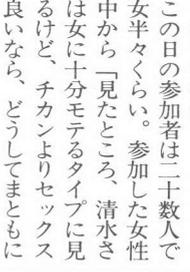
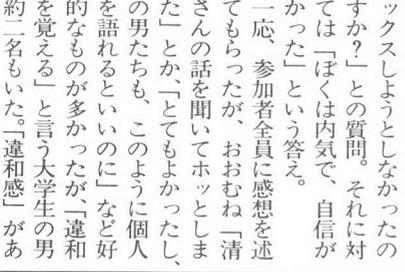
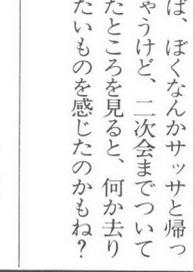
仕事をしている平山君は始めから企業社会をかわいた眼で見ていた。全共闘を経て、効率、競争原理のオカシさをどっぷり体験する中で、まず転勤がなくて自分の選択の可能な職場を選んだという。だから昇進試験なんて当然うけない。こうした彼の生き方は、共同保育所、ラマーズ出産等、彼女と生活を共にする中でより一層確立していったと、さわやかな、ノロケで報告を結んだ。

意見交換の場になって田尻君の報告に対して、自分も子連れで放送局に通った男性から「仕事をやりたければやればい」と叱咤の声が出たり、女3人の組合で、育児時間をヨコセとムチャクチャ言い、それなりの制度も獲得したけど、子供が成長した今、仕事にも意欲が湧いてきたとの意見に、でも、現実の企業社会で仕事をバリバリやっちゃうことの意味について、別の女性から反論がでたりして、佳境に入ったところでオキマリ

ゲストの林郁さんは、運動する人がまず魅力的であり、楽しい運動が大事と、更に「マルゴト、こうあるべき」という運動は問題と指摘。早速、ミニシンの「パートII」をとの声もでてきた。林郁さんからも「育時連あたりから何か生まれそう」となんて言われてしまっ、どうしよう。

要約すると、彼は母一人子一人の母子家庭に育ち、中学の時その母も失い、全く一人ぼっちになった。高校の時、一人前の不良をやり、女教師が生徒と関係した、という情報を掴むとその教師に金をせびりに行き、結局、彼女と寝た。そのタバコの臭いがイヤだったが、一週間後には、また寝に行った。しかし、女を抱くと、母の亡霊が頭に浮かび、「私も耐えているんだから、あなたも我慢なさい」とささやく。それが、たまらなかつた。だから、後に彼は、全共

関係した、という情報を掴むとその教師に金をせびりに行き、結局、彼女と寝た。そのタバコの臭いがイヤだったが、一週間後には、また寝に行った。しかし、女を抱くと、母の亡霊が頭に浮かび、「私も耐えているんだから、あなたも我慢なさい」とささやく。それが、たまらなかつた。だから、後に彼は、全共



二つに割れ、会社は解散：(これもそのまま劇画になるよね) 今では、清水さん自身が会社を作って、営業している。その間、ホモの世界にも入っていった経過は、本紙五二号に載っている。結局、三年前に女性と暮らすようになり、チカンの世界からは足を洗った。「やはりセックスに優るものはない。チカンは、マスターベーションのようなもので、相手に対しコンプレックスを感じる」というのが彼の結論。男は生き難い。性転換願望も八対一で男の方が多い。今は大学などに女性問題研究会しかないが、そのうち「男性問題研究会」が出来るに違いない」とも言っていた。



# 今日行くがや 体育教師 (20) 愛知 岡崎まさる

## 「体育教師、いつか市長の座を」

「体育教師、いつか市長の座を」の巻  
 空気が汚れるのは名古屋も同じだわ。特に、今わしの勤めとする小学校は、名古屋の中心で、文字通り都心。当然のことながら、空はどんよりと霞がかかったようになつて。これはほとんどが、車のせいでないかと、わしは思つて。つまり車の排気ガスだわな。

わしの学区は、周囲が大きな道路にかこまれて、その道を通る車の排気ガスで、しつかり汚染されて。子どもならあり(運)も、ぜんそくの子が結構多くて、毎年調査しての気管支ぜんそくのデータも他校に比べて、かなり悪い。

そこで、いっぺん、大気汚染の度合を調べようとしたんだわ。ところが、わしの学区の調査データと、隣の学区の調査データを比べてみたら、あれせんがや。調査したら、あれとくに、名古屋市中でも、交通量の多い交差点は皆無に近い。わしの学区のある鶴舞(つるまゐ)交差点は六差路で、朝から晩まで、ガンガン車が通つていていかにわ。ここを調査点にしてもらったらええがや。

今、大気汚染は、ノックスが主流になつて。窒素酸化物だわね。これは、相当やつかいで、車の排気ガスによるものが多い。対策も遅れとるわ。

こんだけひどい地区を調査せんのはいかに。名古屋はサボツとる。なにが国際都市だ。そこで、公害防止条例の中の「調査請求権」というのを教えてもらい、市当局へ請求することにしたんだわ。この時、わしだけなく数人でやることにした。で、言つとかないかんの、Z

氏の事。このZ氏は、公害問題のプロで、わしとは、名古屋五輪反対闘争で一緒だったんだわ。ゆえあつて名前も伏せざる得ない。なんでもかちゅうと、名前がわかんると、今の職がクビになるわ。大企業のエリートサラリーマンで就職。ただ、わしの見るところによると、あのつきあいの悪さでは、これ以上は出世せず、もうしばらくすると、窓ぎわ族だわ。窓ぎわは日当りがええよ……。

この人に、色々レクチャーしてもらったがや。東京都からも、ようけ資料を送ってもらつて勉強した。わしといつしよにやつともう一人に、平山さんちゅう中学校体育教師がおる。彼は、産業道路付近の中学にとめて、やつと、やつと自分の学区の道路付近の大気汚染調査請求をした。彼は「職員室に喫煙室を」ってという裁判を今やつと

「ああ幻滅」  
 「最低」  
 と、数々の罵声をあびせられ、だいぶショックだったが、自分の気持ちに素直に生きたいという俺の生き方はまげることにはできず、ゴタに入った。

抱っこしていると、赤ちゃんが俺の身体の中にフツとけこむ感じがやいたずらをしてニコッと笑う子やおこられると目に涙

「あの、タバコすうのやめてもらえんですか」  
 「なんで。あなたたちにそんなこと言われる筋合いがね」  
 「外ですって下さいよ」  
 「あなたたちが外へ出やええがね」  
 「あなたがすうのは、勝手ですが、我が間接喫煙の被害をどうむるのはゴメンです」  
 「なに言つとるんだ」  
 「あー、間接喫煙のこわさを、ごんじないんですか。それじゃ説明しましょう」と、説明を平山さんがはじめたので、わしは、

「役所は、会議では禁煙にせんのですか？ 学校関係では、平山さんたちの運動の成果で、職員等は、禁煙しましょう。うちゅうことになつとるのに、遅れとるねえこは」と言う。平山さん、

をいっばいためてにらみ返す子や、俺が落ち込んでいてとそつとときキスをしてくれる子や、お互いのエネルギーを全開にしてケンカした子や、かがでコソコソしながらもたえず視線をこちらにむける子など、いろんな場面でのいろんな子の表情が走馬燈のように頭の中をグルグルかけまわる。

この五年間、子どもたちとつきあつていろんなことを発見しある時はきついカウンターパンチがあり、そしていろんなことを教えてもらった。俺には最初から「保育理論」なんてものがなく、毎日毎日一人ずつの関わり積み重ねて裸になつて子どもたちとつきあつてきた。時には先走りすぎてハードなこととあつた。今だから言えるというような失敗談もいっばいある。

ゴタは公立の管理保育に子どもをおきたいとはじめた所から、俺も学校の実習で公立にいき実態がわかつた。むずかしいことはわからないけど、管理すればするほど人って生きるパワーがなくなり、楽しいことを自

「公害を担当する役所で、煙に無関心なんてなあ……」とタメ押しした。ここまで言われて、タバコすいつづけるには、ちよつと度胸がいるわね。そそくさと、あちらさんは外へ出ていったが

話し合ひは、結局のところ条例の解釈のちがいで相手は言うんだがね。でもよ、そんなことは最初からわかるとるわさ。まあこれからの運動の成果によつていくしかないわさ。これからは、あーだ、こーだといつづいていこうと思つとる。とにかく地域つちゅうもんの生活それ自体の問題だわ……。

平山さん、わしも体育科出身の出世落ちこぼれ組だわ。二人で、いつか市長くらい狙つつもりでがんばらるみやあと言つとる。

「私、私の職場でも育児休業の制度化の動きがでてきて、実現も可能な状況。しかし、理事者側の「男も育児休業とは納得できない」のことは、まだまだ、男女平等を推進すると言いつつ、地方自治体の頭はかたいこの現実！ 男の子育てをする会の存在&活動理由おおいに有り」

「多摩市 美香」  
 「こちらは、この冬雪が少なくて助かってはいたが、節分、立春から大寒波で、毎日吹雪で

けど、その子が大人になつたとき、日本の社会に在るかぎりにはまた、新しい管理社会の中で一から苦しめばならない。一時の避難場所として、その中では自由かもしれないけど、社会にもどつたときに登社拒否をして

いるのはしょうがない。フリースクールを創るのはある程度はできることかもしれない。

俺はこれから管理されている子どもたちや管理されていない子どもたちとつらいつきあつていきたいと思います。時には先走りすぎてハードなこととあつた。今だから言えるというような失敗談もいっばいある。

登校拒否が増えて、自由な教育へと行く場所はいくつかある

「今、私の職場でも育児休業の制度化の動きがでてきて、実現も可能な状況。しかし、理事者側の「男も育児休業とは納得できない」のことは、まだまだ、男女平等を推進すると言いつつ、地方自治体の頭はかたいこの現実！ 男の子育てをする会の存在&活動理由おおいに有り」

「多摩市 美香」  
 「こちらは、この冬雪が少なくて助かってはいたが、節分、立春から大寒波で、毎日吹雪で

けど、その子が大人になつたとき、日本の社会に在るかぎりにはまた、新しい管理社会の中で一から苦しめばならない。一時の避難場所として、その中では自由かもしれないけど、社会にもどつたときに登社拒否をして

いるのはしょうがない。フリースクールを創るのはある程度はできることかもしれない。

俺はこれから管理されている子どもたちや管理されていない子どもたちとつらいつきあつていきたいと思います。時には先走りすぎてハードなこととあつた。今だから言えるというような失敗談もいっばいある。

登校拒否が増えて、自由な教育へと行く場所はいくつかある

「あ、あなたがすうのは、勝手ですが、我が間接喫煙の被害をどうむるのはゴメンです」

話し合ひは、結局のところ条例の解釈のちがいで相手は言うんだがね。でもよ、そんなことは最初からわかるとるわさ。まあこれからの運動の成果によつていくしかないわさ。これからは、あーだ、こーだといつづいていこうと思つとる。とにかく地域つちゅうもんの生活それ自体の問題だわ……。

平山さん、わしも体育科出身の出世落ちこぼれ組だわ。二人で、いつか市長くらい狙つつもりでがんばらるみやあと言つとる。

をいっばいためてにらみ返す子や、俺が落ち込んでいてとそつとときキスをしてくれる子や、お互いのエネルギーを全開にしてケンカした子や、かがでコソコソしながらもたえず視線をこちらにむける子など、いろんな場面でのいろんな子の表情が走馬燈のように頭の中をグルグルかけまわる。

この五年間、子どもたちとつきあつていろんなことを発見しある時はきついカウンターパンチがあり、そしていろんなことを教えてもらった。俺には最初から「保育理論」なんてものがなく、毎日毎日一人ずつの関わり積み重ねて裸になつて子どもたちとつきあつてきた。時には先走りすぎてハードなこととあつた。今だから言えるというような失敗談もいっばいある。

ゴタは公立の管理保育に子どもをおきたいとはじめた所から、俺も学校の実習で公立にいき実態がわかつた。むずかしいことはわからないけど、管理すればするほど人って生きるパワーがなくなり、楽しいことを自

「公害を担当する役所で、煙に無関心なんてなあ……」とタメ押しした。ここまで言われて、タバコすいつづけるには、ちよつと度胸がいるわね。そそくさと、あちらさんは外へ出ていったが

「あ、あなたがすうのは、勝手ですが、我が間接喫煙の被害をどうむるのはゴメンです」

話し合ひは、結局のところ条例の解釈のちがいで相手は言うんだがね。でもよ、そんなことは最初からわかるとるわさ。まあこれからの運動の成果によつていくしかないわさ。これからは、あーだ、こーだといつづいていこうと思つとる。とにかく地域つちゅうもんの生活それ自体の問題だわ……。



## ぼくの保育日記 (14) 門野悦生



俺はこれから管理されている子どもたちや管理されていない子どもたちとつらいつきあつていきたいと思います。時には先走りすぎてハードなこととあつた。今だから言えるというような失敗談もいっばいある。

ゴタは公立の管理保育に子どもをおきたいとはじめた所から、俺も学校の実習で公立にいき実態がわかつた。むずかしいことはわからないけど、管理すればするほど人って生きるパワーがなくなり、楽しいことを自

「公害を担当する役所で、煙に無関心なんてなあ……」とタメ押しした。ここまで言われて、タバコすいつづけるには、ちよつと度胸がいるわね。そそくさと、あちらさんは外へ出ていったが

話し合ひは、結局のところ条例の解釈のちがいで相手は言うんだがね。でもよ、そんなことは最初からわかるとるわさ。まあこれからの運動の成果によつていくしかないわさ。これからは、あーだ、こーだといつづいていこうと思つとる。とにかく地域つちゅうもんの生活それ自体の問題だわ……。

話を聞いて、結局のところ条例の解釈のちがいで相手は言うんだがね。でもよ、そんなことは最初からわかるとるわさ。まあこれからの運動の成果によつていくしかないわさ。これからは、あーだ、こーだといつづいていこうと思つとる。とにかく地域つちゅうもんの生活それ自体の問題だわ……。

平山さん、わしも体育科出身の出世落ちこぼれ組だわ。二人で、いつか市長くらい狙つつもりでがんばらるみやあと言つとる。

をいっばいためてにらみ返す子や、俺が落ち込んでいてとそつとときキスをしてくれる子や、お互いのエネルギーを全開にしてケンカした子や、かがでコソコソしながらもたえず視線をこちらにむける子など、いろんな場面でのいろんな子の表情が走馬燈のように頭の中をグルグルかけまわる。

この五年間、子どもたちとつきあつていろんなことを発見しある時はきついカウンターパンチがあり、そしていろんなことを教えてもらった。俺には最初から「保育理論」なんてものがなく、毎日毎日一人ずつの関わり積み重ねて裸になつて子どもたちとつきあつてきた。時には先走りすぎてハードなこととあつた。今だから言えるというような失敗談もいっばいある。

ゴタは公立の管理保育に子どもをおきたいとはじめた所から、俺も学校の実習で公立にいき実態がわかつた。むずかしいことはわからないけど、管理すればするほど人って生きるパワーがなくなり、楽しいことを自

「公害を担当する役所で、煙に無関心なんてなあ……」とタメ押しした。ここまで言われて、タバコすいつづけるには、ちよつと度胸がいるわね。そそくさと、あちらさんは外へ出ていったが

話し合ひは、結局のところ条例の解釈のちがいで相手は言うんだがね。でもよ、そんなことは最初からわかるとるわさ。まあこれからの運動の成果によつていくしかないわさ。これからは、あーだ、こーだといつづいていこうと思つとる。とにかく地域つちゅうもんの生活それ自体の問題だわ……。



# ぶちあげて 女同士 (1)



(素野) 渋谷路世

はなしをしてくれた人「茉莉さん、30代、夫十子も有。きいた人」渋谷路世

「強い女指向で、男糾弾するの好きなあなたか？」  
「私、強くないわよ」

「愛人を取り替えたの？」  
「前の彼とは何となく遠ざかっただけで、決定的なことは口にしてない」  
「夫と愛人と恋人をかかえてる？」  
「別れてどういうの？SEXが終ること？付き合いが終ること？よく分かんないわ」  
今、思えばなんでもない事なんだけど、気になって。とがった靴はいてるとか、演歌が好きだとか、嫌になって来たの。そういうのがチョコチョコ積み重なって、よく覚えてないワ

「それが別れて、別れない理由？」  
「なんでこんな男好きなんだろうと急が思つて、もう寝たくない」  
「あら、SEXはとつてもいいって言ったじゃないの」  
「よかつたよ。こんなにいいもの今まで知らずに来て、すごく損したと思つた」  
でも充されなかったの」

「充る状態ってどんなの？」  
「私の話に応じてくれる、考え方が違つてもいいから」  
「お話しする時間が欲しかった？SEXだけみたいだったの」  
「話しはしてあげたけど一方通行のね。私の都合おかまいなしで逢う日決めちゃうから、勝手にやないって怒ると、ゴチャゴチャ言う女は嫌いだ、女は家の中に居て、男からの連絡を待つてると言ふのね」

「すごいレトロ」  
「私、男がめめしいの嫌いな

「聞くのもいいわよ。すごい充足感。あのピクピクするのを男のニブイ性器がどう感じてるのか直接聞いたことないけど、フツフツしないチツ感とぐらいいは分るはずよ」  
「聞いてどうするの？」  
「SEXがよかったのに何故別れたのかと思つて」  
「彼から別れ話が出たの？話が違つてやない？」  
「少し沈黙なんで彼がよかつたかと言つて、もう一人女の人がいたから。妻以外の」  
「ライバル？フーン。じゃああなた彼と寝た時、勝つた？てかんじ？」  
「最初ヤツタ！って思つたよ。私にベッタリ来ると思つたのねでも違つたの」  
「でもフツの不倫ペースね」  
「時間なくて車の中とか」  
「あなたの精神タフね。人に見られたりしなかつた？あなた地域有名でしよう？」  
「ウン、なかつた。でもそのライバルには不思議とよく会つた。彼の家の近くの。彼女が居るはずない所なの。興味悪かつた。それに会うと不愉快なの」  
「それ偶然？つられてたんじゃないの？彼女もあなたをマークしてた？」  
「でも彼女とは彼出て来ないよ。とつても綺麗な人だけ」  
「主観の問題よ。私から言え

「ばたいたつなカマトトだよ」  
「私は彼女の存在が不安だったの。一年ぐらい前から、パンパンに言うようになったの。彼女に会うのやめてとか。それで彼、うっとうしくなつたの。でも、ダンダン間違って」  
「素直でかわいいな茉莉ちゃんだと思つてもいいわ」  
「連絡しても、仕事で休めないって嘘つくし、寝ようってかきくいてもなかなかウソと言われない。疲れたって言うの。私がいくら思つても、ちつともこち向いてくれない。すごく苦しかった」  
「思うようになんかつたから熱が入つた？」  
「すぐ思うようになる人だつたら、とつくにあきてる。思うようにならない人かと思うようにするのがおもしろい」  
「手が悪いからカード降りた」  
「新しい男はどんな具合？」  
「けなげでかわいいな」  
「めめしいのダメなんですか？」  
「泣くのが嫌なの。私のためは悲しんだり、苦しんだりしてほしくないわ」  
「それがめめしい？私、私の前でのために泣く男好きよ」  
「私、男はこうじゃなくちゃいけないって思つてるのかしら」  
「電車の中で、中年のカップルが手つないでるのよ。不倫よね」  
「いやだつたわ、見てて」  
「どうして？あなた好きな男と手つながないの？」

「たつた、とつくにあきてる。思うようにならない人かと思うようにするのがおもしろい」  
「手が悪いからカード降りた」  
「新しい男はどんな具合？」  
「けなげでかわいいな」  
「めめしいのダメなんですか？」  
「泣くのが嫌なの。私のためは悲しんだり、苦しんだりしてほしくないわ」  
「それがめめしい？私、私の前でのために泣く男好きよ」  
「私、男はこうじゃなくちゃいけないって思つてるのかしら」  
「電車の中で、中年のカップルが手つないでるのよ。不倫よね」  
「いやだつたわ、見てて」  
「どうして？あなた好きな男と手つながないの？」

「が半年の部活停止になつたあれ、みんな知ってるよ。あれが悪かつたんじゃないかね。二年までしごかれ、最年長になつたら停止だもんね」と元不良少年の貫禄で私に説く。そういえばあの件で、私は一度も学校に抗議に行かなかつた。  
「うちのお姉ちゃん」は、小学校の時に自慢だった音楽が、多

## わが家のパピリ 自立途上人

日黒 宮本なおみ

「うちの姉ちゃん」は髪の毛は染めていない。私の友人の子どもが、万引きでつかまつた話などをすると、「ドジなあの万引とはわかんないよにやるもんだ」として「だれでもやっていい」などとのたまふ。  
近所の商店主は「中学一年の時バスケット部の三年とのお別れ会で酒のみ、女子部員全

「うちの姉ちゃん」は髪の毛は染めていない。私の友人の子どもが、万引きでつかまつた話などをすると、「ドジなあの万引とはわかんないよにやるもんだ」として「だれでもやっていい」などとのたまふ。  
近所の商店主は「中学一年の時バスケット部の三年とのお別れ会で酒のみ、女子部員全

## ジャスミンの 植木鉢

2年前、ジャスミンの鉢植を買ったとき「来年も花を咲かせるとは思つたけれどいいの？」と店の人にきいた。  
「素人にはムリでしょ」とスゲない返事。でも、根がケチだから、花が終つてからも、水やりだけは欠かさず、冬は部屋の中に入れておく程度世話をした。やたらツルばかり茂るわりには、花はすくなくのだけれど、今年もとにかく、ツボミがいくつかがかかつてきて、「子どもさんが同僚といつしよに来て、時給いくらと聞くんす。五〇〇円ぐらいかも知れないぞといつたんです。五五〇円で計算していただきますから。遅刻にしても三日したら一日分を引くことはやめていませぬ」とのことであつた。あとで聞いた彼女の話によると、中味が思つたより入つていたので、時間給を聞いたとどめた。このことだつた。二三日遅刻づつりとか。  
二歳になるかならないかで、毎日保育園の帰りに私とつたうインターを、正確に二番まで合唱した「お姉ちゃん」だつたが、そしていつしよにデモで機動隊に声をあげた彼女だつたが、今は給料全部をおしやれと遊びにかける。あなた人間は中味よ」と返つて来る。  
この人の「勇猛果敢」なエピソードは沢山あるが、またの機会にしたいと思つた。

「うちの姉ちゃん」は髪の毛は染めていない。私の友人の子どもが、万引きでつかまつた話などをすると、「ドジなあの万引とはわかんないよにやるもんだ」として「だれでもやっていい」などとのたまふ。  
近所の商店主は「中学一年の時バスケット部の三年とのお別れ会で酒のみ、女子部員全



# 老いつき合う

その(Ⅰ)

石川ひろみ



おじいちゃん、全盲、難聴の  
おじいちゃん、車イスに頼るお  
ばあちゃん夫婦の所へ通い始め  
た。夕食時、「おじいちゃん、あ  
んたも食べな」と私の作ったおか  
ずをすすめて、「今日からあん  
たは家の娘だよ、ずっと来てね  
と手を叩いて喜んでくれるおば  
あちゃんの言葉は、夫妻の酌い  
でくれる酒とともに私の心に柔  
かく浸み込んでいった。



おじいちゃんの車イスを押しし  
て二人の生活の介護をしたのは  
この私だが、「料理がおいしい」「そ  
うじがていねい」と優しく平易  
しい言葉で私の存在を認めてく  
れ、体の中にポコッと穴があい  
た状態から引張り出してくれた  
のはこの夫妻であったと今に  
して思う。「共に生きる」というこ  
とがスローガンではなく、生き  
ていく道筋としてスリットと体  
の中に入ってきたのは私にとつ  
てのエポックであった。

私たちは触れる機会があるが、権  
利意識も希薄で福祉制度の利用  
方法も知らないお年寄は本当に  
ひっそりと暮らしていて、こんな  
仕事でもしてみなければ接する  
ことのない人々である。

—— 婦人戦線の人 ——  
トレーナーとジーンズが楽だ  
から、化粧をするのは時間がも  
ったらないから、まず「おじい  
ちゃん」とは程遠い私たちの私  
ではあるが、お年寄の家は色彩に  
乏しいので、エプロンなどは明  
るめのものを身に着けるように  
している。ある日のこと「石川  
さんはおしゃれね。私も若い頃  
はおしゃれだったんだけど。友  
達が図書館で見つけたと言っ  
て、昔の雑誌に私が載っていたの  
をコピーして送ってくれたこと  
があるよ」八十歳を越えるイ  
さんが昔、何をしていただろう  
か。聞けば「婦人解放運動をや  
っていたのよ」ちよつと照れな  
がらその言葉は、イキイキと  
して「婦人解放」という単  
語はピシッと糊付されたアイロ  
ンがかかっているようだった。で  
は市川房枝を御存じかと問えば  
知っていると言った。じゃあ平塚  
雷鳥は？知っている。逆にイ  
さんが私に「高群逸枝を知って  
るか」と尋ねる。私の場合、知  
っているというの本を読んだ  
ことがあるという意味だがイ  
エス。再び「イさん、何故そうい  
う本を読んだの？」私も婦人解放  
について「私の声は小さい。



五十年以上も前に声をあげた運  
動の大家の前には、私なんぞの  
ヒヨコが「婦人解放」を口に  
するのはおこがましい気さえし  
たから。Iさんは高群逸枝の主  
宰する「婦人戦線」という文芸  
誌のメンバーであった。アナ  
キストのグループで著名なこ  
ろでは住みずらぬ。婦人戦  
線の復刻版が出てからは女性  
史研究家や学生が時折、訪ねて  
来ることもあるようだが、他に  
来訪者もなく、二階家に一人で  
住むIさんは万葉集をこよなく  
愛し、一人でさびしい時には和  
歌を詠い心を慰めている。万葉  
人のおおらかさが好きなのだ  
うだ。

つれあいと家事は半分こ、ベ  
ビーシッターを頼んで夜の外  
出、保父もいる保育園での共同  
保育(皆さん御存じ、ごたごた  
荘)と私の生活を話すと「いい  
ねえ、私たちが描いた理想じゃ  
ない。婦人解放運動は今も脈々  
と受け継がれているのね」とI  
さんは感激し「弁論中止」と表  
現の自由さえ奪われていた昔を  
嘆く。私にとっては生きた歴史  
人であり、日常会話に抑圧だの  
搾取だのがポンポン飛び出す理  
論家のIさんだが、苦手なもの  
が一つある。夏になると台所の  
窓にベタツとほりつくヤモリの  
出現。台所の窓は季節を問わず  
閉め切ったままである。訪問中  
このヤモリの不気味さを何度と  
なく聞かされた。薄暗くなった  
夕暮時に窓にはりついたヤモリ  
の腹を一人ぼっちで見るとそ  
う気持のいいものではないだろ  
う。一人でさびしくても、老人  
ホームで不自由な思いをするよ  
り体の動くうちはこの家にいた  
いと気がまなびIさんが「老人  
ホームに入ろうかな」と弱音を  
吐いた頃、またヤモリの話が出  
た。今度のはすい。「一〇番  
して(ヤモリを)射撃してもら  
おうかと思つた」と聞いている  
。私はポカンとして聞いている  
。何故だろうか？ある時ふと気  
がついた。Iさんは実はヤモリ  
が恐いのではない、一人ぼっち  
が恐いのだ。ヤモリは孤独に対  
する恐怖への引金、あるいは象徴  
なのではないかと。



## 編集後記

「お好み対談」はどうも不評  
なので、しばらく休みます。そ  
して、職業カタログと「老いつ  
つき合う」を隔月交替で連載し  
ます。

初対面の上野千鶴子さんとロ  
マンサーで四十五分、八〇人の  
聴衆の前で二時間しゃべった。  
打合わせの結果、アドリブでい  
こう、ということになったが、  
回転の早い彼女に追いつくのに  
汗かいた。彼女の斬り口  
も少し分つたから、次の機会が  
あれば、もう少しマシな掛け合  
いができるかな？

印象的だった話の一つ。「女の  
ネットワークはインターネットイ  
ェンダンス(助け合い)がある  
けど、男のそれはどうか？」と  
言われ、ウーン。男の助け合  
いは余り聞かないけど、助け合  
いと「もたれ合い」は紙一重だ  
から一長一短じゃないかな？こ  
の辺はもつと話してみたい。

「子育てする男は、もつとお  
じいちゃんや、マネする人  
が増えないよ」とも言われた。  
ほくは素材が悪いからムダだ  
けど、星くんや影土くん等は磨  
けはもつと美しくなるんだから  
おじいちゃんに思ふと思ふ。た  
だ、上野さんに注がれる同性の  
女たちの熱い視線を見ながら、  
こういう視線を、男たちは同性  
に注ぐだろうか？とも考えた。  
海老坂さんや村樹さんの本はヒ  
ットしても、やはり買うのは女  
が圧倒的に聞く。わが会の「男  
の育児書」も同じらしい。長い  
目で見れば女たちの好みの変化  
が、やがて男たちをも変えるに  
違いないと思ふのだけれど、  
やれやれ、だいぶ時間がかかり  
そう。

ところで「交流」の読者の中  
にも、「交流」と「育時連」と男  
の子育てを考える会」をゴッチ  
ヤにして居る人が珍しくないが  
頭脳明晰をもって聞こえる上野  
さんでさえ、どうやらその辺の  
区別がつかないらしい。ほく  
困っちゃう。



読み終わったあと、なぜかほ  
つとしました。  
この本の先生方は、みんなと  
違うことで悩んでいる人をとつ  
ても元気づけてくれる。きつと  
救われたと思う人もいると思  
う。きつとこういふ人が親だっ  
たらいいのに、って思ふかもよ  
でも、わたしはわたしの親は  
こうじゃなくてよかったあつて  
思つたね。

他人と違うわたし、けど他人  
と同じわたしもある。きつとそ  
ういふふうな気がついたりして  
からだと思ふ。他人とは違うわ  
たしを確認しながら生きる方が  
生きにくいようで、じつはそ

つたら、わかんないのも当然ど  
ういふ相手に対する配慮があつた  
と思ふ。  
断絶じゃなくて、配慮だつた  
んだな、きつと。  
だから、この本の先生方はも  
のわかりがよすぎて、こわい。  
断絶とか配慮とかあるまじに、

わたしは何でもわかっているん  
で、さあいつてこらんといわれ  
て、へんに恥ずかしくなつてし  
まうわたりがら。  
おまえは急須ぐらいの頭で、  
周りの子と比べてふたまわりく  
らい小さいんだ。でも、可愛く  
てねえ、すぐよしのだつてわか  
るんだよ……生まれた時の話。



## 家庭をおもしろくする法

林郁 編著

評 皆川よしの

じゃあ、今は？今も可愛いよ。  
という会話を父とよくしました。  
今ははじめても大丈夫だ、こ  
の話しは心の支えだわ。わたし  
とした会話はあはれ東京オリ  
ンピックのとき、どつかのデパ  
ートの屋上でマラソンかなにか  
を見た話。それだけ。

もいんじやないの、とお互い  
思つてるのが一番いいなあと思  
いました。相手を憎むのも、嫌  
いになるのも。  
わたしは離れて暮らして  
なんだが俄然両親が愛しくな  
つちやつてね。なんでだろう。  
ただ、ヘルプミーとわたしに言  
うとこもつともいふところが多  
すぎちゃって気持ち悪い。共感  
しすぎて、いやな感じなのよ。  
あまのじゃくだからね。  
子どものことを理解してくれ  
ちゃって、キゼンと管理でど  
しよもない社会からかばつてく  
れて、状況に心くだけてくれて  
本当にやさしくて、うれし  
んだけど、心強いんだ。  
何に対してもそんなだけ  
過剰すぎるほどの気持ちをも  
てしまつたわたしは、そんなの  
子どもに対して振りかけてしま  
つたら大変だ、大変だと思  
つてる。そういうぐわあとした  
気持ちとかをぬきにして考えて

やれないと思ふ。  
うちは頭の中身を放任主義し  
てくれたので、わたしは今ほ  
つとです。  
うちはかなり正直に助けを求  
めよう。立っているものは親でも  
使え。三人寄れば文殊の知恵。  
そんなもんです。  
そんな中でこの本は、ちよつ  
とこもつともいふところが多  
すぎちゃって気持ち悪い。共感  
しすぎて、いやな感じなのよ。  
あまのじゃくだからね。  
子どものことを理解してくれ  
ちゃって、キゼンと管理でど  
しよもない社会からかばつてく  
れて、状況に心くだけてくれて  
本当にやさしくて、うれし  
んだけど、心強いんだ。  
何に対してもそんなだけ  
過剰すぎるほどの気持ちをも  
てしまつたわたしは、そんなの  
子どもに対して振りかけてしま  
つたら大変だ、大変だと思  
つてる。そういうぐわあとした  
気持ちとかをぬきにして考えて

◆「交流」は、いろいろな生活領域から、体制に異議申し立てをして、いる人々相互の交流と討論と発展のための月刊新聞です。

◆原稿料は払いません。編集作業も無償です。購読料とカンパによって、印刷費・郵送費をまかないます。

# 交流

4月号 (No. 174)

1988年4月10日 (毎月10日発行)  
1年間予約制(送料共) 2,000円 1部頒価 200円

発行 「交流」編集会議

東京都中野区江古田4-17-14 (増野潔気付)  
〒165 電話(03)385-2293  
郵便振替 東京 4-51709

## タイに 農業交流に

PART (1)  
新潟県 五十嵐愛子



今年2月24日午後5時26分、タイのバンコック空港へ到着。(日本時間7時26分。時差2時間) 空港は昨年新築されたばかりの明るく近代的な建物で、税関を出ると真正面に「サワティイ」(タイ語で「こんにちは」の意味)と大きく書かれてありました。

私はタイと日本の間に、橋が架かるといって、その夜はホテルのレストラんで交流会。次の日から、本原さんのガイドでタイの南部・パタヤ海岸から、カンボジア国境近くのチャンタプリーまでを目指して出発しました。

この日本人は本原さん(48歳)とい、タイで漬物工場を成功させ、タイからの農業実習生を日本に送り出す際の、大きな力になってくれている人でした。

観光バスはトイレもついていて、かなり高級な車で、三年前の実習生スラボン(29歳)と二年前の実習生ヒラン(23歳)も道案内として同乗してくれました。

バンコック市内を抜けると、道路の両側は水田が続いたり、タピオカ芋の畑やバナナ園などがありました。が、時折、荒地が続きました。これは大企業が進出し買占めた土地で、そのうち工場やゴルフ場になるとのこと。農業がほとんど企業に食われていく状態は、日本も同じだと思いました。

今も目をつぶると、タイの農業青年たちの人なつこい笑顔がなつかしく浮かんでくる。活発なタノンはどうしているだろうか。陽気で大きなスラポンを、思慮深げなヒランは、元気にしているだろうか。

新潟県国際農業交流協会主催の旅で、タイ・インドへ行ってきました。タイはちょうど乾期でしたが、一年を通してほとんど30℃以上ある暑い国。インドは今、冬の季節で、朝晩はちよつと涼しいけれど、テリーで日中28℃位にはなる。やはり暑い国でした。

国際農友会という組織があり、三十年ほど前から毎年、日本の農業青年を海外(主に欧米・オーストラリア・ニュージーランド・ブラジルなど農業先進国)へ農業実習生として一二年派遣する事業をしています。

新潟県内に今、この実習生OBが150名ほどおり、この人たちが中心となって、新潟県国際農業交流協会を運営しています。(私の夫も十数年前にアメリカへ一年間、園芸実習生として派遣された)

この日本人は本原さん(48歳)とい、タイで漬物工場を成功させ、タイからの農業実習生を日本に送り出す際の、大きな力になってくれている人でした。

バンコックの道路はほとんど舗装されており、TOYOTAとかDUTSUNとか書かれたトーンがらみのトラックがたくさん走っています。日本車が全体の80%を占めるとのこと。

でも、今回の南部の方が農家の生活水準が少しは豊かだとのこと。昨年の旅では、タイの東北部を回ったが、もつと全体的に貧しかったようだ。と昨年もこの旅に参加した一人が言っていました。

今年2月24日午後5時26分、タイのバンコック空港へ到着。(日本時間7時26分。時差2時間) 空港は昨年新築されたばかりの明るく近代的な建物で、税関を出ると真正面に「サワティイ」(タイ語で「こんにちは」の意味)と大きく書かれてありました。

私はタイと日本の間に、橋が架かるといって、その夜はホテルのレストラんで交流会。次の日から、本原さんのガイドでタイの南部・パタヤ海岸から、カンボジア国境近くのチャンタプリーまでを目指して出発しました。

この日本人は本原さん(48歳)とい、タイで漬物工場を成功させ、タイからの農業実習生を日本に送り出す際の、大きな力になってくれている人でした。

観光バスはトイレもついていて、かなり高級な車で、三年前の実習生スラボン(29歳)と二年前の実習生ヒラン(23歳)も道案内として同乗してくれました。

バンコックの道路はほとんど舗装されており、TOYOTAとかDUTSUNとか書かれたトーンがらみのトラックがたくさん走っています。日本車が全体の80%を占めるとのこと。

でも、今回の南部の方が農家の生活水準が少しは豊かだとのこと。昨年の旅では、タイの東北部を回ったが、もつと全体的に貧しかったようだ。と昨年もこの旅に参加した一人が言っていました。

人によっては、イワシのタタキの方が目と旨くて安い、と言うが、残念ながら、まだこれはためしていない。(M)

## 権力の花ゲーム

昨年十二月から今年初めにかけて、泉水博がらみの家宅捜索(いわゆるガサ入れ)が、全国百数十箇所で行われ、交流の読者で、その「被害」を受けた人も、その「被害」を受けた人にも書いたように、勤務先にまでデカさんが何やら臭きまわりに来たこともあったけど、そういうことが度重なる、こちらもだんだん開き直ってくるのね。たしかに、やれば、ダメージはあるけど、「権力の敵は権力自身を作る」という側面もあって、結局向こうさんが振り上げた剣は、向こうさんの傷口も広げることになるわけ。今回、松下竜一さん宅もガサられたけど、なにしろ西日本の反原発活動家の間には、熱烈なファンが多い。

「交流」の読者名簿を避難しといた方がいかな、とか迷いつつ、怠惰な僕は結局何もしなかった。十五年も「交流」やっているから、その間には、本紙にも書いたように、勤務先にもデカさんが何やら臭きまわりに来たこともあったけど、そういうことが度重なる、こちらもだんだん開き直ってくるのね。たしかに、やれば、ダメージはあるけど、「権力の敵は権力自身を作る」という側面もあって、結局向こうさんが振り上げた剣は、向こうさんの傷口も広げることになるわけ。今回、松下竜一さん宅もガサられたけど、なにしろ西日本の反原発活動家の間には、熱烈なファンが多い。

- とび入り料理教室  
行教計算のミスで空きができたので、「アジのタタキ」と称して出てくるのは大抵「アジのサシミ」。本来のタタキは、漁師の手料理で、アジ一尾につき梅干し一個、同量のミソ、しょうが、おろし、ネギ、シソ、みょうがなどの薬味を、アジ(サシミよりごまかく切ったもの)と一緒にまぜ、出刃包丁の背で軽くタタいて、でき上り。  
見場はミンチのようで良くないが、味はサシミの比じゃないよ。
- 男の寺小屋「ボク達が支える性侵略」今も続くキーンセン観光を運まきながら考えよう」  
日時：四月十七日(日) 一時～  
場所：中野労働福祉会館  
主催：男の子育てを考える会  
0423・81・6327
- 原発をとめよう一万人集会  
四月二三日(土) 午前十時半～  
通産省等との交渉/午後一時～  
五時 分教会
- 四月二四日(日) 十一時～集会  
など(日比谷公会堂等) 二時半～銀座パレード  
主催：反原発全国集会 実行委員会/原発とめよう東京行動
- 集会「ゆきゆきて单身赴任・いま男と女と子ども達の逆襲が始まる」  
日時：四月二二日(金) 六時半  
場所：渋谷労働福祉会館  
講演：沖藤典子さん  
報告：中島通子弁護士  
会費：三〇〇円  
主催：帝国臓器・川口さん家族の单身赴任裁判をきっかけに男の養育権・女の労働権を考える会(養育会) 044・422・1490



伝言板

うたコミ第十回記念イベント  
「走りつられてみる夢は...これ  
でいいの私の仕事」仕事をテ  
ーマにフリートーク  
日時：四月一日(日) 一時～  
会場：すべいすしう  
ゲスト：オットコ一座(守劇)  
うたM.I.K.I.K.O.&たてのこ  
ういち  
たべもの/酒つき一八〇〇円  
問合わせ：0425・76・  
1297



# ぶちやけて 女同士 (2)

(素野) 渋谷路世



はなしをしてくれた人  
江美さん・30代・エステシャン

江「酔った上司にくどかれたの」  
江「うん。しつこく自宅の電話番号教えるから、お話ししたいんだなって思ってた。でも、本人には。そしたら、困っちゃってるのよ。なんだから、あれ」  
江「シラフと酔った時は別人格」  
江「多いね、そんな男」  
江「もう一人の栄転した上司は」  
江「時々、会ってたけど、もう別れる」  
江「どうして？」  
江「イナカのおジサンでたいしたことない人だけけど、喋ってるのが、私だけだ。でも、変なのよ、デートの時の借金借して言うんだ」  
江「誰とのデート代？」  
江「私とでしょ。この頃、お金ないから出してってよく言うの。私だって楽しんでんだから、ホテル代払うのイヤじゃないよ。でも、しよつちゅうじやあね。それで、おかしいのよ、今まで私が払った分、全部メモしてあるから、そのうち返すなんて言ってるの」  
江「男運が悪いのね」  
江「そうだね。夫も嫌だしね」  
江「美貌がじゃましてるんだ」  
江「容姿でトクしたこともあるわよ。同僚がほせてる男が私を誘うわけ。別にどうも思ってたけど、のほせてる女に結構イジメられてたから、気分よかった」  
江「それ、トク!?」  
江「わりとカイクンノ男ってそんなもんで思ってるしね」  
江「関係してる男のことかな? 照れ? 所有感?」

江「連う。本当の気持ちよ。はじめは男も親切にしてくれて、プレセントとかね。フアザコンだから、チャホヤされると思うその気になっちゃうけど、付き合ってるって嫌なこと出てるの。でも、本人には私の気持ち言わない」  
江「どうせ分かんないから?」  
江「かわいそうだもん」  
江「外で悪く言ってる、本人の前じゃ全受容って言うのも凄いや」  
江「私、分けて考えてるのかなあ、SEXと気持ちと?」  
江「セックスフレンドと恋人?」  
江「いろんな話したいの。子どものこととか自分のこと聞いてくれる男もつかかった」  
江「いなかった?」  
江「女の考え方や生き方を尊重して、大事にしてくれる男がいるなんて信じられない。大切にされたことないもの。よく、完璧に避妊して、女に負担かけないのいい男って言うでしょ。でも、そんな男もたいていない」  
江「交流のどこと読んでるの?」  
江「あなたの夫ってどんな人?」  
江「仕事はよくする。遊ばないし、常識があつて老人みたいな人。そういう自分だから、私みたいなバカな妻を養っていきけるって年中言ってる」  
江「そういう夫を好き?」  
江「尊敬して。何言われてもフンフンって聞いてあげてたよ」  
江「バカにしてたの? 夫を」  
江「尊敬しなくちゃいけないと思ひ込んでたから、無理にそうして。出来ないうちは自分が悪いからだつて」  
江「まるで実践倫理だね」  
江「父親が遊び人で、家の中シツチャカメツチャカだったから

江「ウん。でも夫ともあんまりいよ。イケバいいってもんでもないよ。摩擦オーガズムじゃねえの」  
江「愛情とかときめきとは別な性は性だけの?」  
江「さっきの分けてつてソレ?」  
江「夫と寝室分けて、二階と一階に別々になつたら、顔見ないインサート出来ない人だったけど、ときめくってこのことかな?」  
江「最高だった。私コンドームがあたると痛くて、緊張するんだ。だから、時間かけて沢山濡れないとダメなの。そのへんを分かってくれたし、精神的に行爲の間、ずっと充されてた。そういう時は夫としても、いいのよ。恋人に悪いなって思わなくていい」  
江「そうとうねられた性意識だ」  
江「でも、その男が誘つてもこわがって避けるから」  
江「めんどろな男ばつかねえ」  
江「みんな別れて、夫だけ今は」

江「ワん。でも夫ともあんまりいよ。イケバいいってもんでもないよ。摩擦オーガズムじゃねえの」  
江「愛情とかときめきとは別な性は性だけの?」  
江「さっきの分けてつてソレ?」  
江「夫と寝室分けて、二階と一階に別々になつたら、顔見ないインサート出来ない人だったけど、ときめくってこのことかな?」  
江「最高だった。私コンドームがあたると痛くて、緊張するんだ。だから、時間かけて沢山濡れないとダメなの。そのへんを分かってくれたし、精神的に行爲の間、ずっと充されてた。そういう時は夫としても、いいのよ。恋人に悪いなって思わなくていい」  
江「そうとうねられた性意識だ」  
江「でも、その男が誘つてもこわがって避けるから」  
江「めんどろな男ばつかねえ」  
江「みんな別れて、夫だけ今は」

江「ワん。でも夫ともあんまりいよ。イケバいいってもんでもないよ。摩擦オーガズムじゃねえの」  
江「愛情とかときめきとは別な性は性だけの?」  
江「さっきの分けてつてソレ?」  
江「夫と寝室分けて、二階と一階に別々になつたら、顔見ないインサート出来ない人だったけど、ときめくってこのことかな?」  
江「最高だった。私コンドームがあたると痛くて、緊張するんだ。だから、時間かけて沢山濡れないとダメなの。そのへんを分かってくれたし、精神的に行爲の間、ずっと充されてた。そういう時は夫としても、いいのよ。恋人に悪いなって思わなくていい」  
江「そうとうねられた性意識だ」  
江「でも、その男が誘つてもこわがって避けるから」  
江「めんどろな男ばつかねえ」  
江「みんな別れて、夫だけ今は」

江「ワん。でも夫ともあんまりいよ。イケバいいってもんでもないよ。摩擦オーガズムじゃねえの」  
江「愛情とかときめきとは別な性は性だけの?」  
江「さっきの分けてつてソレ?」  
江「夫と寝室分けて、二階と一階に別々になつたら、顔見ないインサート出来ない人だったけど、ときめくってこのことかな?」  
江「最高だった。私コンドームがあたると痛くて、緊張するんだ。だから、時間かけて沢山濡れないとダメなの。そのへんを分かってくれたし、精神的に行爲の間、ずっと充されてた。そういう時は夫としても、いいのよ。恋人に悪いなって思わなくていい」  
江「そうとうねられた性意識だ」  
江「でも、その男が誘つてもこわがって避けるから」  
江「めんどろな男ばつかねえ」  
江「みんな別れて、夫だけ今は」

最近、読者から届いた手紙に1月31日の「おとこの寺小屋」の断り書き(検事役は遠慮下さい)に関して、「東京のリップはそんなに凄いですか?」という質問があった。  
もちろん「リップ」の消息については門外漢だから、正面から答える立場にはないわけだけど、ただ感想として次のように思った。  
つまり、性ならみの問題について、リジット(厳格な)な傾向の人と、フレキシブル(柔軟な)傾向の人がいるのは当然だけど、そのこと、その人が「リップ」かどうか、又は、もっと一般的に、男と女のトータルな解放をめざしている人かどうかということは、ひとまず区別して考えた方が分りやすいのではないかと、思うことだ。  
ほく自身これまで、一応主観的には「男女平等」を志向する立場でいる立場に首を突っ込んで来たつもりだけれど、そこにも、性に関してリジットな人

とフレキシブルな人がいるし、又、特に「男女平等」の旗を掲げていない場合でも、やはりリジット派とフレキシブル派がいたりして、ややこしいんだよね。  
小浜逸郎「家族の現在」(大和書房)みたいに「エロスが平等を越える」などという言い方には、ほくは反対だが(月刊「家族」)

コーンシ、それによって女の性の解放感をつかんだいきさつを書いているが、これは実に面白い話だと思う。これも一つの「リップ」の道ではないか。人それぞれ、自分に合った道を手探りして見つけるしかないわけだ。「これこそ解放への正しい道である」なんてものは、どこにもないのだ、とほくは思っているのだが、どうなんだろう?  
で、最初の話にもどるけど、性ならみのテーマで集会をやる、ときどき「良い性、悪い性」というリジッドな価値観を持っている人が出てきて、かなり押しつけがましき主張したりするのね。ほくは、そういう人がすべて「リップ」とは思っていないし、むしろ、性についてのタイプが多いから、そういう姿勢になるのでは、とさえ感じてしまふほど。これはもちろん、ほくの独断と偏見に過ぎないけれど、

コワイ顔しないで、性を語れるようになるといいね。(M)

荷物まどめて  
出てくるのなら  
熊本 山中有稀

中3の時から好きな男がいる。いわゆる「初めての男」である。ちょうど今から20年前の寒い日、その人と抱き合った。互いにセックスは初めてだったもんで、それは見事に失敗してしまつた。それも後味が悪かつたし、ともかく私は深く傷ついてバイバイしてしまつた。しかし、初めて「君は、やりたいことをやって、いい時が生きいきしていて、すてきだから、好きなことをしなよ」と私に言い、私の要求に対してイヤダ、と言つたことがない。  
二人の子供(小6、小3)のあれやこれやも、日常の家事全

わがづれあいは、いい男である。物心ついた頃から恋ばかりして、しつかり、男を見る目を養ってきたから、これほどの男を捜すことができたのだ、と思つて「イヤダ、イヤダ」と言つて逃げ回つた半年間のことは、思い出すだに、いまだ腹立たしいけれど、それでも、最後には私の放つた網の中に、きつちり納まつてくれたことを、心から感謝している。  
彼は、甲斐性のない父親を持ち、苦勞に苦勞を重ねた母親を懸命に助けて生きてきた日々の中で、「人間は、できることを、できる人間がしなければしようがないんだ」ということを思いしらされた、と言ふ。  
だから彼には、男だから、女だからという意識がまるでない。君は、やりたいことをやって、いい時が生きいきしていて、すてきだから、好きなことをしなよ、と私に言い、私の要求に対してイヤダ、と言つたことがない。  
二人の子供(小6、小3)のあれやこれやも、日常の家事全

もうすぐ彼との逢瀬が待っているけれど、もう40歳に手が届いた私は、あちこちのタルミがひどくなる一方なのに、今回も又、ちよこつとピンピンで終わるのだろうか。  
ちよつと話が変わつて。今から4年ほど前のこと。私は急に他の男と寝たくなつた。というのは、つれあいのセックスは、さすが永年つれそつていただけであつて、私の体の隅々まで充分知ってくれていて、すご〜くイイのだけれど、しかし恥かしいがきまつと、なんだか恥かしいのである。どこがどう恥かしいのかうまく説明できないのだけれど、恥かしい。乱れることができない。あまり乱れると、朝起きて顔を見合わせると赤くなつてしまふ。これは一緒になつて17年経つけれど、変わらない。  
そこで、一度、とことん乱れてみたいと思つた。  
ちよつと話を聞いて、知人のつれあいで「セックスが好きで好き

このことづくづく思つたのだけれど、セックスは燃えあがる心からみあいがあるってこそ燃えることができるのだ、という初步的な確認ができた。それが収穫だったと。  
あれやこれやと色々ある中で結局私の男関係がきこちなくなつてしまふ原因は、今、傍に寝ているつれあいが、あまりに、いい男であるから、というノロケを聞いていたで、今日の、お話しはこれで、ブツンポン

# 現代職業カテゴリー (31)

## 舞台衣裳

浅井教子

舞台衣裳という職業があります。実はこれが、今の私を、簡単に説明すると、舞台上に立つ役者さん、又はダンサーの衣裳を、製作したり、買いそろえたりする仕事です。

いろいろなケースが、多く含まれます。

ひとつのお芝居を、例にとります。演出家の漠然としたイメージに沿って、場面ごとの役者の動き、役割、その時代、季節、場所、その相手方とのバランス、全体を通してその人物の生活(性格)などを考え合わせて、あの場面のあのシーンには、こういう衣裳が...という様に、具体的に決めていきます。

時には、役者さんの着たい衣裳や、こちら側の執着する衣裳、演出家の執着する衣裳が、そのままの形で、候補になる場合もあります。

それから予算に合わせてデザインし、素材探しから始まり、パターン(型紙)、仮縫い、修整本縫いと、既成服と同じ手順で進んで、一応完成です。舞台衣裳の大詰めは、この後、舞台効果を考えての飾り付けがあります。



しかし、公演の規模などで、舞台衣裳という仕事の範囲も、大きく異なります。

小さな芝居、舞踊会などでは、デザイナーとスタイリストも兼ねながら、舞台美術の範囲ともオーバーラップしたり、時には、小道具、大道具などもプラン製作します。この時は忙しくて大変ですが、大胆な冒険もできてとても楽しい仕事です。しかし、ギャラの交渉なども、自分で冷静にこなさなくてはなりません。赤字公演なども多く、ノーギャラのスタッフや役者さんも当然いますので、つらい部分です。予算を少なく、材料費をいかに長く収めて、自分なりの納得いく仕事をしていくのはむずかしい事です。

大きな仕事(例えば有名俳優歌手のステージなど)では、ひとりではこなせる分量ではありません。この時は、デザイナー、

舞台美術、演出、小道具、大道芸などは、ほとんど完全分業となります。私達は、ヘッドにたつ1人になる場合を除いて、完全な舞台衣裳の1スタッフとなり、10人以上の協同作業で進めていきます。

個人個人が、いい舞台を作るという気持ちでひとつで製作していきます。この時は苦勞を共にして、ひとつの物を作っていくという楽しさがあります。

こうして、無事に初日をむかえ、ステージに映える衣裳を観たいほどです。同時に、あーすれば良かった、こうすれば良かった、後悔の念もおおそそきです。これだけで済めばいいのですが、芝居や舞踊では、常識では考えられない動きをする事が普通です。衣裳の破損や、アクシデントに備えて、裏でじつと控えているのも、舞台衣裳の仕事のひとつです。

この様に少しオーバーに説明したかもしれませんが、舞台衣裳という仕事は、出来上りこそ華やかなものですが、その内容は縫製を主とした、地味で職人的なものが、大部分を占めます。実際に、職人としてのスペシャリストもいます。頭飾りや帽子の専門家、刺繍の専門家、皮の専門家、和服の専門家、などの人達が、それぞれの得意分野を武器として、舞台衣裳という仕事をこなしています。

私も、仕事を続ける上で、自分の性格の長所、短所、がのみにてきました。そして少しづつ欲もでてきました。

今はただ、この仕事を夢中でこなしていますが、自分の核になる物が少しづつ見えてきた様に感じます。実際言葉にするのがいいませんが、それを指している、時間を作り、もう一度勉強しなおそうと思っています。

それは別の面でも、いままで知り合った人達と、展開の違った仕事もやってみたいと思っています。

どうしても、業界的な仕事なので、華やかなアーティストにかぶれて、流されやすくなりませんが、やはりこの仕事には、地道な根気が不可欠です。ひとりの職人としてのプロになれたらと思っています。

こまごまの私の文章を読み返すと、なんだかすく生意気な感じがしますが、私を含めて、舞台衣裳にたずさわる人の多くは、糸や針や布達で囲まれて、ミシンを踏んでいる時間がとてもこころよく思っています。

いつもは、東京の下町の、生地問屋や、アクセサリー問屋やアトリエとして使っている貸倉庫ばかりの往復です。明日は休みなので、久しぶりに、お登りさんとして原宿見学でもして少し頭を刺激させてみようと思っています。そして月曜日からはまた、時間に追われながら布ばかりにまみれます。

今は、京都のみずや針がいとしくて、手に持つのが楽しい毎日です。

「アトリエ クララルテ」  
KYOKO



「ひとこと つうしん」

「交流が届くのを楽しみに待っていたら、あつというまに一年がたってしまった。(含、少々のスリゴマ?) それにしても、「不良」って奥ぶかいんですね。千差万別十人十色。完成品もなけりや完璧もなし。究極のちゃらんぼらん。だからいいんです。反対(語)が「はじめ」ってことももちろんあるだろうけど、「また別口の不良」ってことも多々あるわけで、経理にピッタリといわれる「きちょうめん」で「はじめ」な私に関しては同義語が「ちゃんぼらん&不良」なのであります?」

(目黒 むつみ)

## 杯男考



ますのきよし

テレビマンガは殆ど見る機会のないぼくだが、「ゲゲゲの鬼太郎」だけは、不思議によく見た。この中で実にユニークな存在が「ネズミ男」だ。ゲゲゲの鬼太郎の仲間がすべて「正義の味方」なのに、彼はただ、小悪党で、ずるくて、いつも仲間を裏切り、決して悪と戦わず、大事な時にコソコソと逃げ隠れてばかりいる。それでいて、鬼太郎軍団が勝つと現れてきて、再び仲間に入れてもらって、「ルパン三世」の不二子も、いつもルパンを裏切るけれど、彼女には色気という切り札がある。ネズミ男はいい所は何もない。フロに入っていないから臭いし、誰にも好かれそうにないのだが、それでも仲間の一員として許容されている。彼だけが半妖怪、半人間という設定も面白い。作者の水木しげるは誰の心の中にも、多かれ少なかれ潜んでいるセコイ、うす汚い部分を、ネズミ男という人物で表現することで、ゲゲゲの鬼太郎が鼻もちならないスーパーヒーロー物語になるのを防ぐとしたのかも知れない。

反体制の運動体も、運動の論理を追求してはいけないけど、ますますメンバーにスーパーヒーローたるべきことを要求する構造になっていくわけだが、それでもやはり、身内に「ネズミ男」を容認する柔らかさを持つていないと、やっているとウソっぽい「妖怪物語」になりかねないので、なんぞ言ってみよう、叱られるかな?

ただ、この鬼太郎、後半は「ママの母を求めて」みたいなものになって、非常につまらなくなった。原作とテレビ化したものとの関係はどうなのか知らないけど、目玉のオヤジという獨創性に比べて、「幼い時別れた、キレイキレイのお母さん」という設定は陳腐だったね。

「交流が届くのを楽しみに待っていたら、あつというまに一年がたってしまった。(含、少々のスリゴマ?) それにしても、「不良」って奥ぶかいんですね。千差万別十人十色。完成品もなけりや完璧もなし。究極のちゃらんぼらん。だからいいんです。反対(語)が「はじめ」ってことももちろんあるだろうけど、「また別口の不良」ってことも多々あるわけで、経理にピッタリといわれる「きちょうめん」で「はじめ」な私に関しては同義語が「ちゃんぼらん&不良」なのであります?」

(目黒 むつみ)

「交流が届くのを楽しみに待っていたら、あつというまに一年がたってしまった。(含、少々のスリゴマ?) それにしても、「不良」って奥ぶかいんですね。千差万別十人十色。完成品もなけりや完璧もなし。究極のちゃらんぼらん。だからいいんです。反対(語)が「はじめ」ってことももちろんあるだろうけど、「また別口の不良」ってことも多々あるわけで、経理にピッタリといわれる「きちょうめん」で「はじめ」な私に関しては同義語が「ちゃんぼらん&不良」なのであります?」

(目黒 むつみ)

「交流が届くのを楽しみに待っていたら、あつというまに一年がたってしまった。(含、少々のスリゴマ?) それにしても、「不良」って奥ぶかいんですね。千差万別十人十色。完成品もなけりや完璧もなし。究極のちゃらんぼらん。だからいいんです。反対(語)が「はじめ」ってことももちろんあるだろうけど、「また別口の不良」ってことも多々あるわけで、経理にピッタリといわれる「きちょうめん」で「はじめ」な私に関しては同義語が「ちゃんぼらん&不良」なのであります?」

(目黒 むつみ)



「交流が届くのを楽しみに待っていたら、あつというまに一年がたってしまった。(含、少々のスリゴマ?) それにしても、「不良」って奥ぶかいんですね。千差万別十人十色。完成品もなけりや完璧もなし。究極のちゃらんぼらん。だからいいんです。反対(語)が「はじめ」ってことももちろんあるだろうけど、「また別口の不良」ってことも多々あるわけで、経理にピッタリといわれる「きちょうめん」で「はじめ」な私に関しては同義語が「ちゃんぼらん&不良」なのであります?」

(目黒 むつみ)

編集後記

◆「交流」は、いろいろな生活領域から、体制に異議申し立てをして、人々相互の交流と討論と発展のための月刊新聞です。

◆原稿料は払いません。編集作業も無償です。購読料とカンパによって、印刷費・郵送費をまかないます。

# 交流

5月号 (No. 175)

1988年5月10日 (毎月10日発行)

1年間予約制 (送料共) 2,000円 1部頒価 200円

発行 「交流」編集会議

東京都中野区江古田4-17-14 (増野潔気付)  
〒165 電話 (03) 385-2293  
郵便振替 東京 4-51709

## こんちわ 筑摩工芸研究所 知ってる?

松本 大下京子

長野県松本市に筑摩工芸研究所という、何を研究するのかわからないところがあります。たしかに工芸もやっています。木彫と七宝焼きです。お土産品の組み立てなんかもしています。家庭廃油で、安定剤も香料も一切入らない石けんを作っています。無農薬・有機栽培の野菜や果物を売っています。廃品回収自動車解体、印刷、リサイクルショップ、損害保険代理店……そして「月刊ちくま」発行。できることはなんでもやっています。やらないや食えない。もって何かできることないかな? わかりやすく言うと障害者の



一九八七年三月「ちくまのまつり」バザー会場

代表は新井俊雄と言います。木彫家です。仏像とか龍の彫物とか、背中には背負っていないと本人は言っています。彫らせたらかなりの腕だという噂です(所員は見たことがありません)。その所長(と、私達は呼びます)は、長野県松本技術専門校というところで先生をしているのですが、そこに障害者優先のコースがあり、一年間木彫や七宝を習うのですが、障害があるということ卒業しなくてもなかなか就職先がないのです。そこで所長、「じゃ、俺が作る」と思いつき(本人の弁)で作ったのが筑摩工芸研究所というわけです。今から七年前のことですが、五名ほどの障害者が木彫、七宝を製作・販売する小さな作業所でした。行政からは無視され、所長の顔を見ると福祉課の職員は居留守を使う日々……行政と闘うつもりはないし、かと言ってゴロニャンしようとも思わない。いつの日かきつと思われない。「補助金あげるよ」から、「何か手伝おうか?」と言ってくる、とヤセがまん(?)しながら、あれもこれもと商社なみに商売の手を上げ、障害者とか福祉とかだけにとらわれないでほしい。広い視野で進めてこそ運動の成果が上がるというものと、様々な地域活動にも関わって来ました。あ、でも、私達、運動家、じゃありません。食べるために生きるため自分の人生をここに置きたいから、ちくま、している。それがたまたま運動と連帯する部分が多いということだと思えます。シンポジウムとかコンサートをよくやります。昨年は「ちくまのまつり」ということで、長谷川きよしコンサートをやりました。

今年も大きな企画を持っています。(まだナイショ) 障害の程度や形で人を選びたくない。仕事の種類を増やして仕事を人に合わせていこうというのが方針の一つのため、いろんな人が増えました。労働を賛美する声も増えました。労働を賛美する声も増えたいけれど、努力しても労働力にはなり得ない人もいます。その努力できるということも能力の一つだから、できない人はどうなるんだ。生産力がなくても活き活き人生は人それぞれ。でも、資本金があるわけじゃなく、雇用という形での人の受け入れには限度もあります。そこで、稼ぎをあてにされず、各々のペースに合わせて作業できる場として「ちくま共同作業所」(授産部門)を併設したのが、三年前です。この辺から行政も、これ以上無視したらヤバイと思ったのか、建物は無償貸与してくれたり、助成金を少し出してくれるようになってきました。ここでは主に、お土産品の組み立てや石けんの袋詰め、体力のある人は石けん工場の手伝いもします。

さて、「交流」の皆さんの出会いが始まるわけですが、先程の仕事の一つに「月刊ちくま」発行というのがあります。一九八二年十二月創刊で一回も休まず続いています。創刊当時は千五百部でしたが、今はその何倍かに増えています。年間購読者に送付するのが半分くらい。残りは公共の場所や映画館、喫茶店、大衆食堂等に配置して、不特定多数の人々に読んでいただいています。幅広い内容を幅広い人に読んでもらいながら、筑摩工芸研究所の存在を、動きを知ってほしいからです。養護学校の義務化などによる隔離化が進み、町から、子ども達の周辺から入りました。皆、横にタイの若い女性を伴っています。聞くところによれば、こういうツアーはバンコクに着いた時から帰る時まで、全部女性つきとのこと。私たちのメンバーの一人が私に向って言いました。

「愛子さん、我々の旅は清いでしょう。本当の草の根の交流を目的にしていれば、あんなふうに遊んでばかりはいられないよ。日本に帰ったら、我々の旅の意義を女性の立場から、ぜひ力説して下さいね。ぼくの奥さんにもね。」

レストランを出るともう九時を過ぎているというのに、十歳位の子も数人、チタンを彫った象の置物や水牛のつのの置物を持って、私たちに買ってくれとそばへ寄ってくる。

「500バーツ」と口々に言いながら、私はストラボンやヒランに聞いた。本当はいくら位の値段なのか。ストラボンは、「おかあさん、500バーツたかいです。200バーツならいいです。」

子ども達は私たちが買う気を見せないで、「400バーツ」「300バーツ?」とどんどん値を下げてくる。結局私は、象の置物を買って帰りました。どこかへ消え行きました。この子たちはほとんど学校へ行っていないのだという。義務教育にはなっていないけれど、行かなくても、学校の計算や生き生き方法などは、親や大人から自然と教えてもらっているのだから。小さい子ども達のたくましいこと。

ホテルへ帰ると、昨年の実習生タノン(26歳)が待っていました。二週間前ぐらいに日本からタノンあてに手紙を出したのが、今日やっとタノンに届き、タノンは取るものもとりあえず、このホテルに駆けつけてきたのでした。

タイでは郵便物は、地方になると宅配はせず、私書箱のようなところへ入れておくとのこと。タノンは今日ちょうど郵便局へ出掛け、自分あての手紙を受け取ったのでした。

(次頁へつづく)

PART (2)

### 農業交流に タイへ下りて

新潟県 五十嵐愛子

その夜はバタヤ海岸近くのホテルに一泊。このバタヤというのは、ベトナム戦争の時、米軍が兵士の保養地にと目をつけ、開いた町だとのこと。

折しもこの日(2月25日)米国の空母ミッドウェイがバタヤ港沖に停泊した日でした。

私たちは夕食を海上レストランでとるために、夜の町を歩きまわりました。町はミッドウェイ乗組員や観光客たちでにぎわっていました。ほとんどがタイの女性とカッパルでした。町をよく見ると、日本人男性旅行団が目につきました。

性たちが三々五々、立っていたりします。きつと声が掛かるのを待っているのでしょうか。

海上レストランの食事は海産物で、なかなか見事なものでした。大きな車エビやカニなどの焼き物や、タイ独特のスープ(ちよつと酢っぱくて辛い味つけの、海の貝がたくさん入っている)は美味でした。

日中30℃以上、夜でも20℃以上はあり暑いけれど、海風は気持ちよいものでした。

よそのテーブルを見渡してみようと、日本人男性旅行団が目につきました。

「町へ出よう。共に生きよう」と声をからして「運動するよ!」筑摩工芸研究所の存在を知ってもらおうことで、私達の品物を買ってもらうことでおつきあいが始まれば、自然に障害者もいる環境があたりまえになってくると思うのです。だからこそ私達は、福祉だからでなく、自信を持って売りたいものを、必要とされているものを提供する商いを続けていきたいのです。

「月刊ちくま」に話を戻します。編集長は地域活動家としての全国的に有名な臨済宗の僧侶です。その下に一人編集担当がいて(私です)、遅筆の編集長と発行人(つまり所長)に冷汗タラタラの六年半。その中で昨年九月より「男の料理」というリレー連載が始まり、文末で次の方を、承諾もなしに一方的に紹介しました。皆、横にタイの若い女性を伴っています。聞くところによれば、こういうツアーはバンコクに着いた時から帰る時まで、全部女性つきとのこと。私たちのメンバーの一人が私に向って言いました。

「愛子さん、我々の旅は清いでしょう。本当の草の根の交流を目的にしていれば、あんなふうに遊んでばかりはいられないよ。日本に帰ったら、我々の旅の意義を女性の立場から、ぜひ力説して下さいね。ぼくの奥さんにもね。」

レストランを出るともう九時を過ぎているというのに、十歳位の子も数人、チタンを彫った象の置物や水牛のつのの置物を持って、私たちに買ってくれとそばへ寄ってくる。

「500バーツ」と口々に言いながら、私はストラボンやヒランに聞いた。本当はいくら位の値段なのか。ストラボンは、「おかあさん、500バーツたかいです。200バーツならいいです。」

子ども達は私たちが買う気を見せないで、「400バーツ」「300バーツ?」とどんどん値を下げてくる。結局私は、象の置物を買って帰りました。どこかへ消え行きました。この子たちはほとんど学校へ行っていないのだという。義務教育にはなっていないけれど、行かなくても、学校の計算や生き生き方法などは、親や大人から自然と教えてもらっているのだから。小さい子ども達のたくましいこと。

ホテルへ帰ると、昨年の実習生タノン(26歳)が待っていました。二週間前ぐらいに日本からタノンあてに手紙を出したのが、今日やっとタノンに届き、タノンは取るものもとりあえず、このホテルに駆けつけてきたのでした。

タイでは郵便物は、地方になると宅配はせず、私書箱のようなところへ入れておくとのこと。タノンは今日ちょうど郵便局へ出掛け、自分あての手紙を受け取ったのでした。

(次頁へつづく)

# 禁煙車の次は禁児車？

## まきのきよこ

三月十九日付東京新聞の「本音のコラム」で、宮迫千鶴さんが「禁煙車の次は禁児車が欲しい」と書いています。その中で彼女は、「若い母親の「ルーズな子育てぶり」を嘆き、「鈍感な母親がふえているのは、核家族が定着して、ガミガミ言う姑がいなくなつたせい」と憂えたあげく、「若い母親たちよ、ビジネスマンは疲れている。新幹線の中はマイカーとは違うのだから、きりつとマナーを守ってほしい」と結んでいる。

彼女に限らず、このところ、このテの発言がやたら賑やかみたい。「思想の科学」でも、あの山田詠美さんが、林真理子さんの「アグネスチャン批判」に同調して「レストランという所がどういう所か知っているのかね。テパートの食堂とは訳が違ふよ。そこにガキが来るなんて、考えられないよ」、「子供のしつけが出来ないなら子供なんか作らなよ」、「私は子供が嫌なばかりに、絶対にエコノミークラスに乗れない」、「アグネスにはベビシッターがいるんでしょ。家で面倒見させりゃいい」、「女性の働く状況をもっとよくなるためにとか、なんとか、そういうだいたいその意見にいつのまにかすり変わっているのも、もつとおかし

い」と、ほとんど「週刊新潮」のノリで言っている。ほくは、アグネスの擁護という意味でなく、自分自身の立場で、「禁児車」に象徴される考え方を批判しておきたい。

①、まず、「子供はうるさい」という点だが、ぼくの経験ではオジサン、オバサンも同じよううるさい。いや、ぼく自身仲間達と列車に乗ったりした際かなりうるさく、周りの人に迷惑かけたらうと自覚している。注意されれば少しは自粛したかもしれないが、ある程度「お互い様」と割り切っている。ぼくが分らないのは、なぜ子供と子連れだけが「禁児車」なのか、である。子供だって、生まれ落ちた瞬間から親とは独立した人権を持つていて、いろいろ条件をつけるにしろ、まずそこから出発することが肝腎じゃないか。校則で縛りあげて囚人なみの扱いをしていい、と思ってる人達が多いのも、子供に一人前の人権を認めないからだろう。

「子供のしつけが出来ないなら子供なんか作らなよ」と山田さんは言うが、「おとなの都合で勝手にしつけられてなるものか、自分の人生は自分だけのもの」ぐらいの気持ちは子供だって持つていないか。

宮迫さんは「ビジネスマンは疲れている」というが、「若い母親」は疲れていないのか？ 一般に「育児は私事で、仕事は公事。だから仕事は育児より上位」という考えがメジャーのようだが、仕事もたかが金儲けにすぎず、第三者にとっては私事でしかないし、「仕事をしなければ社会が成り立たない」と言うなら、育児も同じ。少なくとも同等だ。

要するに、子供がうるさければ、おとなの場合と同様、静かにするよう注意するしかないのではないか。

②、「うるさい」というモノサシを、「嫌い、迷惑」という具合に広げていくと、「臭い、不潔、うるさく（エイズパニックの時は、アザや皮膚病の人は大変だったらしい）、不快、習慣の違い」など、問題はどんどん増えていく。多数派と権力を握っている側は、こうしてアパルトヘイト(白人による黒人の隔離)を仕掛ける

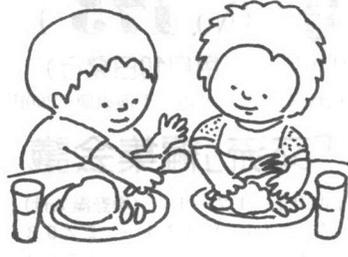
「禁煙車」は「タバコを吸わないで」と言っているだけだが「禁児車」は人間まるごと排除するわけだから、やはりアパルトヘイトと地続きだと思ふ

アパルトヘイトを避けるには多少の不快は、「お互い飲込む」しかないが、「どうも子供は我慢出来ない」という人も、初期の嫌煙運動がやつたように、「私は子供が嫌いです」という大きなバッジを作つて、胸につけるようにしたらどうだろう。

そうすれば、字の読める子供は寄つてこないだろうし、子連れのおとなも、距離をおくようになるだろう。まさか宮迫さん達も「種料稼ぎにああいうこと書いただけで、バッジ運動やるほどの根性はないよ」なんて逃げないでしょうね。

③、十四年前、交流発刊一周年記念に「子育てを考えるシンジウム」を開いた時、敢えて託児室は設けず、子どもと同じ場で討論した。当然、子どもはうるさく、おとなも負けないように声を張上げるから、余計疲れた。しかし、あの時、「子どもを隔離した静かな場で、能率よくやろう」という隔離・分業主義は避けたい」と考えたのは間違いでなかった。

「アグネスにはベビシッターがいるんでしょ。家で面倒見させりゃいい」、「女性の働く状況をもっとよくなるためにとか、なんとか、そういうだいたいその意見にいつのまにかすり変わっているのも、もつとおかし



違つてなかつたと、今でも思っている。子どもを持つ前のぼくは、育児という能率の悪い問題は視野の外に置き、いかに能率よく生き、行動するか、という立場で物事を考えるクセがついてきた。それは、知らない間に能率よくは生きられない人を置いて去りにして行く立場でもあったと思う。そのことへの反省が、託児室を設けないやり方になつたわけだ。いつでもそのやり方がいい、とは言わないが、能率優先の男の生き方への、自分なりの戒め方がそれだった。

# ぼくの保育日記

## 門野悦生



(前頁よりつづく)  
次の日はタノンの家を訪問するためカンボジア近く、チャンタプリーを目指しました。タノンの家は父親が30年前にこの土地に入植し、果樹をやりばいという信念でドリアンとランブタンという果樹を植え、努力してきたという事です。タノンは9人兄弟の3番目。上2人はバンコックで教師などの職業についていて、タイの農家ではかなり豊かな暮らしのようでした。

タイの農村はまだ貧乏人の子どもが、といた状態(乳児死亡率も高く、また働き手としても子どもがたくさんいた方が都合がよい)今、保健婦さんたちが受胎調節指導にまわっている時期のようです。

ゴタゴタを出てから約一ヶ月過ぎた。この前、ゴタの親の人の引越しがあり手伝いに行つた。ひざしに会う子どもたちは、照れくさい子、飛びついてくる子、無視する子、いろいろだった。引越後の宴会で疲れているはずだったが、めいづばい子どもたちと遊んでしまった。子どもよりも僕の方が興奮してしまい、疲れなんかどこかへふつとんでしまった。

食事の時にぎやかさで、完全に一ヶ月前にもどつたようだった。やめた直後は、静かな食事がおちつかないほどだったのに、最近ようやく慣れてきたと思つたら、わずか一日でもどつてしまつては体にしみついてい

あと、この一ヶ月は実家の方がゴチャゴチャしていて、忙し

しかしそんな中でも、夢は着

定期に豪雨が降り、みんな流されてしまつた。で農作業ができていないので、この地方へ出稼ぎに来ているのと。でもみんな、表情はとて明るくて、一緒に写真をとると心よく応じてくれました。

タイの労働者の日当50〜100バツ。日本なら実習生の手当として、一ヶ月3万円はもらえます。7ヶ月滞在すれば20数万円を手にすることができるとです。ヒランはもう一度日本に実習に来て、これだけの収入を得て帰る、結婚したいと言います。(しかし、日本政府はなかなかビザを発行しない)

私たちがインドへ発つ時まで彼らは一緒にいてくれていました。バンコック空港で私たちが

り、バイクに乗つたり、反抗することによって自分の存在を大

わかれさせるためにやつてきた時代から、今では反抗・反発が起

話には変わって保育学のことを少し

# ぶっちゃけて 女同士(3)

(秦野) 渋谷路世



話をしてくれた人「ほなみさん・40代」

「今、私とっても危険な状態なんだ。好きになりかけてる男がいるの。それがね、妻との間に子どもが2人いる。もう1人男の子がいて、その子は妻が別な男との間で産んで、彼が引きとって育ててる。他にもフランス人の女と子どももつくってる。その子は、その女が一人で育ててるの。お金はいっぱいいらなくて、生まれるまで彼になんにも言わなかったらしいね。彼は教師」

「エグゼクティブなお方」  
「その母と子はフランスに住んで、彼は年一回会いに行くの。その時は、妻も一緒に全員で。一ヶ月くらい暮すっていうんだけど、そういう生活わかる？」

「スケールは違うけど、だいたい私と同じな(笑)」  
「はじめて会った時ねえ、サーブ精神が旺盛で、ガキみたいですごいいかに似てるわけ。向うは生意気な女だと思っらしいのね。で「君は僕の三番目の女性だ」と言うの。君が一番好きだ」と言われたことあるけど、そんな風言う男はじめてだよ」

「私、いつも、あぶない男」  
「私、いつも、暗っぽくてね、イジケてる、年が下でって男ばっか、どういうわけか」  
「彼は年上でお金もちで明るい？新境地じゃん」  
「今までの男は、モーター行く時も「行っていいでしょうか」なのには彼は「あなたを抱きたい」と言っていて、バツとホテル入っちゃった」

「その男、おすすめよ。どう話をしてくれた人」ほなみさん・40代

「子どもたちの「父親」やってくれる男のことがあるのよ。ある意味で夫と同じじゃない？」  
「両方持てば？ほなみさんならできる。かしこいもん」  
「ウーン……」

「たまになら？あつ？のめりそうとか？」  
「ウーン。運動してた中で男と知り合って、生き方とか思想とか一致しないとダメって思ってたのに、今度は違うのよ」  
「まったく無想定なんですよ」  
「政治的にはセンセン合わないねえ。ビビってるの」

「初体験だからね(笑)」  
「妻を10年抱いてないって言うわけ。で、自分は他に沢山女つくって、ソープランドにも行くの。バックミたい。そんな男最低って言ったけど、なんか気になる？」

「ギョウカイにあきたのよ」  
「狭いからねえ。テニスやろう、呑みにいこう、音楽聞きたいこうってどこでも連れてってこれちゃいな男なんだ」  
「のめって、くるつたら？」  
「ギョウカイ」

「みんな別居してるって知ってるのに、電話かかって来ると「夫は外出してあります」なんて言うのよ」  
「うす気味悪いね」  
「でも、選挙の時うちの夫が愛人ですって騒いだら、私ダメだったのに、彼女ひと言も言わなかった。それは感謝してんの」  
「そりやブライドよ」  
「2度目は「現職の強味」でなんにも言われなかったけど、最初の時はすごかった。女の問題やってるなんて人の方が倫理感ふり回してね；選挙出るのやめろって言われたわね」

「大変だったろうけど、でも結果はスキャンダルけつとばして当選なんだから、認知されたのよ、愛人関係を。女男平等？」  
「泣いたりわめいたり修羅場をぐぐり抜けて来た彼の関係よ」  
「でも、生活してるとわけじやないから夫婦とは違う。最高の状態なんだからね。その人だけに目がいていれどんなにいいかって今でも思うけど」  
「悩んでる(笑)」  
「いつも男が悩んでたのに」

「接触したいって気持ちはいつもあるけど、そのものがなくとも平気なの。淡白なの」

「昔っから？」  
「きのう今日じゃない。逢いたくてたまらないってのはあるよ、でも、なきやなくて」  
「へー。私一個ソソシたっと思っ。二個かなあ」  
「どういうんだらうね」  
「あんまり聞いたことない話よくない人ならとかかかえ」  
「マスターベーションもしいよ」

「コントロールが強い？」  
「やっちゃやうと後引くんじやないかって恐怖もあるの」  
「キヤ。インテリなのね」  
「夜、他にやることも一杯あるしね。原稿書いて(笑)」  
「ほとんど男感覚」  
「そうみたい。いつも崩れら

中の人も色々で、新組合はイヤだという人は、多くおる。新組合の登録申請のため人事委員会へ行って「登録のし方教えてよ」と言うのと「え？何？」と驚いとるでいかわね。「まあ、すぐ作るちゅうわけないけど、ちよつと勉強だわね。いざれつくるで」と言う。実は、これは、十二人という数だわ。新組合の打ち合わせに行く「人事委員会の永田さんに、「組合つくるのってむつかしいでしょう」と言っていると、えらいはげましてくれる者が徒党を組むということにすぎん。ほんだで、できるだけ活動も、当局の予想をウラ切りながら、したたかにやらなくわさ。

小・中学校は、愛教組、高校は愛高教という組合がすでにあるんだけど、そこから抜けようという人と、二重加入でやったろみやあというムチャクチャな人がおる。除名してきたらオモ

「この電話かけてきて「思いとどまれ」って言うんだわ。組合の中の議論を続けたい」と言うで「そんな議論がどこにあったんだ」と切り返すという、朝から、ハデな電話の応酬だわね。わしは、前から、校長に「新しい組合つくるで、担任は中学年にして、授業数減らして欲しい」と、新組合の役員になること前提で要求したんだわ。そしたら、「そうか、わかった。しかし岡崎君、組合の役員にならねえ、下部の組合員の気持のわかる、思やりの役員にならねえわね」

普通は、組合つちゅうと、やつぱりガンガンと交渉というのがイメージだけだよ、わしらはムリだわ。根がいいかげんだもんでね。常識では考えられんくらいの活動をしていこうとみんなはりきつとるがね。まあ、どっちにしても、クセのある人ばっかだして、これからが楽しみだわさ。

組合旗もチェックカーズフラッグに決まったし、腕章もピンクの水玉らしいし、まあ、みなさんにあきられるくらいでちょうどええわね。

「「昔っから？」  
「きのう今日じゃない。逢いたくてたまらないってのはあるよ、でも、なきやなくて」  
「へー。私一個ソソシたっと思っ。二個かなあ」  
「どういうんだらうね」  
「あんまり聞いたことない話よくない人ならとかかかえ」  
「マスターベーションもしいよ」  
「コントロールが強い？」  
「やっちゃやうと後引くんじやないかって恐怖もあるの」  
「キヤ。インテリなのね」  
「夜、他にやることも一杯あるしね。原稿書いて(笑)」  
「ほとんど男感覚」  
「そうみたい。いつも崩れら

「接触したいって気持ちはいつもあるけど、そのものがなくとも平気なの。淡白なの」

「昔っから？」  
「きのう今日じゃない。逢いたくてたまらないってのはあるよ、でも、なきやなくて」  
「へー。私一個ソソシたっと思っ。二個かなあ」  
「どういうんだらうね」  
「あんまり聞いたことない話よくない人ならとかかかえ」  
「マスターベーションもしいよ」  
「コントロールが強い？」  
「やっちゃやうと後引くんじやないかって恐怖もあるの」  
「キヤ。インテリなのね」  
「夜、他にやることも一杯あるしね。原稿書いて(笑)」  
「ほとんど男感覚」  
「そうみたい。いつも崩れら

「昔っから？」  
「きのう今日じゃない。逢いたくてたまらないってのはあるよ、でも、なきやなくて」  
「へー。私一個ソソシたっと思っ。二個かなあ」  
「どういうんだらうね」  
「あんまり聞いたことない話よくない人ならとかかかえ」  
「マスターベーションもしいよ」  
「コントロールが強い？」  
「やっちゃやうと後引くんじやないかって恐怖もあるの」  
「キヤ。インテリなのね」  
「夜、他にやることも一杯あるしね。原稿書いて(笑)」  
「ほとんど男感覚」  
「そうみたい。いつも崩れら

「昔っから？」  
「きのう今日じゃない。逢いたくてたまらないってのはあるよ、でも、なきやなくて」  
「へー。私一個ソソシたっと思っ。二個かなあ」  
「どういうんだらうね」  
「あんまり聞いたことない話よくない人ならとかかかえ」  
「マスターベーションもしいよ」  
「コントロールが強い？」  
「やっちゃやうと後引くんじやないかって恐怖もあるの」  
「キヤ。インテリなのね」  
「夜、他にやることも一杯あるしね。原稿書いて(笑)」  
「ほとんど男感覚」  
「そうみたい。いつも崩れら

「昔っから？」  
「きのう今日じゃない。逢いたくてたまらないってのはあるよ、でも、なきやなくて」  
「へー。私一個ソソシたっと思っ。二個かなあ」  
「どういうんだらうね」  
「あんまり聞いたことない話よくない人ならとかかかえ」  
「マスターベーションもしいよ」  
「コントロールが強い？」  
「やっちゃやうと後引くんじやないかって恐怖もあるの」  
「キヤ。インテリなのね」  
「夜、他にやることも一杯あるしね。原稿書いて(笑)」  
「ほとんど男感覚」  
「そうみたい。いつも崩れら

「「おもしろ学校ナトリのライプ」(名取弘文著 自然食通信社刊 千五百円)  
「又出したの？」などと不謹慎なことを言っはけませんよ。名取さんもこれから扶養家族が増えて、生活が大変なのでこの本のサブタイトルは、「どーゆーわけか「今夜は帰らない」となっています。いつもながら、奥深い意味があるようですが、ご紹介しておけば、きつと内容を読むとその意味が分るに違いないと思っ、本を買ってしまっ人がいるかもしれせん。



「「おもしろ学校ナトリのライプ」(名取弘文著 自然食通信社刊 千五百円)  
「又出したの？」などと不謹慎なことを言っはけませんよ。名取さんもこれから扶養家族が増えて、生活が大変なのでこの本のサブタイトルは、「どーゆーわけか「今夜は帰らない」となっています。いつもながら、奥深い意味があるようですが、ご紹介しておけば、きつと内容を読むとその意味が分るに違いないと思っ、本を買ってしまっ人がいるかもしれせん。

# 老いつき合う その(II)

石川ひろみ



炎のため入院して、ほとんど寝たきり状態になり、痴呆が顕在化してしまつたあと(痴呆と寝たきりは大変に関連が深いらしい)一定程度の身体的健康状態を得て退院して来たばかりの頃だった。だから、おじいさんの生活に他人が割込んで来たの感が日さんには大きかつたろうと推察する。ヘルパーの訪問時にしか息のつけないおじいさんが、敬老館へ行って留守のときなど、前任者は日さんに「帰れ、帰れ」とどなられたりして、いたたまれなくなつて、部屋を出て玄関先でおじいさんの帰りを待っていたこともあった(そりや、泣きたくもなるだろう)。



いつかそういう目に会つたかしたらハラハラしてたのだ。二回、三回と訪問を続けても事件は起こらない。私は最初の訪問から、いきなり仕事を始めずに、日さんに掃除や洗濯をしにきたのだと話して、一応の納得を得てから仕事にとりかかるといつか手順をいつも踏んだだけだと、日さんはその時は分つても、すぐに分らなくなつてしまふのだから、そう言う手順だけが事件を回避させたのだとは思えない。歩行困難な日さんを車イスで散歩させて近所の人と交わる機会をたくさん作つたハビリーで、日常生活動作くらいは自分でできるようになり、日さんのボケが軽くなつて来たからと思える。しかし、おじいさんの外出からの帰りを待ち切れなくなつて、「全くウチのオヤジはどこへ行つちまつたんだらう」と不安気に何度も外を見に行く日さんを見たし、

不調になつて(痴呆症の御多分)に「帰ろう(生まれ故郷に)」と夕夕をこねる日さんに、「おまえなんか置いて出てしまつておじいさんが言うよ」と置いていかないでよ」と懇願するのだった。おじいさんが聞かされた、おじいさんと懇話になると、この人、若かりし頃はなかなかのブレイブで日さんを泣かしたらしいことも分つて来た。このあたりで、私はなぜ前任者が追い出しをくうことになつたか、ある種、合点がいった。察しのいい読者の皆さんはもうお分りかと思うが、これは日さんの嫉妬なのである。種明かしのことを言うと、我が大先輩は薄紫色の似合うなかなかの美人で細身。ヘアスタイルはレイヤード、これにGパンをはくと女の私でも見惚れてしまふ。日さんは耳が遠い。おじいさんは頭の回転が速く、話がうまい。ヘルパーとおじいさんが軽口を叩いていても日さんには会話の意味が分らない上に、この美女がヘルパーだということさえ理解できない。これだけ条件がそろえば、「帰れ、帰れ」となるには充分ではないだろうか。さて私はと言えば、日さんに「あなた学校はどうしたの」と聞かれるほどに童顔で美人じゃない。とてもじゃないが日さんに妬まれるほどのタマではないのだ。このエピソードは私が美人でないことを証明するためのものではなく、年配でも、さらにはボケと言われる状態になつても、男と女のドロドロしたエロスが健在であるという私にとつての大発見をもたらしたものである。

ともアイマイで、定義がむづかしいが、それだけ便利なのが、この「ギョーカイ」という言葉。日本は広くても、ギョーカイは狭いから、たとえれば、愛知の岡崎さんたちのグループに呼ばれて講演に行つても、広島に家族社に呼ばれて行つても、初対面同士でも、ギョーカイの中では、なんとなく話が通じてしまふ。ところが、たまたま何かの縁で、別ギョーカイにまぎれこんでしまふことがある。ぼくなんか、いつも結構市川カイに行くけど、別ギョーカイに行くとき、「まだまだ」と改めて自分の巾の狭さを自覚させられたりするのです。

「現代職業カタログ」に触発された(私、脱学校(センセイ)、彼、脱サラ、そして二人で脱都会というわけで、新しく(長野県南佐久郡 尚子)再就職しました。来年は四〇歳なものですから、年齢制限のカベがますます厚く「もう少し子供が大きくなつてから」なんて言つていられなくなりました。やはり当面の問題は子供で、保育園に入れたり、イザという時に預かつてくれる人を探したりが大変でした。3月は午前中だけ、4月からはフルタイムです。一番シワ寄せが起つているのは夫で、朝の子供の話、幼稚園への送り等、全部引受けてくれました。生活時間が変わつて



仕事も思うように出来ず、イライラしています。それでも「応援してるから仕事がんばってネ」とつぶやいてくれるので、いじらしいと思います。(保谷市 ひろ子)



「禁児車」問題は、その後東京新聞で3回にわたり賛否両側の読者の投書を集集。四月二日には「大人の質の向上訴え」だった」という宮迫さんの文を載せた。彼女はそこで「自分を善良で正しい人間であると信じている人たちが悪者扱いされている人たちが悪者扱いされている人たちが悪者扱いされている人たちが悪者扱いされている」とつぶやいておられた。久米宏なんか分りやすいから人気がある。それに比べて、原登進側は頭の硬い人が多かつた。たもんだ」と嘆いておられた。体調も、電気の売れ行きが悪くてだいふ頭を痛めているみたいだね。石油安で自家発電に頼る工場が増えていることも関係あるらしい。小口消費者の節電では効果ないのかな?(M)

**伝言板**

無農薬有機野菜と無添加食品 八百屋「さんりん舎」開店 朝十時〜午後六時/日曜定休

**青時連例会**

日時 五月二十七日(金) 六時半  
場所 お茶の水ホール  
03・294・7675

場所 川崎市麻生区細山三三四  
044・953・0277

亡くした「戦争未亡人」で、今にも、彼女たちは「結構な話を聞かせていただいて」と、満更に外交辞令ばかりでもなさそうな挨拶をしてくれるので、こちらあたりが、日本的というかなんというか。

「交流編集者の名刺を出したところ、4月に「信州婦人大会」(テーマ「女性の能力や役割についての固定的な考え方を見直し」)をやるので、講演とシンポジウムの司会に来てほしい」と頼まれた。近頃は、女の集いに女の講師ではマンネリとかで男を呼ぶことも多いらしい。当然、ハイハイと二つ返事で引受けける。さて、その当日、千百人が入った会場の幕が上がると、壇上には三〇人くらいの、役員らしい年配の女性たちが、何やら金色のバッジをついたそりうのユニホームを着て席についている。そして「会歌斉唱」と来た。ほくは仰天した。しかし、すでに

## おののき

正面には「講演『交流』編集者ますのきよし先生」と大きな垂れ幕が下がっていて、今更逃げ出すわけにはいかない。結局、一時間半、いつもの調子でしゃべつたが、ジョークを言えは笑つてくれるし、まずまずという感じで終えてホッとしました。

午後、シンポジウムは、信州大で家族社会学を教えている松岡英子さん(子育て中で、いわば典型的ギョーカイ人。東京と松本に会社を持つ経営者ながら、週末は二人の子どもとバッチリ付合つという吉田総一郎さん。「男は仕事以外に何が出来るか」というか、ニューリベラル派経営者、もう一人、農業高校時代、赤点ばかりで、やつと卒業したが、苦手を酪農をやつて、今では乳牛八〇頭。その体験談を書いた本が次々にヒットして、昔、

がある。「ママハハ物語」で売出した彼女のガラは、少なくともルールやマナーの大切さを説くガラではなかつた筈。そういうスタイルで書かなきゃ食えないというなら、同情もするけど、ルールを説く前に、もうちょっと「美学」ってものを大切にしたいね。

「話変わつて、「ぎょーかいクロスオーバー」にてくる小沢さんのこと。この人、大学での講演も頼まれていて「大学出てないオレが何しやべればいい？」なんて言つた。それを聞きながら浮かんだコピー。「大学は、十代で仕事見つかつた人のため」

「関西電力の社長が何か「反原発側の人」は話がうまい。久米宏なんか分りやすいから人気がある。それに比べて、原登進側は頭の硬い人が多かつた。たもんだ」と嘆いておられた。体調も、電気の売れ行きが悪くてだいふ頭を痛めているみたいだね。石油安で自家発電に頼る工場が増えていることも関係あるらしい。小口消費者の節電では効果ないのかな?(M)

6月号 (No.176)

1988年6月10日 (毎月10日発行)

1年間予約制 (送料共) 2,000円 1部頒価 200円

発行 「交流」編集会議

東京都中野区江古田4-17-14 (増野潔気付)

〒165 電話(03)385-2293

郵便振替 東京 4-51709



「交流」は、いろいろな生活領域から、体制に異議申し立てをして

いる人々相互の交流と討論と発展のための月刊新聞です。

原稿料は払いません。編集作業も無償です。購読料とカンパによって、印刷費・郵送費をまかないます。

もう裸しかなないよ 反原発

川崎 江田雅子



4月24日の反原発集会の報告

4月24日の反原発集会の報告

あののおばさんにも「この本を

真似ろー私の格言。

6年前に反原発映画会をやったことがあるが、あの時の閑散とした会場を思い出す。

私たちのグループの参加は、

長女悠六才、ピカピカの小学

12年ぶり解雇撤回

スタンダード・バキウム労組

私を支えてくれた二人の子供

4月24日の反原発集会の報告

私たちのグループの参加は、

あののおばさんにも「この本を

真似ろー私の格言。

6年前に反原発映画会をやったことがあるが、あの時の閑散とした会場を思い出す。

私を支えてくれた二人の子供



# きょうげん研

## ことばいめ

佐々木 賢

教育現象研究会なるものを開いてみた。略してきょうげん研。私が呼び掛け人として三月二六日に第一回の会合を日野市の青年会館でもった。一〇人の人に誘いの手紙を出したのに、集まった人はなんと十八人、高校の教師が多い。この研究会の意図は、今の世の中の教育にまつわる出来事までできるだけクルールに見ておこうということだ。

呼び掛け人(私)の趣旨説明をした後に、集まった人の意見を聞く。三浦三崎の高校教師、原田さんはプリントまで用意して、最近の生徒の様子を説明する。バイクの事故は、以前はスピードの出過ぎのようなことが原因だったのが、今は不注意によるものが多い。頭骨骨折というような事故を起こした生徒でも、わりとケロッとしている。どうにも自分の身体へのこだわりを欠いているようだ、と

家出にしても、昔は親と喧嘩した原因がはつきりしているようなものが多かったが、今は原因不明で、しかも遠くへ行かないものが多い。見え隠れして、捕まえようとする、するつと逃げる。腹が減ってくるのを現し、学校へも時々くるが、またぞろ、姿を消す。

彼らはかつてのように表立った反抗はしなくなったのだが、無意識のうちでは反抗しているのかもしれない。でもこれは身体反応のようもので「浮遊」と「虚脱」と表現した方がいいかも知れない。本来の自分が無いという意味で「他有化」といってもよい、と原田さんは言う。

しているのだが、漢字の学習が八八のステップに分けられていたり、読み学習のデータが綿密にカルテに記入されていたりして、実に不気味であったという。

大体この辺から、話は互いに関連がなく、それぞれ勝手にその思いを語る。平塚の定時制高校の教師である大野さんは「教師に成る前はイリイチを読んだりその講演を聞きにいったりしていたが、いざ教師になってみると、現場でがんばらなければならない自分がいて、果たしてこれだけのかなんて心配になる」という。教師の日常の行為の意味は何だろうと最近よく考えるというのだが、周りに話し合える同僚も少ないし、組合では極力本音を言わないことになっている、と言う。

磯子の定時制の教師の武田さんは「今は近代反動の時期にある」という。封建時代の末期に封建反動があったように、今は学校で近代反動をみるころがきているという。生徒処分などが、一向に効果がなく無意味になっているので、最後の若の単位認定権をふりかざす。進級会議も三月三日のぎりぎりまで持ち越され、休みを自主返上してまでも審議を尽くしたりする、とまでいっている。

原田さんは「ことばの当てはめのようなことは考えていない。認識の際の補助線程度の意味しかない」と弁明する。

横濱磯子の高校教師である山下さんは「教育というのは、その前提を疑い始めると、色々なものが見えてくる。それに一生懸命やると益々悪くなることも分かった」と発言する。

「指導主事には出がらしのお茶を」の巻

毎年、春になると、各学校に「指導主事訪問」つちゅう、トロクサイ儀式をやり、教育委員会から指導主事が来るんだわ。名古屋市の場合、各区に担当の指導主事がある。出頭だわ。

指導主事が、「エーッ今度、指導主事訪問があるの、略案を提出して下さい」と朝の打ち合わせで言ったんだわ。略案つちゅうのは、一時限の授業の、「ねらい」「手だて」なんかを簡単に書いたもの(詳しいのは密案:あんみつとちゅうよお)をいうんだわ。つまり、この指導主事は、偉そうに学校へ来て、校長を指導し、各学級で先生たちが授業やるとのを五分くらいずつ見て、放課に全職員を集めて中身の無い話をして、寿司を食って帰るんだわ。

その時の授業の略案を出せつちゅうことを指導主事が言ったんだがね。わしは、その時、立ち上がって、「僕んとこへは、来ていりませぬ。来なくていいです」と言って、座った。一瞬、シラケたわ。その時に、拍手する人がおると、うんと盛り上がるけど、おれせんわ。校長以下、誰も何も言えなくて、「いいですね」と念を押した。ただ、二・三人の同僚が、ウフフフと、笑っていたのを、わしは、見逃さな

横濱磯子の高校教師の後藤さんは、自分の関心なんてない、強いていえば、関心が無くなった自分とは何だろうという関心があると言った。学校にいても白けていて、教師生徒の関係は割り切ってやっていると、でも生徒との雑談は楽しい、という。

遅れてきた若い教師の菅野さんも「みなさん、熱心にお話して立派だなあ、と思いきや」と感想を述べたあたり、か

打ち合わせが終わると、教務主任が、すぐ来て、「あのー、今の件だけどね。ちよつとだし、そのー」と、なにやら判つきりせんことをブチブチ言つとる。この人は、今年教務主任になったばかりで、はりきってやつとる。ただ一つ、この老松小へ来たことだけが、

「たかが五分くらいチラチラ見るだけのために、なんアツタマ来て」「書けませぬ」と言つと、「こう、なんというか項目だけでも、あのう」と言つので、「書けんといったら書けませぬ」と一喝したんだわ。

「わたくしねえ、岡崎先生が今、どんな授業をやつとるか聞かれないわけです」と言つと、「そんなもん、岡崎みたいな勝手な事やつとる奴は知らんて言つたりやええがね」と助言(?)すると、「ほんとに、わたしもそう言いたいんですが」と言つていかにわ。あわれだな。

「早くと返してね」と三〇〇〇〇円出したつちゅう、さんざん五月でした(荒川区 靖子)岡崎さんの「今日も行くがや」を毎号楽しみにしています。去年、御本人を拝見して、標

「一体家はどうなつてんの、いくら電話かけても通じないからお金友達に借りて旅行したのよ全く無責任なんだから」と怒られて「ハイすみません、いくら借りたの」娘「二五〇〇〇円」私「早く返してね」と三〇〇〇〇円出したつちゅう、さんざん五月でした(荒川区 靖子)岡崎さんの「今日も行くがや」を毎号楽しみにしています。去年、御本人を拝見して、標

# 行かぬ

(オ23回)



# 愛知 岡崎まさる 体育教師

これは、お互いの了解があつて、しかも、「子どものために」(歯が浮いてしまつた)なるという場合だけですがね

校長「入つちやいかんかね」岡崎「入つたら、みんな困つたことになるでしょうね。きつと」

校長「廊下は公道ですから」岡崎「廊下は公道でいいから」校長「ドアを開けてくれよ」岡崎「もう暑いですから、いつも開けてます」

校長「よし、それでいい」岡崎「よし、それでいい」校長「よし、それでいい」岡崎「よし、それでいい」

校長「よし、それでいい」岡崎「よし、それでいい」校長「よし、それでいい」岡崎「よし、それでいい」

「あの、略案出してもらえませんか？」と、再び来たんだわ。ちよつとと自分の良い事があるんで、「ええよ」と返事して、「国語、生活文」とだけ書いて、あと白紙で出したつた。

「あのう、岡崎先生、略案を、もう少し詳しく書けませんか」

「わたくしねえ、岡崎先生が今、どんな授業をやつとるか聞かれないわけです」と言つと、「そんなもん、岡崎みたいな勝手な事やつとる奴は知らんて言つたりやええがね」と助言(?)すると、「ほんとに、わたしもそう言いたいんですが」と言つていかにわ。あわれだな。

「早くと返してね」と三〇〇〇〇円出したつちゅう、さんざん五月でした(荒川区 靖子)岡崎さんの「今日も行くがや」を毎号楽しみにしています。去年、御本人を拝見して、標

「一体家はどうなつてんの、いくら電話かけても通じないからお金友達に借りて旅行したのよ全く無責任なんだから」と怒られて「ハイすみません、いくら借りたの」娘「二五〇〇〇円」私「早く返してね」と三〇〇〇〇円出したつちゅう、さんざん五月でした(荒川区 靖子)岡崎さんの「今日も行くがや」を毎号楽しみにしています。去年、御本人を拝見して、標



の途中に教室へ行ったんだわ。わしは今、四年生担任。三年と四年は、三時限目に、おいでになるそう。たいてい、どこの学校でも、指導主事が来るとなると、一週間前くらいから、突然に週的生活目標が「校内を美しくしよう」つてなもんになつてまう。廊下も教室もピカピカ、……のはずなのだが、わが老松小学校は、現状維持で、ほとんど変化なし。普通に、よこれとる。それでも、職員室前の廊下に三ヶ月近く放置してあった、ボールとカゴくらいは、しまったがね。

三時間目、わしは、生活綴方の推敲のし方を教授しつた。校長、教務主任、指導主事の三人が廊下を通つてきたがや。もちろん、わしの教室へは入らんかった。指導主事は、ドア越しにのぞいたつたようだが、さだかでない。校長が、突然、ドア口で「イヨッ」と手をふるの、わしはつられて「イヨッ」とやつてしまったがや。ほれでオシマイ。

職員室では、皆、不満タラタラで、「あーあ、たかが五分のために、なんで、こんなにやらなかつたのか」と言つ。その通り、教頭も教務も朝から緊張しっぱなしで、もう、何も見えず、バタバタしつとる。

教頭が「指導主事さんには、おいしいお茶を入れたつてよ」と用務員さんに言つとつたそうだが、みんなが「一番マズイ出がらしでけつこうだ」と言つとつたのを知つたりやあすか。

当日は、朝は遅刻。一時間目

「一体家はどうなつてんの、いくら電話かけても通じないからお金友達に借りて旅行したのよ全く無責任なんだから」と怒られて「ハイすみません、いくら借りたの」娘「二五〇〇〇円」私「早く返してね」と三〇〇〇〇円出したつちゅう、さんざん五月でした(荒川区 靖子)岡崎さんの「今日も行くがや」を毎号楽しみにしています。去年、御本人を拝見して、標

# ぼくの保育日記

門野悦生 (17)



「子どもに原発をわからせると、ある集会で聞いた人が、大人はいろいろ勉強するたびに原発の怖さがわかり、原発＝電気ということもわかるけど、子どもはなかなか具体的に電気＝原発ということが実感できない。家に帰ればスイッチを入れれば電気がつき、大好きなテレビやファミコンができる。この電気が恐ろしい原発からきているんだよと説明してもあまりピンとこないかもしれない。無理もないことだろう。」

だから、電気は自分の力で作るんだよ、という感じで、自転車かなにかで自力発電器を作って、子どもにこがせて、電気を起こさせて、その電気でわたがらでも作れるようにセットしたい、電気というものが実感できて、その後、恐ろしい原発の実体を少しづつ説明していった方がいいと思った。

あと、ファミコンのソフトで反原発を作ってゲームの中で恐ろしさを伝えるとか、とにかくいろいろなことを吸収したがる子どもたちにもう伝える方法はいろいろあると思うけど、どれだけわかってもらえるかがむずかしいと思う。

原発で毎日、少しずつ放射能におかされているのと同じくらい、子どもたちは毎日、学校教育という放射能におかされ苦しんでいる。親や大人があの手ここの手で必死に子どもを守ろうとしても、これでもかといわんばかりに次から次へと管理教育を子どもにおしつけている。

この前、学校いきたくないという子どもたちが集まっている所へ行って来た。13才の男の子はしっかりと自分に説明している。小学校が本当によかったんです。先生もいい先生だし、学校も毎日いくのが楽しかったです。自分で自分自身のこと、自分がやらなくていいこと、つまり小学校と中学校とのギャップがありすぎたんだよ。」

「たんとと話す彼はすごかった。でもときどきみせるさびしそうな目が印象的で、何か自分の知っていることがあると僕がわかるまで説明して、わからないことがあると、こうじゃなくかなと、二つ三つくらい考えてを推測していた。この子のまわりにいた大人教師はこの説明をちゃんと聞いてやれなかったのだから。ここにいる大人たちは彼の話をちゃんと聞いていない。それだけの違いで彼はこんなに生き生きしている。

片道、二時間以上もかけてきている女の子がギターをひこうとしていたので、「ギターひける?」と聞くと、「ひけない」と一言いうと、奥の部屋へ行ってしまった。しばらくすると、他の子と混じって、ドラムとかカステネットみたいなもので音楽がなりはじめた。ドレミは関係なく、リズムのみで演奏していた。彼女が弾けないといふことは、ドレミが弾けないといふことで、ギターという楽器から出す音はどういうものでもよ



く、とにかく音を自分の感じたままに出したかったんだろう。演奏にまじって彼女の大きな笑い声がひびいていた。チェスの好きな女の子がいて、いっしょにやった。僕たちがチェスをしている横でマンガを読んでいる子がいて、僕や彼がミスするとタイムアウトよくイミグがよいので、僕は彼をチェスをしていながら、マンガを読む子とも遊んでいるように「不思議な体験だ」という彼の言葉がよかった。

三時間くらいしかそこいらななかったけど、なぜかフツと息が抜けるような感じがした。最近あまりにも学校教育の奥の奥まで覗きすぎて、けつこう自分の中でもギスギスして神経が張りすぎていることもあった。帰って来て、近所の保育園に入れたら三才の子とドロドロになるまで遊んでしまった。

私がある日、いとこの結婚式招待状が届いた。宛名は吉田〇夫様。令夫人様となっていて、私はまだこのうちの子の障壁も大きかったので私としては、籍は入れたくなかったのだが、あれこれ親と争うことがメンドーになって相手の姓(石田)で新戸籍をつくるという譲歩をしてみました。しかし、呼び習わされた自分の姓(吉田)は捨てがたく、戸籍上の名前を必要としないところ、通称、ペンネームは吉田で通じる程度の年月が経つてから子供は石田に残留し、自分は自身を筆頭者とする吉田籍をつかった。これは最初からの作戦で、入籍したこととあえず

「思いつきりぽろぽろで幕。」

結婚・籍・姓

吉田夏子

ある日、いとこの結婚式招待状が届いた。宛名は吉田〇夫様。令夫人様となっていて、私はまだこのうちの子の障壁も大きかったので私としては、籍は入れたくなかったのだが、あれこれ親と争うことがメンドーになって相手の姓(石田)で新戸籍をつくるという譲歩をしてみました。しかし、呼び習わされた自分の姓(吉田)は捨てがたく、戸籍上の名前を必要としないところ、通称、ペンネームは吉田で通じる程度の年月が経つてから子供は石田に残留し、自分は自身を筆頭者とする吉田籍をつかった。これは最初からの作戦で、入籍したこととあえず

親を安心させ、旧姓を使い続けることで実績をつくり、そのうち法的にも旧姓に戻ってしまおうという魂胆があったのだ。しかし、根が正直者の私としてはいつまでも親にウソをついているのも忍びなく、そろそろ潮時かと思ひ、こちらから私の姓が法的にも吉田であることを親に分らせることにしたが、面を向かって告白するのは面はゆいので、ちよっと小細工をした。

米揚げおにぎり」が私のおすすめ品です。機会があれば一度試してみたい。それに店のすみっこにありますが、「交流」を押し込んでくれるんです。お客さんが手にとってみて、そこから何か広げれば良いなあ、と、あわい期待をされているのですが、(姫路市 安美)

五月号、久しぶりにおもしろかったです。特に、禁煙車とぎょかいクローズアップ。排除の考え方に対するまのさんの反論は痛快だったけど、狭い座席でウンチのおしめかえに苦労した私は、いつそ子供が楽に息のできる空間(畳敷きのお座敷列車みたいなやつ)を作りたいなあと思ったります。

(金沢市 紀子)

購読料の支払いが遅れてすみません。弁解がましいのですが、去年の秋あたりからうつ病になつてしまい(軽症なんですけど)

祖母を偲べば、吉田家が絶えちゃいけないとは思わないが、吉田の名が捨てがたいというのがあるが、今はこれだけのことだから「そういうことにしておけばいいじゃない」まさか娘が「そもそも籍を基盤とする結婚制度は国家が人民を縛るための歴史であり、天皇制を担ってきた歴史をもち、民族差別・私生児差別を助長してきたので入籍しない」と言っていますと母が人様に説明するなんぞありえないし、第一、私が母に分つてもらえないように話すことさえ不可能だから、なじみのない姓を使いたくないとか、籍を入れないとかも不自由やデメリットはないというあれこれを並べたててボソと消極的に夫婦別姓を擁護しているうちに向こうからタオが投げ入れられた。曰く「山本コウタローね」コウタローさんよくぞマスコミで「自然な関係」についてアピールし続けて下さったと、私は彼に三拜九拝しつづ「そうです」とニヤリ

そこでささず母は「今度(別姓の理由を)聞かれたら、おもしろいテレビ」を見てよと答

「映画とおしゃべり」(映画) 日時六月九日(水) 朝十時から夜六時半から 会場多摩市民会館(向ヶ丘遊園下車三分)044・900・三〇二〇) 主催「まだまにあうのなら」を讀もう会(044・九五四・八三三九(松尾)他) 会費 大人五百円/小中学生三百円

「思いつきりぽろぽろで幕。」

山本コウタローが司会の昼のワイド番組

# クッキングハウスは 共同食堂みたいな居場所です



(上) 松浦幸子

新宿から京王線で20分程の調布駅・徒歩二分の七階建てマンションの一室にクッキングハウスがあります。十二畳の広さの狭いワンルームからは、ごちゃごちゃとにぎやかな声があふれお菓子の焼ける匂いや、鏗りしきとっているおいしい香りが朝

からしてあります。貸事務所だけが並んでいる長い廊下と閉ざされたドアのマンションの中で、ドアを開け放しはここは一体何をやる場所だろうかとのぞいていく人もいます。

クッキングハウスは、私と仕事仲間との二人で自前で始めた、障害を持つ人も、一般市民も、料理を作って食べることを通して一緒に交流し合おうという場なのです。

私は、精神科ソーシャルワーカーとして、非常勤で保健所ドイ・ケアで働いてきました。地域で生活する精神障害者が、少しでも伸び伸びと暮らせるように、人間関係の輪を広げ人生の中身を充実できるように、また再発防止につながるようにつけ

ようやく、去年の国会で精神衛生法が精神保健法に改正になり、社会復帰の必要性が条項に盛り込まれました。これは栃木の宇都宮病院の患者虐待の実態が暴露されたことで、国際的批判が高まり、国としても動かざるを得なかったからです。しかし改正の中身は、入院の方法に

より、患者の人権を尊重しようということが主で、いくらか進展があつたという程度です。社会での偏見は根強く、職業についていけない人が多く、生活する人としての地域ケアの視点が欠落してしまっています。例えば十代で発病し、そのまま病院暮らしを余儀なくされ、やっと退院できた時は四十代という人も多いため、二十年も世間のことを知らずにいたのですから、いきなり地域で暮らしてみても、長い眼で見守り、一緒に歩んでくれる人や場がなければ、持ちこたえ

は、ちよつと斜にかまえてみて、無理に働くことを考えなくていいのではないかと思つてきました。一ヶ月五千円の賃金を一月中うつつ内職をする代りに、その分遊んでいいのではないかと。なぜ障害者は遊んではいけないのか。もつと毎日、人とつながっていきたくて、いことや、生きることに素朴に

たいな人がいて、その人に(と働条件を作っているようなものとなるべきだと思つた。日本でも一番大きな生協だといつて、やはり、賃金をもらつて生活しているわけだから、意識は違つても、形は同じだよ。それに、だんだん、大きくならねばならぬ。分業化し

てくるし、どんどん若い人が入つて(職員として)来るけど、意識的には一般の会社と同じよ

いし、年商は、近鉄デパートなんかより上だよ。都民生協なんか20万人以上、組合員がいるんじゃないかな。

なにか、生活全般にわたること、例えば、教育の問題とか医療の問題とかすべて生活(生きていくこと)に関することを生協はやっていくべきだと思つている。勿論、積極的にや

らねんのか、だんだん規模が大きくなつていくと、そんな理想と現実の間に生息している以上、食つていかなきゃならぬし、そこらへんの矛盾みたいなものをか

かえながら、経営的にもチャンとしていかなきゃならぬし。そこで働いている人間が楽しくなくちゃならぬし。……本当にむずかしいんだけど。……

うんだ。特に、ボクなんか、職員十人、組合員三千人ぐらゐの生協でしよう。……なんか、何をやるにしても、規模的には中途半端な感じがするんよ。

か……。農協と似た様な組織型の略でしょう。だから、みんな同じだと思つたけど、特に東京にはいろんな「生協」があるんだ。

「A」も、どうして、いろんな「生協」があるの?

「A」も、設立のきっかけが違つていたりとか、また、政治的な課題(例えば、添加物規制とか大型間接税とか、最近じゃ原発の問題とか)にどうしてもぶつかるとか出て来たりして、結局、いくつかの「生協」になつたりしているというの、現状じゃないかと思うよ。

## 現代職業カテゴリー (32) 生協専従 ぼけまる (西多摩生協)



「A」も、設立のきっかけが違つていたりとか、また、政治的な課題(例えば、添加物規制とか大型間接税とか、最近じゃ原発の問題とか)にどうしてもぶつかるとか出て来たりして、結局、いくつかの「生協」になつたりしているというの、現状じゃないかと思うよ。

「A」も、設立のきっかけが違つていたりとか、また、政治的な課題(例えば、添加物規制とか大型間接税とか、最近じゃ原発の問題とか)にどうしてもぶつかるとか出て来たりして、結局、いくつかの「生協」になつたりしているというの、現状じゃないかと思うよ。



編集後記



クッキングハウス

クッキングハウス 調布市布田一―二六ダイ ヤパレス236号

# 7月号 (No. 177)

1988年7月10日 (毎月10日発行)

1年間予約制 (送料共) 2,000円 1部頒価 200円

## 発行 「交流」編集会議

東京都中野区江古田4-17-14 (増野潔気付)  
〒165 電話(03)385-2293  
郵便振替 東京 4-51709



◆「交流」は、いろいろな生活領域から、体制に異議申し立てをして、人々相互の交流と討論と発展のための月刊新聞です。

◆原稿料は払いません。編集作業も無償です。購読料とカンパによって、印刷費・郵送費をまかないます。

### 地下鉄広告拒否事件

名古屋 岡本のり子

#### 『国の政策に反する広告はダメ』だって!? 原発なんがいらんわ



5月下旬、この反原発意見広告問題がマスコミにのったのがきっかけで交渉参加者の数もふえ、市長や交通局に抗議の電話やハガキが寄せられた。電話のやりとりの中で「たとえは、無農薬野菜を食べましょうという広告が？」と聞かれた交通局の人「農業が否定されているからダメです」というのもあつてなさない。

交渉の後半には意見広告の会が「原発なんがいらんわ」が問題なら「原発いりますか？」にしたどうかという別案を出してみたいけどこれもダメ。

結局、半年にわたり数回の交渉を続けたものの交通局の態度はかわらず、反原発はダメだった。

9月、市議会に「意見広告ボスターの地下鉄車内掲出を求め陳情書」提出のための署名を始める。請願にできなかったのは紹介議員が見つからなかったからで政党は遠かった。

88年3月、約八千人の署名提出。5月、市議会建築交通委員会は「聞きおく」扱いとした

道行く人に反原発を呼びかける反原発ランチタイムサービスタウンを始めたりもして今までに盛り上がり。

一方、昨年夏から事故をくり返している浜岡原発(静岡)をかかえる中電は今、三重県の浜原建設推進に懸命で、6月7日付毎日新聞の記事によると中電津支店が広瀬隆氏を強く意識した「どちらを信頼されますか？」というチラシを作った原発PRキャンペーン中。

名古屋では4月に「いらんわ」ね/原子力発電なごや一〇〇〇〇人集会に千五百人もの人が集まったり、中電本社前で日曜をのぞく毎日昼休みに中電社員や

（編集者より・6月20日、松江市の人から届いた郵便によると島根原発2号炉の試運転が、7月中旬に始まること。島根県と中国電力の協定では、試運転の1ヶ月前には知らせる約束なのに、中国電力は言わないつもりらしい。7月10日には反対集会を開く他、キャラバン隊、中電への抗議電話等の行動予定。幸福の手紙方式で、1人が3人の人に、反対アピールの手紙を出そうというよびかけがされている）

名古屋市営地下鉄車内の吊り広告に「原発いらん」意見広告を出そうとして交通局相手にがんばったものの拒否され、市議会に陳情したら「聞きおく」実効なし」と言われてしまった、お疲れ話です。

86年4月、チエルノブイリ原発事故。8月、朝日新聞の世論調査で原発推進に反対41%、賛成34%とはじめて賛否逆転...という年の秋もあわりの頃、名古屋で10年以上も地道な活動をしてきた「反原発のこの会」が地下鉄に反原発意見広告を出そうと機関誌「胞子」で呼びかけたら広告料・全車両2枚ずつ2日間42万円プラス製作費が集まらなかった。ポスターはB3サイズ、黒をバックに中央におぼあさんと女の子の顔写真。右左に黄の手書き文字で「まだやめたいことがある。『原発なんがいらんわあ』」で広告主は原発いらん意見広告の会。

87年2月、広告代理店に申し込んだら意見広告を取り扱いかねるので交通局に直接交渉をと言われ、3月、交通局(営業推

進課)へ。ここで、この広告は交通局の広告物取扱規程第13条(広告掲出の禁止第6項(その他不適当と認められるもの)に該当するからダメと断られてしまった。

なぜ不適当かというところ、①意見広告はのせない。②現在あるものを否定する広告はのせない。③国の政策に反する広告はのせない。

からなんだって。交渉の担当者も主査、係長、課長、部長といろいろで中部電力がこれまでに出している原発推進の広告は意見広告だと認めたり、いやあれは商品(電気)を売るためのものだから意見広告ではないと言ったりして見解もまちまちだったけど、役所の常として文書回答はいやがる。3回目の交渉のあとやっと出た文書回答は、「合法的あるいは社会通念上認められる範囲で存在するものに對して否定または反対あるいは中傷する内容と判断されるものについては掲出広告としてふさわしくない取扱にしておりますのでご了承ください。」

本紙5月号の「禁煙車批判」にも関係があるが、アグネスさんの子連れ出勤を軸とする論争は今も進行中だ。「子育て」に関する議論は、これまで子無しの人が加わることは希れだったが、今回は林さん、中野さん、山田さん、上野さん...と賑やかだ。これ自体は良いことだと思う。子どもの問題は、良きにつけ悪しきにつけ、子無しの人といえども無関係で済ますわけにはいかないのだから。

「子連れ出勤」問題の底には当然、働くことと子育ての両立とか、性別分業(又は母性論)をめぐる議論がからんでくる。これは、育時連が追求してきたテーマだから、何らかの形でこの論争にかかわらないわけにはいかない。

ただ、あまりに深刻に敵味方に分れて議論すると、後味が悪い。ここはひとつ、ムキになりがちな気持ちを抑えて軽やかにフリートークといきたい、もちろん「有名人と無名人」の区別なく、それがこの企画の狙い。ウワサでは月刊宝島がこの論争の資料総集編を作製中で、この集いに印刷が間に合うらしい。それだと育時連が資料を作る手間も省けるし...それは余談だが。

そんなわけで、キョーミのあ方、ぜひ来てね! (特に、同じ意見の人だけが発言し合うというスタイルは避けたいのです)

日時 七月十六日(土) 一時半より四時半まで(その後二次会)

七月十六日の集会「花の外野」のウワ話になるが、六月下旬に会場を予約した後、アグネス・チャン、林真理子他アドレスの分った数人の「舞台上」の人たちに、とりあえず案内状を送った。(林さん宛のものは「転居先不明」で戻り。十日夜、アグネス事務所の金子さん(アグネスさんのつれあい、マネージャーでもある)から電話が来た。「これは『論争』ではなく、林さん側からの一方的中傷だから、そんな名称の集会は困る」と言う。しかし、論争というものは、双方が「論争」であると認めたものばかりではない筈。ほとんどの場合は、なるべく円満に運びたいから、いろいろ趣旨を説明するのだが、納得せず、結局「こちらの事務所に来て、アグネス側の資料をよく読んで(アグネス側)ということになり、何だか教師から「職員室に来い」と言われた生徒みたいな印象がないでもないが、そこは平和主義のほくこと、ハイハイと日時取決めにいった。いって六月十六日の十一時に決りかけたが、「都合がつかどうかハッキリしないので十三日の二時から三時にもう一度電話してくれ」と言う。で、約束どおり、その時間帯に二回電話したが、一回目は「他の電話で話し中」、二回目は「会議中」と言われ、プツン。いくら平和主義のほくだった、「いい加減にしてよ金子さん」と腹の中でつぶやいたのも無理ないでしょう?

それで、「またスッポカされるおそれがあるので、事務所に行く件は保留する。集会は既定方針どおりすすめる。自分たちは言論と集会の自由の範囲内でやっているのだから、干渉は受けない。私たちに見せたい資料があるなら郵送してほしい」旨の手紙を書き送っておいだ。

卒直に言ってしまうと、金子さんが、あまり良い印象は受けなかった。有能な青年実業家という感じで、ゴウ慢ともいえる態度が、こちらに対してだけでなく、彼に付いてきた男に対する人使いの荒らしに見えた。又「ほくのまわりでも、文春愛読

文春の林論文に中傷部分が多いことは確かだが(朝日ジャーナル六月四日号落合恵美子論文参照)、「中国は本当に男女平等です」と言ったアグネスさんにクレームをつけたあたりはアグネスさんの発想の弱点について、部分的には間違っていない。アグネスさんは「一才半まで母親」論なのだから、何を基準に男女平等と言うのかは大いに疑問のあるところだ。

金子さんは、アグネス側の正しさをほく達に説得するために時間をさいてくれたのだと思うが、皮肉なことに、ほくはむしろ、彼に会って以後、毒に覆われた林さんの文章の背後にある彼女の真意みたいなものにも、目を向ける必要があると思ふようになった。

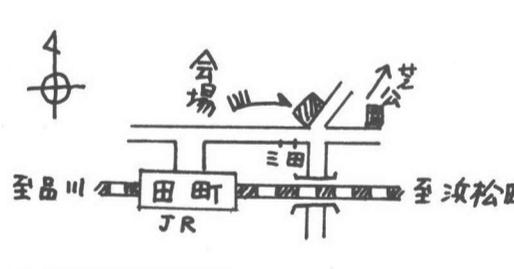
### 7-16 アグネス・真理子論争 花の外野席

会場 港区勤労福祉会館(JR田町駅から三分。又は都営地下鉄三田線「三田」駅すぐ前)

内容 フリートーク

参加費 三〇〇円

主催 男も女も育児時間を1連続会(育時連)



### 7/16 集会準備うらばなし

それが着いた頃、金子さんから電話があり、一応言葉では非礼を詫言ってきた(心はこもってなかった)ので、今度は中野の喫茶店で会うことになった。育時連のK子さんにも同席してもらい、待つこと三〇分。金子さんは膨大な資料(国会での意見陳述など)のコピーをほくたちに示し、いかに林さんの文章が、事実に基づかない中傷から成立しているかを延々二時間半にわたって説明してくれた。ただ、もともとその前から林論文には批判的だったほくは、その話を聞いて、特に大きく啓発されたわけではなく、むしろどちらかと言えばウンザリという感じだった。

文春の林論文に中傷部分が多いことは確かだが(朝日ジャーナル六月四日号落合恵美子論文参照)、「中国は本当に男女平等です」と言ったアグネスさんにクレームをつけたあたりはアグネスさんの発想の弱点について、部分的には間違っていない。アグネスさんは「一才半まで母親」論なのだから、何を基準に男女平等と言うのかは大いに疑問のあるところだ。

金子さんは、アグネス側の正しさをほく達に説得するために時間をさいてくれたのだと思うが、皮肉なことに、ほくはむしろ、彼に会って以後、毒に覆われた林さんの文章の背後にある彼女の真意みたいなものにも、目を向ける必要があると思ふようになった。

卒直に言ってしまうと、金子さんが、あまり良い印象は受けなかった。有能な青年実業家という感じで、ゴウ慢ともいえる態度が、こちらに対してだけでなく、彼に付いてきた男に対する人使いの荒らしに見えた。又「ほくのまわりでも、文春愛読

# 老いとつき合う その(四)

石川ひろみ

ルバーの仕事を書きたかった。だから、とりあえず、一回目Iさん、二回目Hさん夫婦のように魅力ある人々に登場してもらい、あまり重たくならないタッチを意識して書いた。

前置き—行き詰まった！  
連載三回目で行き詰まってしまふ執筆も稀であろうが私は行き詰まってしまったのである。

## 連載をはじめたワケ

モノゴトを感じるときや受け取る時には、たぶん私なりの直感や感受性があるのだと思うが、それを文章にするとカチツとスクエアになってしまふ。それに私はヘルパーの仕事を通して知り合ったお年寄りとそのくらしを「老人問題」として語りたくはなかった。問題としてではなく、身に降りかからなければ考えもしないお年寄りの日々の営み、狭いアパートや敬老館に囲われてしまった彼らのこと、これまた世に知られていないへ



ひとことつしん  
いつもオモシロイ、マルイ紙面で楽しんでます。近頃私の同居人の夫が主夫業にいそしんでおります。私は働きバチのようになつてしまつて家ではトノ様になつた次第。

河内長野市 裕美子  
国体被害者の京都で「交流」の元気をわけてもらっています。

接することはかりでなく、ヘソ曲りや無愛想、ガンコといったつき合いづらい人との対応で精神的に疲れることも多い。そんな日々の中で「私は福祉の仕事をしてるんだ」と自分を励まし保っていることは事実なわけだ。

## 福祉への自覚の二面性

社会福祉の概念が定かでない、家事ができない、できなくなつたりあえず職を得る必要のある主婦歴をもつ人(寡婦)を派遣しようという付け焼刃的発想でスタートしたらしいヘルパー制度だから、中で働く人間がこの仕事を「福祉だ」と自覚することとはそれなりに意味があるだろう。だが、そういう(専門的)自覚は対象者に対して自分を高みに置くという危険性も孕んでいる。対象者の今の生活は「貧しい」から「生活の向上」へ向

## ひさしぶりにある保育園で

小さい子どもたちとすこした。プレハブ建ての二階の一室に三、四歳を中心とした十人ぐらゐの子どもたちがいる。「おはよう。今日は僕といっしょに楽しく遊ぼうね」といいつつも、ひさしぶりの子ども達の集団の雰囲気いささか緊張していた。立っているときまわって落ち着かないので、室のすみすみにすわる。

## 一人の女の子がスウツと寄つてきて僕の背中にピタッとくっついてきた。目が合うと、肩かさずひざの上に乗ったり、肩の上に乗ったりと、僕の身体にくっついてくる。

## (あー、これだ)

僕がこの世界に入ろうとしたときつかけも子どもが身体をくっつけてきた感覚が忘れられなかつたからだ。もう緊張はすっかりとれていた。他の子どもたちも僕と遊んでいる女の子の笑い声を聞くと、いろいろけしかけてきて、僕という大人をさぐりつても安心したのか目は笑いかげかなり過激なこともしてきた。

けないので、今回は、腹の立つこと、どうすりゃいいんだと思うような場面を卒直に書こうとトライしたのである。

## プライバシーの侵害

書いてみると、対象者の悪口に終始してしまつた。もし書かれた本人がこれを読んだら、いやな気分になるだろう。公務員の秘密義務(職務上、知りえたプライバシーを漏らしてはならぬ)というのもチラリと頭をかすめる。石川ひろみというのには本名はひろみが漢字だけで実名に等しい。二三区のヘルパーとして私の所属福祉事務所を特定するのは簡単で、関係者からみれば、名を伏せても対象者の特定は可能である。やはりこれは、ここ数年、私が目撃しているプライバシーの侵害というものでないだろうか。

## プライバシーとは何か?

ニカーを握りしめていた。何か言いたそうだが大きい子どもたち走りまわつて興奮している僕が彼の存在に気づかないことにとてもさびしそうな表情をしていて、僕がその子の存在に気がつくと、彼はゆつくりとあれこれ自分の興味のあることを話して出した。二人でベンチにすわ

## たことが最高だった。

走りまわつていた子どもたちは「バナナ虫」を袋いっぱい捕まえて僕に見せにきた。彼も捕えたいというので、林の中に入つていく。僕はゆつくりとあれこれ自分の興味のあることを話して出した。二人でベンチにすわ

世の中、コンピュータに埋めつくされた感で、保険のアンケートというのに何気なく答えただけでも、私の情報はコンピュータにインプットされ、それがどこかのデータベースに売られてしまふ、私の許可なく私の情報が私の手許を離れて行つてしまふ可能性もある。人に知られたくないことを知られない権利としてではなく、私に関する全ての情報(性別・年齢・結婚・妊娠等々)を人に知らせるか否か決定する権利は私にあるというふうには、私はプライバシー権というものを捉えなおし、自分のプライバシー権を確立していきたい。すると、没に三回目の原稿に登場した対象者のプライバシーを侵しかつたのみならず、私はすでにIさん、Hさんのプライバシーを侵してしまつたのではないだろうか。何しろ彼らの了承を得ずに活字にしてしまつたのだし、

## これからどうしよう

悪いことを書いたのではないから差し支えないだろうと思つたのは私の勝手な都合で、書かれてもいいかどうか決める権利はやはり本人にある。私が行き詰まらせたのはこのことだ。「そもそも老人は」とか「ヘルパーは」とか一般的なことを書いてもおもしろくないし、仕事を通して知り得た人、そこで感じたことを表現してこそ「老いとつき合う」の意味がある。この先、私にこの連載を続ける術があるのかしら。

## そこでお願い、このプライバシー問題について交流編集委員

と交流を支える読者の皆さんの御意見を伺いたいです。

## 「ヤッター！」

というなり、ボクシングごっこがはじまり僕のおなかにパンチをボンボン打つてきた。「さあ、もう帰りますよ。」と道道を渡つて帰るため危ないの、リヤカーに乗り込む。「いいな、いいな、俺も乗りたいな。」  
「もう乗れないよ。」  
「こわれちゃうよ。」  
という子どもたちの反応をよそに、一番冗談じゃないという顔をしていたのはリヤカーを引く保母さんだった。

## 昼食後

「オニイさんに紙しばい読んでもらおうか。」  
子どもたちの前で紙しばいを読んでいるとき、あいつらもいまごろ紙しばいを聞いているんだなあと、ふとゴタの子どもたちを思い出した。

## ぼくの保育日記

(18) 門野悦生



いろいろな話をしているとき、僕の手には持っていたミニカーを僕に渡し、ギョツとその手で飛び出す瞬間、つい声も大きくなり、飛びはねてかけまわると、ひさしぶりに走りまわつて疲れが、最後の一人が飽きるまで走りまわつた。いつのまにか二歳の男の子が僕の左足にくっついてきた。手にはしつかりとミニカーを握りしめていた。何か言いたそうだが大きい子どもたち走りまわつて興奮している僕が彼の存在に気づかないことにとてもさびしそうな表情をしていて、僕がその子の存在に気がつくと、彼はゆつくりとあれこれ自分の興味のあることを話して出した。二人でベンチにすわ

## 「できないな。」

「ボク、のほれるよ。」  
彼は木の下の方にピョンと飛びのびたが、おこちでこちでこちで笑った。なんとも言えないいい顔をしていた。動と静の遊び、動きを意識することなく自然にやっていた僕もまたうれしかった。なにより、子どもの瞬間を無視することなく心がふれあえ

## 「オニイさんに紙しばい読んでもらおうか。」

子どもたちの前で紙しばいを読んでいるとき、あいつらもいまごろ紙しばいを聞いているんだなあと、ふとゴタの子どもたちを思い出した。



# クッキングハウスは 共同食堂みたいな 居場所です(下)

松浦幸子

クッキングハウスには、子供、大人、障害者、お年寄りと様々な方がいらつしやいます。学校へ行かない子供達には、学校へのこだわりをとり、外にでて学校以外の世界や仲間を知り、楽しい会話は当然なのに、客様にはおもしろいお菓子とお茶のきつかけとなっています。子供と大人と混じってパンやうどんやピザやらを小麦粉だらけに作りながら作って食べます。インスタントは使いません。子供の発想で素晴らしい。クッキ―一つでも大人よりずつとおもしろい形を作ってしまうので驚きます。子供達が感動できなくていいのは、触れて実際にやってみるといふ感動するチャンスが与えられなかっただけなのだと気づきました。

子供達と一緒に参加の母親達は学校からのプレッシャーや自分のうつつとした思いを一杯だし合っています。そのうち親子同士が自然に友達になり、次の場作りや、付き合いに発展させていって、なぜか、この部屋に入ると本音で話せてしまうのだそうです。

長い間入院していた人や、締めだされて行き場のない障害者も毎日やります。子供達や主婦やひよこり訪ねてきた方に混じってニコニコと話したり、来る度に身だしながきれいになってきたり、うつつ向いてじつとしていた病院での表情が消えています。病院とは全く違う雰囲気に居心地良さを感じるのです。「普通に暮らしたい」、「普通の人と交わって普通に見られるようにしたい」というのは障害者にとっては切ない程の願いなのです。

「クッキングハウスに朝来るおいしいお茶と手作りお菓子をわ」とびつくりしていました。子供は大人のように構えない。この感性におじいちゃんの心がすつと反応したのです。いろんな世代が混じり合うことの意味をこの時ほど会得できたことありませんでした。

このようにクッキングハウスの雰囲気は、まさに共同食堂のようです。村の共同体がまだ残っていた私の幼い頃、行事になると村の主婦達が集ってごちそう作りをしており、にぎやかなおしゃべりの中で、私はやたらと嬉しくて走り回っていたことを覚えていますが、そんな素朴

ささ、この狭い部屋で再現している思いです。日銭暮らしてすから月末になると、家賃が払えるから、という不安がいつもついて回っている実状ですが、不安定さの中にいてこそ見えてくるものが多いと気づきました。

街の中のこんな小さな場所を居場所として大切にしていきたいと願っています。もし、落ちこんだり、淋しくなったりした時いつでも歓迎する場としてお待ち致しております。

喜びに胸をときめかし、布団のそばにひざまづいて布団をまくり、両足をまくりあげてからしつかとその腰を抱きかかると、主客四本の足の間で二つの亀頭がぶつかり合った。とっさのことで取り繕うことばもなく、「おまえのものは、なんと大きいことか!」と土人が言う。

「下女の夫の、物が大きかろうが小さかろうが、両班がそれを知ってどうされるのか?」と答えたので、土人は無然として立ち去った。「(韓国風流小説) 風媒社」

女性が作った話ならば、おもしろかったと思うが、ある朝鮮人が私に言った。「日本は色気遠い国だ。万葉集を見てごらん、あれは色恋の歌ばかりだ。朝鮮は、中国やモンゴルや日本にやられて、いつも貧しかったが、それでも、娘を売りとばすなどという伝統はない。食べれなくなったとき、村の中で、だれか二、三人の者を選ぶ。そして、その者たちが都会へ乞食に出る。そうして、村全体の食扶持を減らすとともに、皆んなが食べれる工夫をした。

「ピチピチレディ」という日本語は、何という意味ですか?」おじいさんは、ニコニコ笑うだけで返事をしてくれなかったそうです。

このことは、外国文学や外国映画の中の「性」と日本文化の中の「性」との差についてもいえる気がする。「O嬢の物語」

「エマニエル夫人」マルキ・ド・サドの作品など、オープンな雰囲気の中の一つの「性」のゲームを見ることが出来る。「O」というのは、女性のホールその

も(税金のカタマリだから)軍協するかは、その人の感性でそれぞれ違うだろうけど、石川さんの提起について言えば、AさんBさんの表記で妥協できるものなら、そうしてほしくない。他人の悪口が出てくるのは仕方ないじゃないですか?福祉の仕事が「清く、明るく、美しく」ばかりで表現できるなんて、とても思えないから。

「弱い立場の人の悪口を言うなんて」ってこともあるかも知れないけど、それも程度によりけり、立場の強弱を余り固定的に考えてしまうと、逆の差別にもなりうるんだよね。男と女の強弱だって、今は不均等に変わりつつある時代だから、常に「女」被害者」の図式でとら

## リレー・ノート 性 を考える (12) 尼崎市 田中由布子 (投稿)

性にはまつわる話は、いつも女性性が女性を語り、男性が女性を論ずるという方法で終る。これは、必ずしも女性が作った話ではないだろうが、次のような話はいかがだろうか。

「12 知ってどうする」ある土人、ひととなりは色好みで、下女たちを犯しては喜んでいた。

なにかのことで、下女の夫の下男を数千里の外へ使いにやることになった。下男もなんだか怪しい気配を察知して、ほかの人を雇って代りに行かせて、自分は部屋に隠れていた。

夜もふけてから、土人は下女の夫が遠出したことを知っている

来、儒教の国である。だから日本以上に、貞操ということに朝鮮女性にこだわらるのだ。

今日の、日本の歌謡曲は、万葉集以来の伝統を引き継いでいるだけの気がする。これもまた色恋の歌ばかりだ。

パリの路地裏を歩いていたとき、何軒ものセックス・ショップを見かけたので、何も、日本人男性のみが、色好みだとは思われないが、それでも、日本に来た外国人は、性的にオープンな印象を受けるようである。

スリランカからの、来日間もないクリスチャンの男性が言った。「日本は好色ですね。スリランカでは、こんなことはない。彼がホーム・ステイしていた日本人男性のトピックスの多くは、ワイイ談であった。

知人のオーストラリア人が、日本で覚えた言葉は、「ピチピチ・レディ」という言葉だった。友人のアメリカ人が、屋台でおじいさんに質問したそうである。

「ピチピチレディ」という日本語は、何という意味ですか?」おじいさんは、ニコニコ笑うだけで返事をしてくれなかったそうです。

このことは、外国文学や外国映画の中の「性」と日本文化の中の「性」との差についてもいえる気がする。「O嬢の物語」

「エマニエル夫人」マルキ・ド・サドの作品など、オープンな雰囲気の中の一つの「性」のゲームを見ることが出来る。「O」というのは、女性のホールその

も(税金のカタマリだから)軍協するかは、その人の感性でそれぞれ違うだろうけど、石川さんの提起について言えば、AさんBさんの表記で妥協できるものなら、そうしてほしくない。他人の悪口が出てくるのは仕方ないじゃないですか?福祉の仕事が「清く、明るく、美しく」ばかりで表現できるなんて、とても思えないから。

「弱い立場の人の悪口を言うなんて」ってこともあるかも知れないけど、それも程度によりけり、立場の強弱を余り固定的に考えてしまうと、逆の差別にもなりうるんだよね。男と女の強弱だって、今は不均等に変わりつつある時代だから、常に「女」被害者」の図式でとら



### 編集 後記

も(税金のカタマリだから)軍協するかは、その人の感性でそれぞれ違うだろうけど、石川さんの提起について言えば、AさんBさんの表記で妥協できるものなら、そうしてほしくない。他人の悪口が出てくるのは仕方ないじゃないですか?福祉の仕事が「清く、明るく、美しく」ばかりで表現できるなんて、とても思えないから。

「弱い立場の人の悪口を言うなんて」ってこともあるかも知れないけど、それも程度によりけり、立場の強弱を余り固定的に考えてしまうと、逆の差別にもなりうるんだよね。男と女の強弱だって、今は不均等に変わりつつある時代だから、常に「女」被害者」の図式でとら

来、儒教の国である。だから日本以上に、貞操ということに朝鮮女性にこだわらるのだ。

今日の、日本の歌謡曲は、万葉集以来の伝統を引き継いでいるだけの気がする。これもまた色恋の歌ばかりだ。

パリの路地裏を歩いていたとき、何軒ものセックス・ショップを見かけたので、何も、日本人男性のみが、色好みだとは思われないが、それでも、日本に来た外国人は、性的にオープンな印象を受けるようである。

スリランカからの、来日間もないクリスチャンの男性が言った。「日本は好色ですね。スリランカでは、こんなことはない。彼がホーム・ステイしていた日本人男性のトピックスの多くは、ワイイ談であった。

知人のオーストラリア人が、日本で覚えた言葉は、「ピチピチ・レディ」という言葉だった。友人のアメリカ人が、屋台でおじいさんに質問したそうである。

「ピチピチレディ」という日本語は、何という意味ですか?」おじいさんは、ニコニコ笑うだけで返事をしてくれなかったそうです。

このことは、外国文学や外国映画の中の「性」と日本文化の中の「性」との差についてもいえる気がする。「O嬢の物語」

「エマニエル夫人」マルキ・ド・サドの作品など、オープンな雰囲気の中の一つの「性」のゲームを見ることが出来る。「O」というのは、女性のホールその

も(税金のカタマリだから)軍協するかは、その人の感性でそれぞれ違うだろうけど、石川さんの提起について言えば、AさんBさんの表記で妥協できるものなら、そうしてほしくない。他人の悪口が出てくるのは仕方ないじゃないですか?福祉の仕事が「清く、明るく、美しく」ばかりで表現できるなんて、とても思えないから。

「弱い立場の人の悪口を言うなんて」ってこともあるかも知れないけど、それも程度によりけり、立場の強弱を余り固定的に考えてしまうと、逆の差別にもなりうるんだよね。男と女の強弱だって、今は不均等に変わりつつある時代だから、常に「女」被害者」の図式でとら

来、儒教の国である。だから日本以上に、貞操ということに朝鮮女性にこだわらるのだ。

今日の、日本の歌謡曲は、万葉集以来の伝統を引き継いでいるだけの気がする。これもまた色恋の歌ばかりだ。

パリの路地裏を歩いていたとき、何軒ものセックス・ショップを見かけたので、何も、日本人男性のみが、色好みだとは思われないが、それでも、日本に来た外国人は、性的にオープンな印象を受けるようである。

スリランカからの、来日間もないクリスチャンの男性が言った。「日本は好色ですね。スリランカでは、こんなことはない。彼がホーム・ステイしていた日本人男性のトピックスの多くは、ワイイ談であった。

知人のオーストラリア人が、日本で覚えた言葉は、「ピチピチ・レディ」という言葉だった。友人のアメリカ人が、屋台でおじいさんに質問したそうである。

# 8月号 (No.178)

1988年 8月10日 (毎月10日発行)

1年間予約制 (送料共) 2,000円 1部頒価 200円

## 発行 「交流」編集会議

東京都中野区江古田4-17-14 (増野潔気付)  
〒165 電話(03)385-2293  
郵便振替 東京 4-51709



◆「交流」は、いろいろな生活領域から、体制に異議申し立てをして、人々相互の交流と討論と発展のための月刊新聞です。

◆原稿料は払いません。編集作業も無償です。購読料とカンパによって、印刷費・郵送費をまかないます。

### 7-16 花の外野席

ますのきよし

読売 朝日等が集案内を載せてくれたので、問合わせの電話が四〇本近くあった。その他マスコミからの問い合わせも多かったが、日本TVなどは「なぜ普通の人が議論するのか」「席の配置は？」などシツコイ聞きかたをされて実に不愉快だった。梅雨空同様、爽やかならぬ気分が会場に向かう。

でも、だんだん良くなるホッケのタイコ。参加者の発言がバラエティ豊かで救われた。最初は、話の呼び水的に主催者側から「プロ職業観」男女役割分担論「おとなと子どもの分離論」の三つの角度で、男二人、女一人が簡単に意見を述べ、その後フリートークに移る。

7月16日「花の外野席」



最初、自宅で保育所をやっている年配の保育「子ども本位でやらなくちゃ」と。すると「私は子どもを×人育てたが、子ども中心というのはゾツとする。子どもがわすれられないと思っただけだ」と反論。開始三〇分前から子連れで来ていた女性「私も子連れ勤務をしたし同僚も可愛いがつてくれたが、後でそれはお世辞と分った。自宅で仕事する時もわが子ながらウルサイと思うから、林さんの文を読んだ時は、よくぞ言ったと思つた。今も子連れで来ているが、気が使っている」と(でも、人なつこい子で、ほくの顔見てニコツと笑うのを見ると、お世辞でなく可愛いと思つたが…)。

病院の職場保育所の保育士をしてた人「看護婦は夜勤のため夜間保育が必要だが、私も子持ちで困った。結局「私もこまごまやるから、親もこまごまやってくれ」という妥協を探さないとになるが、今回の論争は「私は子どもがキライ」とか「あの女だからできる」という形の前向きでない。別の女「私は子ども産んでから学校へ通つたので子連れ通学した。さつき子連れ勤務した人と違ふ点は、私は皆が子ども嫌でも、私は子どもと生きるしかないんだからと連れていく。あまり「いい子プリッ」にならないで、やりたいことやらなくちゃ」この発言の途中、上野千鶴子さん現れる。(玉島風には「小錦入場、場内ざわめく」というところ)三人の子の父親「うちの子は登校拒否だが、子どもの視点から」といふ人から言われる「子どもの視点」とは何だろう?」と問題提起。

上野「今まで、いろんな人が『子どもの都合』と称して自分の都合を主張してきた。大別すると、女の都合/子どもの都合/企業の都合/社会の都合/の四つ。『子どもは社会の迷惑』という主張もあるが、迷惑でない場所などない。これまでの論の中になかったものは「男(又は父親)の都合」という視点、これを期待したい。

若い女「おとなもうるさいのだから、子どもがうるさいのも我慢しなければ、と言う意見があったが、子どもだって我慢できるはず。私は子どもいないから分らないけど」この発言の中に「子どもと障害者は違う」という箇所があり、少しもめる。

次に、女子大の先生をしているという年配のおじさんが長々と「母乳育児」の大切さを説く

と、すぐ三人の子の母親が「私は、育児書に従って母乳で育ててきたが、三人とも今は登校拒否。これくらいなら、私もよく外へ出てやりたいこと、私もよくかかったと思う。母乳ってそんなにいいかしら?」と反論。おじさん、立ち上がり「一言「何事にも例外はあります」で満場爆笑。この頃には、会場の空気が軽くなり、ギョコチなさがとれてきた。

育時連の男「うちは三人の子が、それぞれ人工乳、母乳、折衷と三通りだけど、あまり関係ないと思う。男は「母乳」の強調によって結局育児から逃げてしまう。人工乳の方が男と子どもの関係にいいのは良いとも言える。その点、アグネスの母性主義には、批判がある。おとな

三月半ば、東京都北区で「東十条病院開院を促進する区民の会」(以下「区民の会」という)「住民運動」が、猛烈な活動を始めた。「区民の会・会報」というチラシを北区全域の四新聞に八回ずつ折り込み、宣伝カーを巡回させ、病院見学会や集会を開き、町会・老人会などを通じたり戸別訪問での署名集めを請うハガキ。

「総合病院は住民の願い、東十条病院の早期開院を」という横断幕を張った東十条商店街では、連日、忙しき夕方に「東十条商店街」のハッピーを着た五〜六人がチラシを配り署名を呼びかける。街頭のテールに置いたビデオでは病院の設備を映して見せる。有線放送でも「東十条病院は、二十四時間オープン」の高度医療の可能な病院です」と流す。各店の軒先にはポスター、さながら病院の大売出し。

反対だと言え「非国民」と袋叩きにされそう、無気味な雰囲気の中で反対ビラを作るのは勇気を要した。

「女は大変だよな」と逃げてしまふ。天下国家のことは、タテマエで言えるから口を出さずのね。(お父さん、そういう時自分ならどうするってこと言ってみよ)のヤジ)いや、私は子どもいないんで、家事やってるって話しか出来ませんけどね」。

五歳の子の母「うちの夫は、よくやる方とは思いますが、急が保育園に連れていく。去年は一五四回遅刻して賃金カットされたが、今年からはカットがなくなった。二八五回遅刻したけど(笑)。でも査定では下げられる。ほくも職場で、男も育児時間をと主張してきたが、最大の障害は婦人部だった。男も保守的だけど、働く女の意識変革も必要だ」

「区民の会」はなぜ、突然猛烈な運動を始めたのか?だが、この、自分の意見を表明せずに「長いものには巻かれる」の態度こそ草の根ファシズムというべきものではないか?「区民の会」は、人口三十六万の北区で五月末までに十七万

町会・老人会などの役員を発起人に並べた「区民の会」は、住民運動をよそおっているが、

この「東十条病院」は、医療に民活の道を開くものと見て四年間私が反対してきたオリンピ

「ことだ」と素朴に賛成署名をしている。疑問を感じながらも町会・商店会・同業団体・宗教団体・政党など、あらゆるつながり・隣近所との付き合いをまずくしたくない、との意思も働いているようだ。

だが、この、自分の意見を表明せずに「長いものには巻かれる」の態度こそ草の根ファシズムというべきものではないか?「区民の会」は、人口三十六万の北区で五月末までに十七万

町会・老人会などの役員を発起人に並べた「区民の会」は、住民運動をよそおっているが、

六月六日、東京都は認可しないとの判断を示した。七月一日現在、オリンピックは「区民の会」体整会」をタミーに使用して開院する方法は諦めたが、日本大学病院に貸すとの噂もある。建物が存在し、オリンピックが経営に執着する

オリンピックから直接に金品の供応を受けているのは少数であろう。にもかかわらず、住民運動」が現実に動き出し、多くの人が「病院ができるのは良い

以上、大変暴言要約だが、およその流れを読みとってほしい。ほくの感想:チョウもハチもクモも微妙なバランスで共存している雑木林なんだ、人間社会は。集直前までは「こんな企画立てなければよかった」と悔やんでいたが、やっつてよかった、やっつぱし。

参加者七一人。うち男十六人

北区の医療が、決してベストなものではないことは「区民の会」のチラシが指摘したとおりである。多くの人に地域医療に関心を抱かせたことは私も認め

だが、「区民の会」が、医療過疎の不安を煽って掲げた「東十条病院開院」について、運動の結果報告もせずに消えてしまふというのには無責任きわまりない。店の忙しい時間に動員をかけた責任追及の声は出ないよう

情勢不利と見れば、ポスターをはがして運動に関わったことなどないように振る舞い、忘れろ。オリンピックが別の名義で開院申請をし、有利と見ればまた運動に加わるのだから。これが草の根ファシズムだ。

## 草の根ファシズム

てんまつ むらき数子

電話 九一九一二八五五

集めて都に持ち込み、「運動を収束する」と決めた。

さて、その結果は…

六月六日、東京都は認可しないとの判断を示した。

七月一日現在、オリンピックは「区民の会」体整会」をタミーに使用して開院する方法は諦めたが、日本大学病院に貸すとの噂もある。建物が存在し、オリンピックが経営に執着する

オリンピックから直接に金品の供応を受けているのは少数であろう。にもかかわらず、住民運動」が現実に動き出し、多くの人が「病院ができるのは良い

# 行かばか 体育教師

(オ25回)

妊娠制定検査紙を体育主任会はどう考えるか



愛知 岡崎まよる

先日、区の体育主任会へ出席したんだわ。なんでかという聞き返すところ、書きたら、大へん愛知的な内容だわ。ふつうの常識、ちゅうもんを取って、素直に聞いてみよう。

まず、学校には、各教科や保健室に在る養護の先生、給食の指導といったぐあいに、色々な教育の分野があつて、それぞれに主任というのがあるわ。国語主任とか生活指導主任とか給食主任とかね。

ほんで、そういう人たちが区で集まると、○○区○○科主任会、ちゅうのができるがや。で、そういう各主任会が集まると、一つの大きな組織ができるわな。本来なら、これは、名古屋市教委の管理下で、上意下達の筋道をつくるはずだわな。

ところが、こういった主任会は全部が、私的な任意団体なんだわ。で、普通だと、私的な主任は、教育の自由が保障されてええがや、と思つたら、それが大ぢぎやあ(嫌い)なんだわ。

ちよつと、そのことを横に置いておいて、後で、もういっぺん出てくるよ。

名古屋市教育振興会という私的な任意団体がある。これはよ、教師・事務職員・児童・保護者の皆でつくつとる。教育振興のためのものだわ。もちろんちよつとと費もとる。わしみたいなウルサイ教師がおるとよ、入会申し込み書を毎年春に配るけどよ、そんでないところは、何も案内出さずに、いきなり会費を雑費といつしよに子どもからまきあげるといふ無茶苦茶だわ。

た。主任会といつても、部活動たりまえたわ。わしは、ほんで入らんの。たいした金額でもないがや。わしは、「岡崎さん、泳大会の係分担任か、どうもええことばっかりで、別に主任会なんて言わんでもええ。

①競技大会で、自分の学校が勝つるために、いかにうまく抽選をひくかということ。

②大会運営のための要員を、できるだけ自分の学校から多く出して、いかにも××小学校のあの人のおかげでうまくいったかを皆にアピールするということ。

③今年、自分の学校へ入った若手体育科出身教員を、いかに自分の声がかかりとしてデビューさせるか(例えば、審判のライセンスを持つていてるので、60分位かけてタラタラやるのも、こういったたかひきがあるからである。

しかし、こういう場合、次のような事は絶対に話題にならない。

④最近、名古屋市で若くして死ぬ教師が増えているようだが、やはり、部活などの過労死ではないか。

⑤小学校五年生の女子が身体側定で裸になるとき、担任の男性教師が、いやがる女子に何の配慮もなく、ズカズカと保健室へ入つてきて身長をはかるのは、体育主任会としてどう考へるのか。

先日、市民の学校の講座で、内田良子さんより昨今の「学校へ行けなくなつた」子供達の状況についてうかがつた。現実のひとつとつとが、身の丈を越えて追いつてくる子供時代は、確かに大変だわ。学力偏重の息苦しさも察しがつく。私も辛かつた。

しかし、荊の道も精神の弾力で切り抜けられるはずの子供達が心を病んだまま精神安定剤を処方されたり、病院に閉じこめられたりしているという話を聞くたびに、こころまで腐敗した社会のツケをこまかしのきかない子供に回しておいて、「何やってんだ」と憤るし胸が痛む。子供全体(大人もだけども)の中に少しずつ蔓延している心のよじれが、ある子供の所で固く結ばつてしまひ、しかも体現された「学校へ行か(け)ない」事は「学校へ行く」事のように理由がない(まともでない)わけにはいかないのだから、子供にも親にも試練になるのだろうな。フリートークの座で、学校へ行けない心境を馳せて、私は次のような話をした。

「昭和」五十三年度と印刷された学生証が、机の抽斗の中から出てきた。その中の初々しい写真を眺めつつ、ただだか三十年ちよつとではあるが、今日に至るささやかな変遷を思うと、多少感慨深い。生活水準を上げてきた軌跡こそ無いが、どきどき

教科の教師に比べて多いのは、どうしてだろうかとか。

まあ本当に色々あるはずだわな。だけども、こようう話題は、なかなかうまのらん。小声で、隣の体育主任に言うが、笑いがひきつるだけだわや。

先日、黒アリ退治のスプレーを買おうと薬局へ行つたら、ワシの肩こしに五千円札出してセーラー服のあどけない一人の女子高生が「あ、う、妊娠判定検査紙、ださあ、い」と言つとる事だわ。体育主任会は、こようう問題をどう考へるとるんだ。いっぺん聞かせてちょうだい。笑つてこまかすなよ。

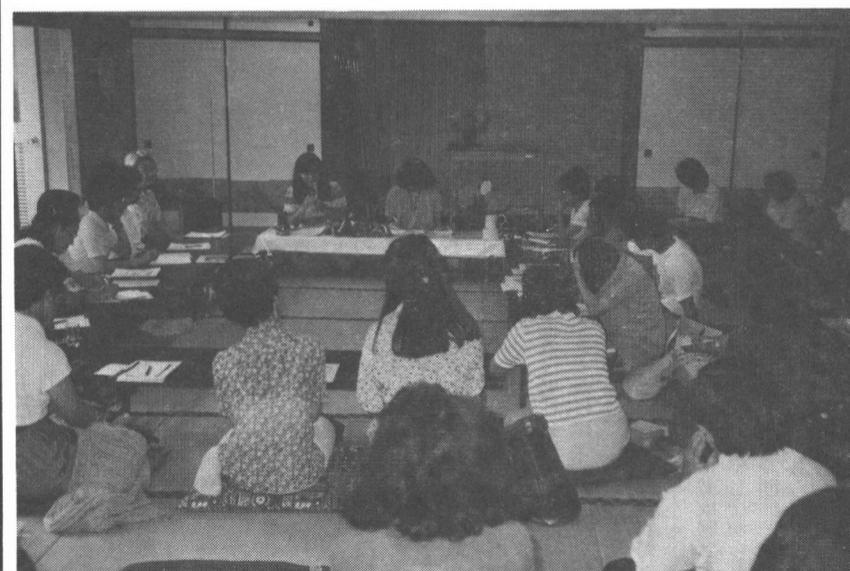
さの学生時代より今日まで、充実した人間関係には恵まれ、著とつさに「そしたら、その本持ってきた」としみじみ有難い。が、ちの良さが災いして返せず、脳天かち割られたショックを抱え、一点残念なのは、小学生以来ずっと「恩師」と呼べる人に巡り会えなかつた事だ。中学生ごろだったか、若い男の教師に熱を上げて、学校の帰り道、待ち伏せして車に乗せてもらつたり、白衣をこっそり持ち帰つたり(注：洗濯をしておけよと思つたのである)のような「お慕い」申しあげた教師は、何人かいたが、で浄めんばかりに激しく泣いてむしろ、師愛の場面より、例えはケンカ?になった家庭科教師の前で、マンガの主人公よろし

ハメになった。学校を休むと「やっぱり」と思われるだろうと気が気でなかつたが、学校へ行つて「抗弁」を追られる事を思うと不浄感がまつわり、ズルズル半月程休み続けた。その時、専業主婦生活で持て余し気味だったエネルギーがカゼン発揮されてか、母は私の強い味方となつた。私から話を聞きだした母は、「そんなアホな」と逆上し、日ごろは「お父ちゃんの言う事は何でも正しい」で生きていた人だったが、「疑われる行為が私に本當に無かつたか確認の必要がある」風のことを言つた父に「私はとても驚いた(傷ついてる娘を前に何を言うねん)」と食つてかかって父の正論を握りつぶす迫力だつた。二・三年生ごろだつたか、母は、古いふすま紙を裂いて、小さな連絡帳大にとじ合わせ、「毎日何か書きなさい」と渡してくれたことがあつた。私はざらざらした和紙の感触が気に入って、何やら「小さな目」風のモノを書きつけていた。そのようにして貯つたノート類を持って、私が寝込んでいる間に、母は学校へ出掛けていったという。それは、私が盗作をしていないという証明にはもちろんならないが、教師に何らかの処置をうながす行為だつたと思ふ。ところが担任の教師は、多分面倒臭かつたのだろう。クラスの生徒の前で「私が学校へ出てきて、アノ話」はするな。一回でも口にした者は罰を与える」といふような事を言つて済ませた。臭いモノに蓋をした教室に入つていくのは、薄水を踏む思いであつたが、見事に一人も口にする者はいなかつた。今の私ぐらいの(だからまだまだ若輩)年令だつた担任の男教師の、私はきつと好みのタイプの女の子ではなかつたのだから、事も手伝つてか、登校しても一言も言わなかつた。本當のところ、皆がどう思つているのかわりたひような、忘れてしまいたいよなうで時が経つてしまつた。卒業するやうにその土地を離れたが、(その事のためでなく、あの時のあの教師は、今も忘れられぬ「恩師」である。

## 私も 登校拒否児だつた

秦野市 かわしまれいこ

く縫いかけのバジヤマを引き裂いて帰つたり、素行を危ぶまれてか、アパートの保証人をゼミの教師に断わられたり、無念の思い出の方が、胸のあちこちにころがっている。その中でも筆頭は、小学校六年生の時、詩の盗作の汚名を、担任の教師が晴らしてくれなかつた事だ。ある秋の日、平和に暮れなすむといふ刻、「からすが鳴くから帰ろ」で友達と手を振つて別れた私の背に、しきりにあびせる囁き声があつた。振り返ると、同じクラスの男の子が向うの方でわめいている。二年生で同じクラスだつた時、その男の子は授業中私の前の席で、パンツの中に大便をしたツワモノだつた。臭気にいち早く気づきながらも通報すべきがどうか迷ひ、教師が発見してくれた時の安堵まで、きつちり憶えている。その「うんこたれ」がさかんに言つて居る事はどうやら「今日、教室の後ろに貼らだされたお前の詩は、雑誌に載つていたのを写したのだから」という内容らしい(大



## 本の紹介

佐々木赫子「月夜に消える」(小学高学年向き、小峰書店刊 一〇〇円)

表題の作品は、団地ののらねこと、おばさんと少年の話。ネコの好きな赫子さんらしいテーマ。他に、登る/遠い声/たて笛ふこうの三作品を収録。

バーバラ・J・バーグ「働く母親たちが危ない」(晶文社刊 一九〇〇円)

良妻賢母志向は日本独特なものかと思つたら、自己主張の強いアメリカでも同じらしい。何もかも完璧にやろうとするスーパーウーマンの危うさから自分を解放するための提言。



# 上野千鶴子著 女遊び

評 渋谷路世

塩素が一杯のプールにバチ当りにもハイレグで入ったから、妙に下半身がムズムズする。どて感にうらや、下半身の中でも、特に名を秘すあたりがかゆい。もしかしら使用不能の病いかも!? 男とやれないくらいなら、死んだ方がマシだと、焦る。

そこでトイレにこもって、脚開けて鏡で見てみた。実に久しぶりの対面。なつかしいノヤア元氣?でも、私の小陰唇は見事変型。右側が腫れあがって、常とは違う風情。エンソぶくれたわけが分らなかった。かゆみも自分の目で確かめると不思議と納得できてドーヨーは治る。

それにしても、私の持ちものでありながら、この無沙汰は問題だ。いくら、見にくい場所にあるものとはいえ、排尿、生理、性行為で多用しているソレへのあつかいとしては、実にいかげんであったなあ〜と考えるながら、抗ヒスタミンをはれたとこに塗った。

男のもってる性行為道具を私は一度だって「美」と感じたことはない。でも、しみじみとソレを見ることはあるし、握っているうちに握りつぶしてしまいたい衝動にかられて、しつこくさわわり続けて、相手の男から嫌がられたりする。

男それぞれに形も大きさも色合いも、膨張率も違うことを20才前に識っていた私なのに、何故か女の性器については無知で、自分以外のソレを見た(パッチリ中までじゃないと意味ないよね)記憶はほとんど無いから、男の情報を振り回されて来た。

男が私の下半身を撫でまわし、やがてコゴゴと私の性器に触れる。が、私も幼なかつたけど相手も経験浅かつたから、クリトリスの位置が判らない。

平凡パンチで覚えたてのテク

ニックでキメる予定の男は必死で捜してくるけど、クリトリスって感してくるとよけい捜しづらくなる。男の当惑した声が聞こえる「ないよ!」

私は何日か前に初対面した自分のソレの中からクリトリスを捜せなかつた不安が、一気に魅えってくる。私はクリトリスって勃起するって聞いてたから、とても大きいもんだと信じてた。勃起のイメージって何んたつて男のソレだもんね。でも鏡の中にそれらしきものはない。触ってみるのもは〜かられる圧倒的未知だから、それ以上調査する術がない。加えて性感覚コントロールの19の娘には、どこ触ったってすぐぐっぐたいし、ドキドキして、軀ひきつる。

私ってクリトリスが無い。男のアセツた声聞きながら信じ込んでしまった。

上野千鶴子さんは、人を驚かすのが好きな人だ。「エー?」「アッ!?」「……!!」と揺れまわす、言葉を失う人を見て「ヤッタネ!」と手をたたくイタズラ少女は、6月発売の著書の表紙に、堂々たる女性性器を載せて。紫と白とグレーとピンクに彩られたソレは、一瞥して女性性器なのに、私の周りの女たち

「いや、世間は甘い」やりの「そうや、世間は甘い」やりのようにやってみな、世間は甘くないと考えて、自分を抑えてみてロクなことはない。と女子大生を煽る手が極上だ。正論はつまらない。百回唱えても何も変わらないと言いきれる人だからその、ほどよい軽さと明るさがこの本にビシッリつまっている。

人にモノを教えるショーバイしつ、道を説かないんだからさすがだね。

噂の名言「分裂症にか、らなための分裂症的生活のススメ」

門野君の「交流」夏休みの代打で登場させていただきます。思えばこの代打業にいそむようになつて長いなあ。たとえば、最近「日雇保育労働者」と自称して数ヶ月がたちます。文字どおりその日その日の雇用関係で、保育所の運転の調節弁として使われているわけですね。関わった保育所を暴露しちゃいましょうか。小金井のどろんこ、田無のどろんこ、そして門野君もいたゴタゴタと、そうそうたる面々です。あの進歩的とみられていた共同保育所が実はケチオチ業者であつたとは!? いや失礼。貴重な紙面を冗談半分でごつちやりました。実際は、特にどろんこでは半年間週五日で働き、子どものいない私にとって、とても楽しく有意義な体験をさせていただきました。

ところで私は門野君とは違つて、何か思うところあつて自ら希望して保育をやりはじめたわけではあります。話をもちかかけてくれた保育所の方としても大きな子の遊び相手をして、人数不足を補えればという期待度だつたらしいです。そりゃそうです。それまで自身「男の子育てをやる会」に顔を出しながら、乳飲み子にふれるのがなんとなく恐ろしく、無理解に近づいても背を向け、親にしがみつかれたんじやくにさわるからと、むしろ遠ざけていた程。白状すればおむつ

も収録されている。著者自身もヒジョーシキを生きつつ、しかし、究極のモラリストだから、読み手はそのあふないバランスに心奪われ、つい、上野千鶴子の世界に引きずりこまれる。

女の「問題」にあきたと高言して来私でも「パワー恐怖症は権力ゲームをオウリのカシコイ戦略か?」などと挑発されると、オロオロぶつて、考えちゃう。「その立場に立つた人間が自然と抑圧的になつてしまふような力の配分の構造自体を、しくみごと作りかえていく」のを「女

の理想主義」だと知りながら、そのとうりもない実験を、私はやっぱり続けていくだろうなあ。なんて、妙にカタク思いかえさせられてしまふ。

マズイク上野千鶴子にひっかき回されて。女となつて遊びたくない、はれた小陰唇を早く直して、男と寝るのぞ。

湧きあがった想いを妄想だと思いきり、キスオプファイヤーをBGMに男と励むのだけれど、目の前に色鮮やかなおまんこがチラつくのよね。

(学陽書房刊・一四〇〇円)

さえとりかえたことがなかつたんですから。それでも一抹の不安をかかえながら、義理と人情と好奇心のしがらみで、この業界に足を突っこむことになりました。

○才から五才まで十六人がごつたがえす環境には、最初はホント疲れたなあ。とつかえひつかえ必ず誰かが泣いている。危いなあと思えば必ず次の瞬間転んでる。あつちでぶつち、こつちでぶつち、何故死亡事故がおこらないかホント不思議だ。

おむつがえに走つた。こんな風になつて自由な遊ばないんだろ。うなと軽く考えていた節もあつたんだけど、あにはからんや、逆大人と子供の立場の違いをまざまざと味わつたりもしました。ふと気がつく自分でも驚く程禁止や命令の言葉を使つてくるんだよね。散歩に行けば遅れる子を速く歩かせようと必死で、いちいち道ばたの小さな出来事に発見や感動している子供に、おこらないし、都合がよいということだつたのだ。けんか等のトラブルで安易に正義や弱者の味方をすると、いつも無抵抗にやらね放題で大人の支援を待つようになる子もいた。心うちと



## おむつは日雇保育労働者

いやはは働きはじめは逆にちよつと頑張つちやつてたんだ。ます積極的に自らの体を投げだして、子どもを放り上げたりふりまわしたりして喜んでました(でも時にはこれ「おかあさんといっしょ」の体操のお兄さん式になるから、いやな時でも少なくないんだよね)それから、子ども同士のトラブルの仲介や、泣く子の気げんをとったり、また、子どもたちの要求にはいやな顔せず全てに應對した。赤ちゃん泣き声をあげるやいなや、そうか。要するに子どもなん等にはりあつてきてくれたのかもしれない。まあこういう関係性が培えたのは、毎日顔をあわせるような状態が保障されたからでしょう。ここ4ヶ月はかけもちで日雇保育をやっているから、その点では物足りなさはありません。

ただ俺、日雇保育労働の一方で、山谷の職安に日雇雇用保険手帳を取得する純然たる(?)日雇労働者でもあります。主にそこで仲間とともに医療活動をやっているんだけど、山谷は圧倒的に男の単身者で子どもの姿が少ないのです。ヤクザとの戦争状況にもあり緊張場も多い。そんな中、日雇保育であれ、子どもたちとすごせることがとても新鮮な気持ちです。無性に赤ちゃんを抱きたくうずうずする禁断症状でもたります。保育業界では白い目で見られる徹マンをしながらも、子どもの口ぐせを叫んだりしている最近の私であります。

## パンフ紹介

東京都文京区本郷一三〇―四インパクト出版会発行/郵便振替東京3・362544  
第2回女からだから含宿1987(八二優生保護法改悪阻止連絡会編)

「ザ・ガサ」(不当捜査押収連絡会編)  
本紙4月号にも少し書いたように、昨年暮れから今年初めにかけて、全国約三〇〇ヶ所で行われて、まるで「自動販売機」のように捜査押収令状を乱発する裁判所への抗議も含めて約六〇人が「国家賠償請求」の訴訟を起こした。このパンフには、ガサのドキュメント、資料、座談会、国会質疑記録等が収録されている。  
頒価七〇〇円(二二〇〇円)

影土優  
そう気づいてからは俺の態度は変わつていったようです。その日の気分も含めて、俺個人がいやなことばかり伝えているようになりまして。それになにより子供達同士で工夫して遊んでいる姿や関係のちかみなどをみている方が、なんかすくおもしろいんです。そして、子どもとは同じ感受性をもつ仲間としてつきあうというより、完全に敵対するものとして、おたがい腹の中をさぐりあい、やられたりやり返したりという関係性を築きむようになつたんです。ただくやしいのは、彼ら子どもは、毎日非日常で実にエネルギッシュに変化していくんだ

# ばってんスカートの方が...

## 熊本 中川智子

熊本で暮っています。阿蘇へは車で三十分くらい。今の季節は、スクッと伸びた山百合や、黄色に揺れるゆうすげの花、淡いピンクの昼顔、深い藍の露草、クルクルねじれたもじり草などがそこかしこに咲いています。スコールのような雨が降ったあとは薄いガスがかり、サーッと風がひとふきしたら、深い緑をたたえた山々がポツポツ顔を覗かします。そんな山深くに温泉が湧いていて、一人三百円もで体の芯まであたためてくれます。

夫や子供と連れだってよく温泉にかけますが、いつか誰かさんと道ゆきとシヤレこむならここがいいかな、あそこかな、と夢見るのも楽しいことです。そんな阿蘇の大自然に身を置いていて、何と素晴らしい土地に引越してきたものかと思ってしまう。下界に戻り、子供たちの通う小学校や地域の人々と向き合ったとたん、語る言葉が相手の心に浸みいる実感が乏しく、目の前で言葉がカラカラと音をたてて落ちていくような気がします。

二年近く前に熊本に来たのですが、その時下の娘は小一でした。スカートが嫌いで年中ズボンをはいて暮らしていました。ところが熊本の小学校では制服の学校がほとんどで、子供たちの学校はPTAで三年ももめたあげく制服にはならなかったらしいのですが、諸々の約束事が決まったそうです。

決して派手にならないこと。肩の出る服は避けること。そして、男の子は半ズボン、女の子はスカートをはくこと。少し迷いました。知らぬ土地でめんどろを起すのもめんどろなのでこの際、ヒラヒラボンのスカ

ートをかかせてかわゆく変身させようかと考えて、たった一枚持っているスカートをはくように言ったところ、娘は、「女の子だってらどうしてスカートはかなきゃいけないの？」と、きわめてあたりまえの質問を發しました。

「質問の趣旨がわかりません。もう一度ご返答を」と私にPTAの副会長が立ち、「男子は男子らしく、女子は女子らしくと願ったことなので守るように」「スカートをはくのがなぜ女子らしいことなのか理解できない。わが家は——らしくとだけ言わないで子供を育てたい」と言う。

「ともかく決まりですから守ってほしい。一応検討はするから」あれから一年半、検討もされていなくて、あろうことか娘は、「ばってんスカートの方が涼しくてよか」とすっかりスカート派になってしまいました。スカート論議をはじめとしてそれまで暮らしていた宝塚の学校とはずいぶん色んなことが違っていました。ともかくテストが多かったです。当時小学四年と一年だったのですが、あれよあれよという間に袋にいっぱいテストがつまんでいくのです。そして、各学期ごとに、漢字大会、計算大会、硬筆大会に持久走大会、という具合にたくさん大会があり、クラスの上位何人かにもものものしい表彰状が渡されます。かなり強烈にいやだなと思いつつ、懇



「質問の趣旨がわかりません。もう一度ご返答を」と私にPTAの副会長が立ち、「男子は男子らしく、女子は女子らしくと願ったことなので守るように」「スカートをはくのがなぜ女子らしいことなのか理解できない。わが家は——らしくとだけ言わないで子供を育てたい」と言う。

「ともかく決まりですから守ってほしい。一応検討はするから」あれから一年半、検討もされていなくて、あろうことか娘は、「ばってんスカートの方が涼しくてよか」とすっかりスカート派になってしまいました。スカート論議をはじめとしてそれまで暮らしていた宝塚の学校とはずいぶん色んなことが違っていました。ともかくテストが多かったです。当時小学四年と一年だったのですが、あれよあれよという間に袋にいっぱいテストがつまんでいくのです。そして、各学期ごとに、漢字大会、計算大会、硬筆大会に持久走大会、という具合にたくさん大会があり、クラスの上位何人かにもものものしい表彰状が渡されます。かなり強烈にいやだなと思いつつ、懇

談会などで発言しても、「競争から」などと励まし(?)ているうちにすっかり学校の空気に馴染んでしまい、今ではテスト大好き人間になってしまいました。私としては複雑な心境です。あれこれやと直感アンテナが不快に作動して体がムズムズするので今春からPTAの地区長と子供会会長をしています。自分で言うのもなんですが、阿蘇がいてくれるから力が湧きだして阿蘇があるのですから。阿蘇がいてくれるから力が湧きだして阿蘇があるのですから。阿蘇がいてくれるから力が湧きだして阿蘇があるのですから。

日本人は個人的な発想に基づいて生きることがどうやら苦手の民族のようだ。サラリーマンの酒宴の中心な話題は会社のことであり社会的な事件である。そして話のエネルギーはグループまたは組織のもとの個人の存在確認に集中する。初めから組織や社会といったグループ的思考が上にある、その下で個性が息づくものと信じ込んでいるところがある。

現代 職業カタログ (33) マーケティング調査 森清鑑

「脱サラ・脱主婦・脱学校・etc...」

「自分の発想を信じてお互いに意見をどしどし交換する。そこには即行動という暗黙の諒解がある。一方で自分の出来ることと出来ないこと、つまり現実の能力をいかに上にも知る。そして挑戦が始まる。数ヶ月間大極拳の初伝を取った。大極拳は気まじめ、努力型志向とは正反対の力を抜くための体操である。楊名時大極拳は八段錦という言わば準備体操と二十四組からなる。その全ては円を描くことである。長息調息の運動

「自分の発想を信じてお互いに意見をどしどし交換する。そこには即行動という暗黙の諒解がある。一方で自分の出来ることと出来ないこと、つまり現実の能力をいかに上にも知る。そして挑戦が始まる。数ヶ月間大極拳の初伝を取った。大極拳は気まじめ、努力型志向とは正反対の力を抜くための体操である。楊名時大極拳は八段錦という言わば準備体操と二十四組からなる。その全ては円を描くことである。長息調息の運動



「ひとこと つうしん」

先日「交流」の読者の方が、あの記事を読んで訪ねてくださいました。藤沢市のMさんという方です。「ちくま」7月号ふろくにもチョッと書きましたが、「ぼくは施設で浮いている職員」だそう、「こういうところもあるってことをぜひ同僚に見せたい」と、反応なさそうな十二名程の施設職員を、がんばって引張ってました。この人達の中で、そりゃ浮くだろうなと一つのスポットに三六五日潜っても一日として同じことはない。それほどの光彩の変化と生物の変化に直面し、五感にふるえが来る。これまで水槽を30近く持ち、様々な生物を観察してきたが、これからは自分が潜って観察する番と心に決めた。ロイ・ダイビング・スクールの訓練は、理論・実習共にかなり厳しい。いいかげん講習では、はつきり言って危険である。近い将来、三宅島のモイヤーさん(海洋生物学者)に弟子入りして生物をとくと観察したいと思っている。課長教育で富士山麓で怒鳴るのもいいが、まず海に潜り、心身共に無重力を体験し、頼りになるのは自分の判断力だけというのを知り、人間以外の生物の個体の生活を見、そして、海から上って大極拳という、教育実習の方がはるかに効果があると、現在の私の職業はアメリカの市場や企業の調査をしたり、分析レポートの作成にあけられて、この様な個人体験から自分の職業が将来、一体どのようなものか判らぬ様相を呈している。しかし、個の発露であることは間違いない。大極拳もスキューバも個としての自分の存在を様々な角度から教えてくれるのである。

「七月十六日のレポート、字数の関係で、シリ切れトンボになったので、少し補足します。」

「チョウもクモも」という意味は、子連れ出勤であれ何であれ、価値感多様化の時代には「全員から支持されて」なんて考えてはいてもできないのだからサッサとやっちゃおうじゃない。反対の人も、言論の自由はあるんだから、ブツブツ言う権利はあるし、それで誰かが死ぬわけじゃないから、それぞれ生き方できているじゃないんじやないかっていう意味。実際、あまりいろんな意見が出てくるんだ、これまでも議論なんかあったら大変だと思ったね。

「このところ、原稿の締切日は順調に経過してたので、得意のグチが出なかつたけど、久しぶりに今回は、三つの原稿がまとめて遅れるという悲惨な事態になり、ストレスがたまつた。次回執筆予定の方、あわれな編集者に愛の手を！」

「七月十六日のレポート、字数の関係で、シリ切れトンボになったので、少し補足します。」

「チョウもクモも」という意味は、子連れ出勤であれ何であれ、価値感多様化の時代には「全員から支持されて」なんて考えてはいてもできないのだからサッサとやっちゃおうじゃない。反対の人も、言論の自由はあるんだから、ブツブツ言う権利はあるし、それで誰かが死ぬわけじゃないから、それぞれ生き方できているじゃないんじやないかっていう意味。実際、あまりいろんな意見が出てくるんだ、これまでも議論なんかあったら大変だと思ったね。

# 9月号 (No.179)

1988年9月10日 (毎月10日発行)  
1年間予約制(送料共) 2,000円 1部頒価 200円

## 発行「交流」編集会議

東京都中野区江古田4-17-14 (増野潔氣付)  
〒165 電話(03)385-2293  
郵便振替 東京 4-51709

◆「交流」は、いろいろな生活領域から、体制に異議申し立てをして、人々相互の交流と討論と発展のための月刊新聞です。

◆原稿料は払いません。編集作業も無償です。購読料とカンパによって、印刷費・郵送費をまかないます。



### 特集 病とつらさ(その①) 全身性エリテマトーデス

阿部正子

私の病名は「全身性エリテマトーデス」通称SLEといいますが、膠原病の一つで、エイズと同じ自己免疫疾患。全身どこに出るかわからない炎症が特徴で原因不明。一般にはステロイド剤の対症療法のみというのですが、現在私は元気で、週一回友人の鍼灸治療と月一回の通院で人並みに働いています。異認定の難病患者なので、益暮れにはお見舞いのタオル、膝掛けなど担当者の心遣いのしはれる品をいただいたりしています。この二年余りの私のドクターシヨッピングをお話しします。

二年程前の冬、会社の近くのA医師に「白血球が異常に少ないが、検査センターのまちがいでしょう」と言われているうちに、小さい頃一度かかったはずの風疹でダウン。唾を呑むのも激痛という程ガマンしてしまつて、(「こういうガマンがいけない、近所の総合病院に入院、女医のB医師は年季の入った方で「あなたはその風疹とは思えないので薬はあげません。今が峠だと思つて寝て下さい」とのこと。苦しんで寝ていた時が、ちょうどチェルノブイリの事故の日であつたことを二日後に新聞で知りました。

退院後も白血球は回復せず、B医師は「おかしいわねえ、もしかしたら膠原病になるかもしれないから太陽に当たらないようにね。」  
白血球が落ちる。深い海の底に沈んではいかれないような疲労感。夜中のみぞおちの痛み。すわエイズか?と思う程一時期は内心恐怖で、小学一年生になつたばかりの娘に「ママはいつてもゴロゴロ寝てばかりでナニヨノ遊んでもくれないし」邪魔にされ、涙ぐむ情けない日々でした。世の中の人々が歩く道路の

病の専門医で友の会活動をして落ちこみで「神様、娘が成人する50才までは生きてよ」その時私は35才。台所から見た雑草がひどくまぶしかった。ホント。結局B女医に内緒で順天堂へ。私の会社の主治医でもあるC医師は「この紙を会社のカルテに貼っておきなさい。クスリを出します。今思うと私は不安でひきつた顔をしていて、リニューマチというプロの患者が専門のC医師には気に入らなかつたのでしようか?」病名なんか聞いてどうするんだ、ええッ!.....私には絶句。あとで悔やきとみじめさで涙ボロボロ。会社にもついでにいれた紙切れの語句を頼りにお茶の水駅前の医学書専門店を調べ、カルテと同じSLEをみつけました。医学書は読めば読むほど、患者を脅かすことばしか書かれてなくて、今日明日どうしたらよいのかは何もない、弟の勤務先の保健婦さんにもらつた「療養の手引き」にも家事労働が疲労度別に点数で示されていて何にしる疲労が蓄積されるまでわからなくて後でドツと疲れてダウンする鈍い体であることが強調されているだけ。

C医師にもらつた薬(ステロイド)は、飲むと身体の内側からハッパをかけられる、無理矢理力を出させられるような感じで、肌は驚くほどスベスベになり(高級化粧品に含有のうわさ有り)、夜は寝ていてびしょ汗をかき、食欲も出るので、元々丸い顔が、一ヶ月もしないうちにムーンフェイスに。SLEは肌が鈍くなるためか疎遠に。C医師に二度と会いたくない私は、膠原病友の会に電話をして機関紙を送ってもらい、見事に誤診のA医師がベイチェット

話すと、いったん飲んで止めた薬をまた飲んだためのアレルギーで肺炎を起したと、薬はもう使えないが、軽い方だから何とかなるでしょう。風疹の時にSLEを見ぬけなかつたのは申しわけないといわれ、いつでも具合の悪い時は来て入院なきい、とのこと。この言葉でホッともがいた二年の間に、ストレス源の亭主と別居、どこかに残っていた依存心をちぎり捨てていた旅行も目前です。かつて魅了されたタージマハルにまた会える、バラナシー

最近また私のファイルが一つふえた。眼の病氣、食物の項目である。その中には「交流一七二号」の岡崎さんの「牛乳は牛の飲み物だがや」がある。息子の食糧アレルギーからとん動物を食べるのかを書いて下さつたものだが、息子さんが食べている物と今私が食べ始めている物はほとんど同じである。私の場合は牛乳や卵は少しは食べるが、主には玄米と根菜類、海藻、梅干しなどである。岡崎さんと会つたら一度彼のお得意のキャロットケーキを食べたいな、などと思つている。

昨年七月二十四日に網膜剥離と診断されてから眼のことや食物について研究する機会を与えられた。眼のことは私の友人で医者ではないが自分の病氣について医学書や外国の医師に返手紙を書いて資料を手する山本さんからの助言がきっかけであつた。彼を通じて病氣を医者まかせにしておいてはいけなことを痛感させられた。自分で読書できない時は眼に関する専門書を友人に読んでもらった。その本を通じて私は「網膜剥離友の会」を知り、入会することによって多くの人の経験や良い医師にも出会う事が出来た。

私は最初近所の眼科医から紹介された防衛医大で三回も手術を受け、成功しないままに退院させられてしまった。二回目の手術がうまくいかなかつた時一

シャリー・マクレーンの三(ベレナス)でカンジスの夕日部作には「この世で自分に起きることはすべて自分にとって何らかの必然である。自分に起きたことは自分が引き起こしているのだ」という言葉がくり返してきます。シャリーの本を手にとつたのも私の必然だったのしょう。今春、満開の桜の箱根路へ「お水とり」に出かけ、その御利益が物事何とな好転。二度といけないと思つていた旅行も目前です。かつて魅了されたタージマハルにまた会える、バラナシー

番望んだのはどこかに良い医者がいなかりたいということだつた。つれあいも友人を通じて多くの病院の情報を得てくれたが、やはり友人達もこの病氣についての十分な知識はなかつた。日本テレビの小林完吾アナウンサーもこの防衛医大で乳児の真吾ちゃんを死なせている。彼は最後の十一日間をずっと病院で付添つて医者のすべての行動を見ていたので私などよりはるかに真剣に告訴の事を考えていた。(愛みつけた)「二見書房」病氣になり一年間職場を休んだが、その間食物について研究

したり、玄米、野菜、牛乳、魚等安全で新鮮なものを購入してある所沢生活村に入れてもらった。私が視力が一番良かったので、毎朝アロエをすつて、みなさんの口元にもついていた。アロエの友情は今も続いている。先日目黒の「ふる里」へ行くのとアロエジュースがあつたので作り方を聞いた。アロエの葉と玄米から出来た酸素をまぜ二、三日後に葉をジュースにかけ、私も今作っているところである。玄米とアロエは病氣にならなければ出会えなかつたものである。



三井マリ子トクライブシリズ③「女の笑いの伝え方」内容：宝井琴桜さんと三井マリ子さんの対談  
日時：九月十七日(土)二時〜四時  
場所：阿佐谷地域区民センター  
参加費：六〇〇円  
託児の用意ありません。  
問い合わせ：まじよりてい企画  
03-318-5860

### その② 網膜剥離

病氣もまた来し 中嶋里美

私の友人の山本さんは防衛医大の担当医師を告訴せよとすすめてくれたが、今の所私にはそのエネルギーはない。しかしこの次何かの事で入院するようになりが出来るのかをあまり考えずに仕事に運動に飛び廻つていた気がする。先日もおもしろい経験をした。八月二日からつれあいの故郷を訪れ、そのあとフォーラムに参加してきた。七日間玄米を食べない生活であつた。帰る二、三日前から歯ぐきが痛み出し、帰つてきてからは一本の歯がうずき、歯刷牙を

山本さんからの助言がきっかけであつた。彼を通じて病氣を医者まかせにしておいてはいけなことを痛感させられた。自分で読書できない時は眼に関する専門書を友人に読んでもらった。その本を通じて私は「網膜剥離友の会」を知り、入会することによって多くの人の経験や良い医師にも出会う事が出来た。

特集 病(三)とつきまとい

その③ 難病を克服せよとの暮し

(上) 鈴木晶子

私の発病当時、小学校に入塾して間もなかった長男が、この春、中学生になり、私の病も満六年をこえた。二年間の入院中くり返す再発で、退院が延びる度に「死なないうでしよ?ならいい」と言いつつ息子は六年間私の病と一緒に歩み、成長した。

42才で発病。遅い出産で、6才、3才、1才半の三児が居た。臨月以上の腹痛、大きなぶよぶよの水頭、顔は満月のようにはれて目はつぶれ、肺は水で呼吸困難の激症状で「再起不能」の宣告、腹を決めて、つれ合いに三児を頼んで入院。心すこぶる平静で悲愴な決意とてなく淡々としていた。逆境で腹が座るよう。

20年の勤務と家事育児の代わりには激症状と闘って個室入院は、死から大部屋へ移れる生への仕事であった。正岡子規よろしく「逆にならね」と言っていた。

42才で発病。遅い出産で、6才、3才、1才半の三児が居た。臨月以上の腹痛、大きなぶよぶよの水頭、顔は満月のようにはれて目はつぶれ、肺は水で呼吸困難の激症状で「再起不能」の宣告、腹を決めて、つれ合いに三児を頼んで入院。心すこぶる平静で悲愴な決意とてなく淡々としていた。逆境で腹が座るよう。

左足膝内側靭帯損傷、ケガしてわかつたこと

ちょっとばかり子ども産んだからって、産んだことない人にはわからない、なんて、あーあ、想像力のない人はやだねえ、人間は想像力があって、いろいろと思いつくから人間なやない……とね日頃ゆつておったわたくしですが、その本人がケガをして、ガク然としてます。自分の想像力のなさに。

ケ月「寝ていないこと」西洋服を着替える「一日10km走れば自由」玄米菜食二食あとは水だけ「漢方薬と併用治療」を続けた。

「病室六尺」を我が城とし、久々の独り身の解放感が何より快かった。

「一日が全部自分の時間の生活は、苦しい検査も何もかも楽しんで見舞いの友だちが、肺に溜った水で苦し呼吸の私から溜った水で苦し呼吸の私から溜った水で苦し呼吸の私から」

「逆にならね」と言っていた。再発を機に難病の底深さを感知し、自らも治療に参加出来る病院、自らも治療に参加出来る病院、自らも治療に参加出来る病院、自らも治療に参加出来る病院

ケガしてわかつたこと、みながわよしの

通勤できた。街全体の雰囲気がいずれか、速い、そして一糸乱れぬ感じが。足にぐるぐるの包帯して、またよたよた、一ヶ月以上の通勤も一回も、一回も席をゆずってもらえなかつた。寝たふり、刺すよ、視線、ぱつぱり、刺すよ、視線、ぱつぱり、刺すよ、視線、ぱつぱり、刺すよ、視線、ぱつぱり

今回のテーマ「病氣とつき合う法」であるが、つい最近退院したばかりの私としては「完治の見込みのない、いつ再発するかかわらない病氣と、どう一生つき合っていくか今のところわからない」というのが正直なところである。

私の病氣とは、潰瘍性大腸炎。どちらも言え、下痢体質で夏泳いだ後、アイスコヒーなどを飲むと下痢したりする私としては、五月三日の連休中、急に下痢した最初の時は「またか」位にしか思っていなかった。それが、激しい腹痛を伴いトイレに休む間もなく行くようになつて「変だな」と思うようになつたのは夕方だった。

「潰瘍性大腸炎」伊丹文子

「思つてる暇はない。だから、ケガしたりして、他人のじゃまになつても、わたしの事情なんだから、どんな迷惑かけながらも出かけるよじやないのって、最後の方はなつてました。

遅刻を認めよう、川崎

我が家は、長女(6才)、長男(もうじき2才)、小学校教員(妻、37才)と私(38才)の4人家族である。今年の3月私は13年間の会社勤めに見切りをつけて、現在は、第2の人生として、東洋医療に携わると、都内の鍼灸専門学校にかよつて居る。

「思つてる暇はない。だから、ケガしたりして、他人のじゃまになつても、わたしの事情なんだから、どんな迷惑かけながらも出かけるよじやないのって、最後の方はなつてました。」

「遅刻を認めよう、川崎」

「我が家は、長女(6才)、長男(もうじき2才)、小学校教員(妻、37才)と私(38才)の4人家族である。今年の3月私は13年間の会社勤めに見切りをつけて、現在は、第2の人生として、東洋医療に携わると、都内の鍼灸専門学校にかよつて居る。

遅刻を認めよう、川崎

我が家は、長女(6才)、長男(もうじき2才)、小学校教員(妻、37才)と私(38才)の4人家族である。今年の3月私は13年間の会社勤めに見切りをつけて、現在は、第2の人生として、東洋医療に携わると、都内の鍼灸専門学校にかよつて居る。

遅刻を認めよう、川崎

# 行かかた

(26回)



## 愛知 岡崎まきる

「教師という職業は、カラオケ スナックですぐわかる」の巻

「明日から夏休みですね、みなさん」

「知ってるわ」

「元気に、楽しい思い出をいっぱいつくって下さい」

「こんな通知表で、何が楽しい思いだあ」

「からだに気をつけて、また元気な顔をみせて下さいね」

「はよ、帰ろうよ」

「……」返事は、位の子で、夏休みを明日に、その日は、一学期の終業式だね。やさしくて、可愛い、わしが担任としての四年一組の子どもたちを、「二度と顔なんか見たくにやあ」と心で思いつつも笑顔で、平凡な先生を演じ、学校から送り出したんだわ。

その日の午後から、神戸の方へ、職員旅行だね。実を言うと、わしが旅行係で、ほんで、高山とか、テズニランドとか、色々希望のあるなかで、神戸に決定したんだわ。

夕方神戸について、宴会までまだちょっと間があったんだわ。それで、若い女の先生二人と、ペテランの女の先生一人について、ヒマつぶしに出かけたんだわ。これ、えりやあ失敗けどよ。

三人の女教師は、さうテパートのバーゲンセールへ猛然と突入していくいかんわ。なんで、名古屋から、神戸まで来て、女の先生のバーゲン見物につき合うんかと、悩んで、わしは、そばを食べて待つことにしたんだわ。

しかし、それは、セミファイナルで、実は、その夜の宴会終了

その後、有志十二名で、出かけたカラオケスナックがメインイベントだったさあ。

「明日から夏休みですね、みなさん」

「知ってるわ」

「元気に、楽しい思い出をいっぱいつくって下さい」

「こんな通知表で、何が楽しい思いだあ」

「からだに気をつけて、また元気な顔をみせて下さいね」

「はよ、帰ろうよ」

「……」返事は、位の子で、夏休みを明日に、その日は、一学期の終業式だね。やさしくて、可愛い、わしが担任としての四年一組の子どもたちを、「二度と顔なんか見たくにやあ」と心で思いつつも笑顔で、平凡な先生を演じ、学校から送り出したんだわ。

その日の午後から、神戸の方へ、職員旅行だね。実を言うと、わしが旅行係で、ほんで、高山とか、テズニランドとか、色々希望のあるなかで、神戸に決定したんだわ。

夕方神戸について、宴会までまだちょっと間があったんだわ。それで、若い女の先生二人と、ペテランの女の先生一人について、ヒマつぶしに出かけたんだわ。これ、えりやあ失敗けどよ。

三人の女教師は、さうテパートのバーゲンセールへ猛然と突入していくいかんわ。なんで、名古屋から、神戸まで来て、女の先生のバーゲン見物につき合うんかと、悩んで、わしは、そばを食べて待つことにしたんだわ。

しかし、それは、セミファイナルで、実は、その夜の宴会終了

「あ、ハエだつたらうちに死んでるよ」

「だめだめ生きたブンブン飛んでるハエじゃないとおしくな

「あ、カドちゃん、ハエ、ハエがいた。捕えて」



# 10月号 (No.180)

1988年10月10日 (毎月10日発行)  
1年間予約制(送料共) 2,000円 1部頒価 200円

## 発行「交流」編集会議

東京都中野区江古田4-17-14 (増野潔気付)  
〒165 電話(03)385-2293  
郵便振替 東京 4-51709



◆「交流」は、いろいろな生活領域から、体制に異議申し立てをして、人々相互の交流と討論と発展のための月刊新聞です。  
◆原稿料は払いません。編集作業も無償です。購読料とカンパによって、印刷費・郵送費をまかないます。



二度目のピースボートに乗った。お金も休暇もすく無理をして、気持は半分満たされた。その辺の所、少し書いてみたい。四月、父の三回忌を終えた。六月、長年の夢だった母のヨーロッパ旅行を実現した。八月六日、母が急死した。八月十九日、新潟港よりナホトカに向うナジターノウアー号の船上に私はいた。

能になつていたし、そこからの引き揚げ者数の多さや、又、この数年毎年繰り返される例の「中国残留孤児」の肉親捜し、という行事で、すっかり身近なものになつていく。

「樺太」はソ連領土という理由だけでなく、北方領土問題がらみで、なかなか「開放地区」になれないでいるらしい。私はこの北方領土問題なるものについて、正直不勉強で、さっぱり解らないのだ。避けてきたというべきか。一般に、日本の「左翼」と称する人々にもこの傾向はあてはまるのではないかと。

今回、ピースボートによるサハリン訪問が実現したのも、ベレストロイカの成果によるだろうし、主催団体の主旨に対する

欠片を集めることすらできない。二時間ばかりで「内幌」なの。という無念さが残った。「真岡」での海員組合の好意によるヨット遊覧が思いがけず実現し、船上から「樺太」の沿岸による島影や建造物を通して、我思いを感ぜられた。父は、敗戦直後、ソ連軍に捕えられ、シベリヤに送られた。そのことを私は、父はソ連で捕虜だったとずっと思っていたが、今回旅行を伴にした小島公平氏(氏もシベリヤ抑留経験者)より、「戦争中に捕えられたのではなく、敗戦後に捕えられたのだから捕虜ではない、不当に抑留されたのだ。ソ連は、国際法違反を犯してきたのだ」と言葉厳しく教えられた。その辺

## 88.ピース・ボートで 生れ故郷『樺太』(サハリン)へ

皆川珂奈江

三度目のピースボートに乗った。お金も休暇もすく無理をして、気持は半分満たされた。その辺の所、少し書いてみたい。四月、父の三回忌を終えた。六月、長年の夢だった母のヨーロッパ旅行を実現した。八月六日、母が急死した。八月十九日、新潟港よりナホトカに向うナジターノウアー号の船上に私はいた。

サハリン行きを知った時、今年はどうしてもピースボートに乗るしかない、と決意していた

気がする。生れ故郷が「樺太」であることに一つのこだわりを感じてきたのは、そこが「サハリン」と呼称され、ソ連領土となつてしまつたからであらうか。自分(史)のルーツを捜す旅というのは結構流行っているのかもしれない。その方法は多様だろうけど、私は「行く」ことがその出発点だと思つたのだ。だが「樺太」というのは、「満州」というのよりも、もっと遠い距離感がある。少くとも「満州」は日中国交回復が成つてからはかなり自由に訪問することが可

まだ欲求不満で、想いが一層のつてしまつたような気がする。私の生家は「樺太」の南部で、「真岡」(まおか)より列車で南に二時間程行った所にある「内幌」(ないほろ)。「ゴルノザアウドスク」に在った。その駅前には聖生病院というのを祖父が外科医をしながら経営し、父はそこで内科医として働いていた。敗戦が近づいた頃、父は上敷香(かみしずか)。「レオニンドウォ」の陸軍病院に徴用で勤務していたという。聖生病院は爆撃で焼かれ何も残っていないと後で叔母(父の妹)に聞いた。それでも我生誕の地「内幌」へ行くことはできないだろうかと、事務局スタッフのU氏やロシア人通訳のワジム氏に交渉依頼をして、もしやの期待をしつつ答を待った。結果は、ほぼ予想通りで、「ピザがない所は行くことができない」とのことであつた。「真岡」は訪問地の一つであり、そこから列車

半日勤務が序々に長くなる。放課後会議に出るとか。三年目からは朝一時間遅れと授業数の軽減は無し、毎日ほぼ残業あり、昨年は深夜に及ぶなど。再発は恐怖であり、リハビリ中の第二目標の「不再発」は常に仕事と背と腹としてあり。

大病で失つた体力の回復がリハビリの第三目標なれど、ハードな勤務と家の生活で後退し切つている。難病六年半の闘いで中々軽業勤務で生きるにそれでも最もつらい時と云える。私は男性患者一般がほぼ主たる生計者でも仕事を辞めず、外の仕事のみでそつと生活するのをもく見てきた。股様になつて生きて命を支えてる。私も主たる生計者なれど、一般的に世間は、三児をかかえて大病後も労働にもどる女を無茶と言ひ声援は少ない。女も女王様として生きて病いを癒かしつづけた。でも自分の身の立つているあらゆる条件を土俵にして「体力の回復」に向ひ合うのが自らの力による本当の回復なんだ。なんて強がり言つてゐるのだ。

「気力で元気がなつた」と友共は言うが今48才もすぐ49才。「燃えつき症候群」らしく気力全くなし。症候群は「ネフローゼ症候群」で沢山「晶子」さんの元気な姿を見ておかしな病む人々の社会復帰も(すべて来たのに)と言われるけど何



### 伝言板

◆ミニ映画祭「反原子力の日」に向けて  
日時 十月十五日(土)二時半  
内容 映画「世界は恐怖する」  
同「ドキュメント・チェルノブイリ」ビデオ「海外からの証言」(東電制作推進派ビデオ)  
場所 神奈川県高校教育会館  
主催 神奈川県高教組平和運動推進委員会 045・231・2479  
日時 十一月六日(日)十時よ

◆バザーにご協力を  
日時 十一月六日(日)十時よ

◆二時まで  
場所 〆ゴタゴタ荘(練馬区大泉学園) 03・929・8851 (カンパ物資のご連絡は平日二時〜五時よろしく)

◆青時連の例会  
日時 十月十三日(木)六時半  
場所 〆お茶の水ホール 03・294・7675

◆男の子育てを考える会例会  
日時 十月二十五日(火)七時半  
場所 〆未定

◆ごんべのお宿保育園バザー  
府中市にある共同保育所「ごんべ」のお宿が、十一月二十日(日)

府中市立南白糸台小学校(府中市白糸台六四十八)の体育館で福祉バザーを行います。衣類、書籍、電化製品等、不用品がありましたら、御連絡下さい。また、当日の参加もお待ちしております。

〆四三二六七一〇九八六(八時から十八時まで)  
◆ミュージック・トライアング  
ルーンフジサワー(フォーク)は語りやまない!  
出演 加川良ほか  
日時 10月20日(木)6時30分  
会場 藤沢市労働会館ホール  
加川良を聴いて四帖半で震えたあなたに送る至福の夜  
主催 ReWind 神奈川 〆四六六三三・七五一九久保

特集 病と死とつぎは(下) 難病を克服せよ ③ その ③ 鈴木晶子

「燃えつき症候群」らしく気力全くなし。症候群は「ネフローゼ症候群」で沢山「晶子」さんの元気な姿を見ておかしな病む人々の社会復帰も(すべて来たのに)と言われるけど何



「日の丸と君が代はいらんがね」とが多くなった。わしとしては別に大した話をしなくてもいい。ほんでも、「スポーツって、別にどつてことないですね」とか、「体育とかスポーツに対する、コンプレックスがとれまじった」と言っている、喜んでくれる人が、けつこうおる。まじめに講演やろうと思つて、色々考えても、どしても、漫談になつてまう。まあ、スポーツや体育の話なんか、まじめに話すとこじたいがコッケーだわな。

とりわけ、大学で体育会系のオッサン達に、痛めにあわせられた人たちに人気があつた。モヤつたら、砲丸が飛んできたという話を聞いて、こつちがたまげたりするがね。

たまたま、「お母さんがなぜか多い」といふ話を聞いて、こつちが「どうして、岡崎さんがなぜか多い」と、追及されることがあるけど、よ、わしに文句をいってらなつてもよお、ちよこつと困るがや。

①強制連行された朝鮮人 朝鮮人 釜山に住む被爆朝鮮人 ③釜山に住む被爆朝鮮人 ④韓国で闘う反オリンピックの学生たち 子どもたちあは、スポーツの話が聞けると思つて、ウキウキとるけど、わしは、しつかりと日本と朝鮮の歴史を、語るもんで、はじめは、何でオリンピックとわしの話が関係あるかわかんかったよ。ほんでも日ごとに、わしの真剣さ……と言つても、つとめて明るく話して、考え込むようになったがや。あしたは、オリンピックで強制撤去されたサントンの街の話をするつもりだかね。

と、最近、オリンピック・団体のせいだ、東京や大阪、そして地元愛知で、スポーツ批判の講演や原稿を依頼されることが多くなった。わしとしては別に大した話をしなくてもいい。ほんでも、「スポーツって、別にどつてことないですね」とか、「体育とかスポーツに対する、コンプレックスがとれまじった」と言っている、喜んでくれる人が、けつこうおる。まじめに講演やろうと思つて、色々考えても、どしても、漫談になつてまう。まあ、スポーツや体育の話なんか、まじめに話すとこじたいがコッケーだわな。

開会式、閉会式も、体育委員が中心となり司会をやる案を出すよ、皆、納得してらなわさ。文句は言いきりかや。そこには「校長のことば」はあるけど日の丸も君が代（国歌、国旗と昨年まで記されていた）もないわさ。来賓あいさつもない。ところが、誰もそのことに気づいてらな。体育委員は、わしが担当してらな。念のため、であつというまに承認で、メテタシメテタシだわさ。

わしは、一言も、日の丸・君が代のことを言わずにすんだ。もちろん、こつちやり方は教師集団の考え方が「変革」した結果の成果とは言えんよ。だに、「センセン大したことはない」と言つて、反応なし。いってこい、後で、日の丸と君が代が消えた事を知つた、ある先生が、「岡崎先生、ぼくは日の丸と君が代に反対じゃないけど、子どもが中心になつて運営しようとしたとき、そういうこと、たまたまなつたんだから、いいんじゃないですか」と言つた。説明に入るまえに、「もう一度確認ですが、子どもを中心に運営できるだけ、子どもに運営をまかせていくということ、良いですな」と念を押す。

でも、後で、日の丸と君が代が消えた事を知つた、ある先生が、「岡崎先生、ぼくは日の丸と君が代に反対じゃないけど、子どもが中心になつて運営しようとしたとき、そういうこと、たまたまなつたんだから、いいんじゃないですか」と言つた。

でも、後で、日の丸と君が代が消えた事を知つた、ある先生が、「岡崎先生、ぼくは日の丸と君が代に反対じゃないけど、子どもが中心になつて運営しようとしたとき、そういうこと、たまたまなつたんだから、いいんじゃないですか」と言つた。

八月に沖繩へ行って来た。東京が大雨の中、天候には恵まれ暑く、沖繩で身が凍るような貴重な体験をしてきた。沖繩本島のほとんどの米軍基地というすさまじい風景をにらみながら、一日目は南方にある糸数壕へと向つた。アスベストの工場と民家がちらほらあるだけであつた。ときどき煙草の煙が、民家からかき出されて、このガマ（洞窟）はあつた。入口は大人が一人やつた。

### ぼくの保育日記 (20) 沖繩編(上)



入れるほどの小さなものだった。京が大雨の中、天候には恵まれ暑く、沖繩で身が凍るような貴重な体験をしてきた。沖繩本島のほとんどの米軍基地というすさまじい風景をにらみながら、一日目は南方にある糸数壕へと向つた。アスベストの工場と民家がちらほらあるだけであつた。ときどき煙草の煙が、民家からかき出されて、このガマ（洞窟）はあつた。入口は大人が一人やつた。

ぞまじきは、ある種の距離感をもつて見れることもあるが、平和な時代のおぞまじさは身近なだけに一層やきやきだ。きつと郁さんも、書きながら手のふるえることもあつた。ではなにか、とさえずる。しかし、感情をおさへ、事実を刻明に書き綴ることで、この作品は厚みのある説得力と、暗いだけでない、人々の生命力への希望を描くことに成功した。

この本の著者は又、「歴史を加害者と被害者の二極対立で割り切るのはどうも性に合わない」という。戦時中、「紅蓮討伐」の任に当たつた特務主任・東城氏は、今も健在で、アヘン工作スパイ工作など当時の「罪行」の数々を著者に語る。とりわけ生体解剖の話は余りに残酷すぎた。郁さんは吐きそうになり、「書くのはいやです」と断るのだが、東城氏は「事実から目をそらすな」と著者を励ます。

東城氏は軍国主義教育が生んだ典型的な優等生だった。満州のヒラ警官の給料は日本の二倍だ「静かなドン」を思い出した。あれはフィクションだったが、歴史の波に押し流される人々の苦痛は重なり合うものが多い。この特務主任の体験ほどではないが、敗戦の時小学三年だったぼくも又、小さな「つるし上げ」を受けた記憶がある。疎開先の岐阜から、元の名古屋に戻り、焼け落ちた小学校跡のバラックに集まつた時、突然ぼくは級友にとり囲まれ、フクロ叩きにされた。思い当たることと言えば、三年生の一学期、先生の覚えめでたかつたぼくは、職員会議などで教師が授業に來ない「自習」時間、竹竿を持つて、教室を静かに管理する役目を仰せつかつた。ぼくは得意になつて、必要以上に代役を演じていたらしい。「つるし上げ」はその時の罪に対する制裁だった。おとなになつてからも、時に集団の中でリーダーシップをとらなければならぬ状況にためらなれない感じが、多いのは、もしかしたら、あの原体験のせいだろうか？

戦後生れの人にこんな話をしてもピンと来ないだろうが、そういう人にも、この本はぜひ読んでほしい。分厚いけど、読みだしたらやめられないよ。(朝日新聞社刊 千五百円)

少女たちが裸足でトゲトゲした岩の上を必死の思いで走り抜け、この海の中へ身を投げていったのかと思つながら、その海をみつめてみると、若い米兵が2人ウインドサーフィンをしてた。なんとも言えぬ思いでこのサーファーをみていたが、あの若い兵士たちはこの場所がどういう所なのか知らないで楽しんでるのか、それとも知つて楽しんでるのか、知らなかつたのか、自分がそこにいたらどうしたのか、今、戦争が起きたらどうなつちゃうのかと話題が次から次へと展開していき顔つきもだんだん深刻になつてきた。(次頁へつづく)

### 林郁著 『アムール史想行』

ますのきよし

# はるかなる 自給をめぐって

## 飯能市 小園小夜子



ここは飯能市のはずれ、奥武蔵と言われる山間地です。地域の産業は西川材を産出する林業だが車で通勤者も結構居る。外勤きの女性はパート中心で家にいる人がほとんどを占めています。

ずいぶん以前に発行された交流に奄美の浦島悦子さんからの呼びかけ文が載りましたね。実は、私と子供3人はそちらへ行ってお話を伺ってきたのです。その後は、長野県飯能市の叔父を頼って何度か往復しました。

あれやこれやで結局、現在の職を維持したまま、通勤可能キロ圏内で土地を貸す方針に切り換えたのです。ま、すぐ自給生活できないし、当分教育費は必要だろうというごく現実的な選択に落ち着かざるをえませんでした。



八六年三月末、十年余り住んだ新宿から転居したけれど、最初の一年間は相変わらず通勤

とします。今までは学校のチャイムが聞こえる団地に住み、遅刻寸前まで家でモトモトできるのに、こちらへ引越したら通学に歩いて四十分かかります。ここで学校について少しふれてみますと……小・中学校とも近代的なコンクリートの校舎に改築されている。小学校は各学年平均して二十名程で、だんだんそれも減少傾向にあるのは都会と同じです。ここは学区が広く(過疎なので、スクールバスあり)友達と遊ぶのも親の車の送迎がないと約束できないこともしばしば。今また、さらに遠くの小学校を三つ廃校して娘たちの通う学校へ一本化したよう

だ。中学校は各学年二クラスあり生徒は50名程。電車、自転車、徒歩とやはり広範囲に及び、今年から自転車通学の生徒はヘルメット着用が義務化された。ひたすら高校進学のためのテスト

と、水の音も、晴れた日、ちょっと手を休めたときの浅間山と佐久平の景色も、それはステキ。でも、私たちのように、にぎやかに畑にいる人たちがいないんです。一日がかりで大勢でする田植えだって、這いつくばってするつらい田の草とりは白田に移り住んで四ヶ月。どうして……を話すと、いろいろの思いがあふれるのですが、ワイルドに生きたい、たくましくなりたいという気持ち、根っこに強くあつたことにこのころ気づきました。

田植えのとき、こんな家族が援農にやってきました。出された食事は不満足そう、食器の準備、片づけ一切やろうとしても洗い、あげくのは「このタオル洗ってよ」と自分のタオルを私に渡すしよ。小六の子に、自分の食べたお菓子の袋を捨てるように言う、ふくれつら。私たちは、野菜を買ったのよ、あんたら、たかが百姓よ、とでいうのでしょか、子どもも親の思いにそまるのでしょか、怒りがおさまりませんでした。また、須田さんは、よく、「な

## 百姓修業四ヶ月 ただいま独立準備中。

### 長野県 仁平尚子

田植え、種まき、草刈り、草とり、堆肥まき、間引き、収穫出荷……いろいろ生まれて初めて経験しました。作業は、だいたい、我々の農業の先生である須田さんと、私の、彼の彼、もう一人の実習生の四人でワイワイやっています。体は、そりゃあ、きついですけど、語らひや笑いの中で作業は楽しくもあり、また、だれも何もしやべらない静けさの中の自分とのおしゃべりも好き。鳥の声

も、水の間も、晴れた日、ちょっと手を休めたときの浅間山と佐久平の景色も、それはステキ。でも、私たちのように、にぎやかに畑にいる人たちがいないんです。一日がかりで大勢でする田植えだって、這いつくばってするつらい田の草とりは白田に移り住んで四ヶ月。どうして……を話すと、いろいろの思いがあふれるのですが、ワイルドに生きたい、たくましくなりたいという気持ち、根っこに強くあつたことにこのころ気づきました。

経験がないことや、スタートが遅れたことで、今年の実習という形で世話になっているので、それがあって、おぼろげに浮かびあがってきた「遊び」二見ムタのこの期間が、とても有意義なものとなりました。経験がないことや、スタートが遅れたことで、今年の実習という形で世話になっているので、それがあって、おぼろげに浮かびあがってきた「遊び」二見ムタのこの期間が、とても有意義なものとなりました。

で満たされていく私だったので、あーあ、もったいない。これからは、使いたくてもないんだけど、「お金を使わない生活」をしていきたい。楽しみながら、いろいろな自分で使ってね、畑はその第一歩かな。先日、三反の畑が、借りられることになりました。まわりの草を鎌で、三日がかりで刈ったんです。それを堆肥として使います。いよいよ、独立の準備が始まりました。住まいも、八穂村に移す予定です。野菜やお米を、人と人とを結んでくれるものとして、手渡していきたいと思っています。また、気軽に人が集まる場にしたいですね。家が畑がね。みなさん、どうぞ遊びにきて下さい。激動の四ヶ月でした。しゃべりたいことあふれて、まとまりませんでした。また、八千穂の季節だよりとともに、報告させていただきます。うれいんです。

(前頁よりつづく)

(つづく)



◆「交流」は、いろいろな生活領域から、体制に異議申し立てをして、いる人々相互の交流と討論と発展のための月刊新聞です。  
◆原稿料は払いません。編集作業も無償です。購読料とカンパによって、印刷費・郵送料をまかないます。

# 交流

11月号 (No. 181)

1988年11月10日 (毎月10日発行)  
1年間予約制(送料共) 2,000円 1部頒価 200円

発行 「交流」編集会議

東京都中野区江古田4-17-14 (増野潔気付)  
〒165 電話(03)385-2293  
郵便振替 東京 4-51709

## おかげで職場はもりあがる

### ミハール in X DAY

#### みながわよこの

いやあ、俺 今日下血しちゃってさあ、ある日の新玉川線内の会話。ねえ、ママって昭和生まれだからグサイのおおとか子どもにゆわれちゃうんだよ、ある日の丸の内線内女子高生の会話。  
ゲケツとジシユクがやたらはやってない？ すっかり取り入れてしまって、会話しちゃう今日この頃お元気ですかあ。  
わたしの勤める会社は、丸の内にあつて、同僚は五〇代後半、七〇代男性三人。がぜん話も盛りあがるはず。天気と頭髪と持病の話の毎日、よしのさんにはあきあきしてるところだったのさ。  
今なんて、毎日朝晩盛りあがること、もう大変。知ってる皇室内情報でもか、これでもどー思う？

かとしやくる日々。わたしは素朴な疑問をぶつけて、あいの手を入れる役。  
間。どーして、敬語なんですよ。答。そーだねえ……。でも体内の血は全部入れかわったみたいだから、もう平民だねえ。(答えになつてない)、とかね。それでやっぱリガンだとかあの血は誰のどか、話題は広がる。  
ふだんはラジオ体操と自民党と日経新聞がネクタイして歩いてるとわたしは思つてるんです。が、天皇問題にはちよつと違うものすごく複雑な感情で、そういう気持ちを自分でももてあましておきたいので、よく、わたしの様子、なんか想像してたいよすこい。

皇居をつぶして、団地を建てるといふのは、かなりの人がいっている、おじさんたちも大きくうなづいてました。  
天皇制について、どう思うかというのかけっこきかれました。気が先行しちゃつて、どう考えていいか、わかんないとおじさんたちはいいますが、それが深く伝わってきます。街の様子は、なんか想像してたいよすこい。  
D.Cブランドのお勤めの友人は重体知らずにあの日派手派手で会社に行つたら、みんなに本気とも冗談ともつかず派手について注意されたり、F銀行ではえらいさんの出張は基本的に日帰り、H自動車では銀座の接待ジシユクとか、取引先の三〇代の方が記帳にいったとか大手旅行会社のKさんにきいたところでは、社員旅行のキャンセルが一つ二つあつて、年末の旅行のキャンセルがほんとうに怖いといまからビクビクと、すごいキャンセルになるだろうという根強い噂があるといつてた。

わたしは、この前天皇の弟だか兄だか死んだ時に日の丸をオツチングをしたの。こころへのビルはみんな屋上に日の丸をペラペラと立ててるから、チェックしてみました。  
会社の窓から見える五棟のビルは全部半旗にしてみました。葬式の日と死んだ日かな、その両日の間中ずっと半旗にしてるとこもありました。都庁の旗は半旗にも見えるよな、そーじゃあないよなビミョーなはためき方でした。

それをしかと見てたから、ほんとの時はいかならどと思つてたけど、いやあ、想像なんて追いつきませんよ。  
地下鉄の駅なんて、ほとんどカルガモのノリ。坂下門とゆー紙ははつてあるし、一見して記帳帰りのおばさんはオフィス街にあふれてるし、朝と昼と三時にはヘリコプターの音。一時よりかなり下火になつたけど、きつとそこの屋台が出るねと冗談が出てましたね。  
なんでもかんでもジシユクだつた時は、なんかほんとにやだつたけど、今、なんかほつとゆるんで、ジシユクを手の内にし

て、楽しんでるでしょ、わりあいで、そーなつてくると、Xデイが楽しみでねえ。会社は何日休みかとか今日ダイアナ妃が来たとかさ、年賀状はどーする(当社の当面の問題)とかさ、正月はどーなるのかさ。  
天皇制自体がわたしがわたしか兄だか死んだ時に日の丸をオツチングをしたの。こころへのビルはみんな屋上に日の丸をペラペラと立ててるから、チェックしてみました。  
会社の窓から見える五棟のビルは全部半旗にしてみました。葬式の日と死んだ日かな、その両日の間中ずっと半旗にしてるとこもありました。都庁の旗は半旗にも見えるよな、そーじゃあないよなビミョーなはためき方でした。

わたしとしては、地の利を生かして、ウオッチングして、せめて美辞麗句に包まれない近辺の噂、話題をお伝えしたいと思つてます。  
とペンを置いたら、ホットニュースとゆーかちよつと会話。いやあ、戦前だねえ、外人の記者はシャットアウトなんだつてよ、へんだねえ、普通の人だつたら、もう死んでるよねえ、金に糸目はつけないからねえ、日本って国はへんだよ、といまちよつと坂下門の辺のこときいたら、おじさんはいいました。

ちて読んでかかせたら、彼女ら髪の毛が逆立ちましたね。  
「ね、そーいう人、女？へえー！その人、子どもだった時なかつたと思つてるのかしらね」そー、成人だつて、そのうち老人になるんだし、何かのきっかけで障害者にならないとはいき思出しちゃうの。「母」になり得る自分の性を度外視するよう感性はこれまた不気味です。  
「禁車庫」なんていうのは、林真それだけの責任をすつかり「子どもにだけあずけてるような感覚で、ヘタをすつと「テラ」の？「繁栄が人をブタにする」(地球)へ。のようなSF社を想い浮べてゾツとします。つまり、年齢ごとに生活を分けつてしまふやり方、子ども集団、成人集団、老人集団、障害者集団、人種集団：になつてしまふでしょ？そんな分け方は、根は私やますのさんや、そーいう一つの感性ですよ。それをアパルトヘイトと表現しただけなのには、(中略) これを子どもた



福沢諭吉「天は人の上の人をつくらず」

忘れないでね 昔のことを



◆青時連の例会  
日時 11月17日(木) 6時半  
会場 (お茶の水) ルノアル  
☎294・7675

◆男の子育てを考える会例会  
日時 11月21日(月) 7時半  
場所 ますの宅  
問い合わせ ☎0423・81・6327

◆食べて知る世界(スリランカ料理)  
日時 11月12日(土) 11~4時  
場所 阿佐谷地域センター予定  
講師 イミヤ・カマラさん  
料理 鶏肉いため煮/豆カレー  
参加費 一〇〇〇円  
託児 無料(前日までに予約)  
主催 まじりてい企画  
☎三・三二八・五八六〇

◆トークライブ「さりげなく性と政」  
内容 上野千鶴子さんと三井マリ子さんの対談  
日時 10月26日(土) 2~4時

◆産業商工会館(丁R阿佐谷) 徒歩五分  
参加費 六〇〇円  
託児 無料(前日までに予約)  
主催 まじりてい企画

◆教育委員の準公選をすすめるための全国交流会  
日時 11月12日(土) 6時  
依萌子さんの講演  
13日(日) 朝9時  
全体会と分散会  
場所 三鷹市公会堂別館(三鷹) 駅よりバス「市役所前」(スグ)  
主催 実行委員会  
03・309・3226



12/11 アズス・真理子論争  
南西版花の外野席  
日時 12月11日(日) 11~4時  
215(すみさわ)/075・464・4215(うえの)  
場所 京都市社会教育総合センター 第3研修室  
☎075・802・3141  
共催 日本女性学研究会+青時連(男も女も育児時間を！連絡会)  
内容 コント&フリートーク  
会費 一般七〇〇円  
保育有り有料(一週間前までに申込み) ☎075・464・4

「(前略)「母」を強調しすぎると危険だし(国防婦人会を思出しちゃう)」「母」になり得る自分の性を度外視するよう感性はこれまた不気味です。「禁車庫」なんていうのは、林真それだけの責任をすつかり「子どもにだけあずけてるような感覚で、ヘタをすつと「テラ」の？「繁栄が人をブタにする」(地球)へ。のようなSF社を想い浮べてゾツとします。つまり、年齢ごとに生活を分けつてしまふやり方、子ども集団、成人集団、老人集団、障害者集団、人種集団：になつてしまふでしょ？そんな分け方は、根は私やますのさんや、そーいう一つの感性ですよ。それをアパルトヘイトと表現しただけなのには、(中略) これを子どもた

ちて読んでかかせたら、彼女ら髪の毛が逆立ちましたね。  
「ね、そーいう人、女？へえー！その人、子どもだった時なかつたと思つてるのかしらね」そー、成人だつて、そのうち老人になるんだし、何かのきっかけで障害者にならないとはいき思出しちゃうの。「母」になり得る自分の性を度外視するよう感性はこれまた不気味です。「禁車庫」なんていうのは、林真それだけの責任をすつかり「子どもにだけあずけてるような感覚で、ヘタをすつと「テラ」の？「繁栄が人をブタにする」(地球)へ。のようなSF社を想い浮べてゾツとします。つまり、年齢ごとに生活を分けつてしまふやり方、子ども集団、成人集団、老人集団、障害者集団、人種集団：になつてしまふでしょ？そんな分け方は、根は私やますのさんや、そーいう一つの感性ですよ。それをアパルトヘイトと表現しただけなのには、(中略) これを子どもた

# ぼくの保育日記

## 門野悦生



### 沖繩編(下)

沖繩、南方戦跡を見たあと、三日目、我々は読谷村へむかった。

極東最大の米戦略空軍基地の嘉手納(かてな)基地をみればこの沖繩が戦争が終わっていな

のチビチリガマでは百名以上の集団自決があったのに対し、一キロ離れたシムクガマでは、全員が無事救出されたそう。

「自決」することで日本男児の尊皇主義を保つたことが美談とされ、沖繩住民にも天皇のため

「いじめは自棄していかん」の巻 秋の大運動会は、先号書いた計画通り、無事に日の丸

女先生も、「もちろんやるん」とつた。会長は、「てっきりや

「黒岩秩子著『個性が育つ目配り気配り』(明治図書)

みんなが神社へお参りに行く。というニールの言葉も引用され

「父親は威厳のある存在でなければ」という発想は、男にと

このガマの中には、沖繩県立平和祈念資料館同様に、たくさ

まっ暗だ。何分かた目が見えてくるだろうと思つてみて

前日に、万国旗をどうするか

「よし、わし校長が責任取る」と

「よし、わし校長が責任取る」と

「よし、わし校長が責任取る」と

「よし、わし校長が責任取る」と

「よし、わし校長が責任取る」と

# 行かぬ



# 体育教師

困崎まさを



# 現代職業カテゴリー (35)

## 歯科衛生士 西沢早苗

この職業を続けて、足掛け10年になろうとしています。その間に職業を変えること4回、現在、勤務しているところは、個人の歯科医院で2年目が過ぎました。そもそも、歯科衛生士とは、何ぞや？ 10年やっていると、人ださへ、首をかしげるほど、実態は、混沌としている。読んで字の如し「口腔内（おくちの中）の衛生を司る」お仕事なんじゃないけれど、「衛生」って言葉じたい抽象的ですね。この資格を取得するには、2年制の専門学校へ行き、女性のみ入学を許可、男性の衛生士は、全国どこにもいないと思う）お勉強と実習に追われ、国家試験にパスすると、（誰でもパスするみたい）めでたく、歯科衛生士が誕生します。

需要は多いので、就職先には困らない。「とらばゆ」を見ますと、毎週ビッシリと、求人している。猫の手も借りたいほどの忙しい歯医者さんが。（年令制限もあって、25才迄とか多くて頭に来るけど）しかし、知名度は低い。患者さんも、知らないから、歯医者の看護婦さんと呼びますし、歯科助手と、呼ぶ人もいますので、歯医者の「女の子」ってかんじですね。

衛生士の仕事の内容は、二つに区切ると、①歯石除去、ブラッシング指導、薬物塗布、これを、予防処置と呼び、衛生士本来の分野、②ドクターの治療のお手伝い、これを、診療補助といいますが、予防処置に、理解のあるドクターは、衛生士にも理解があるわけで、スペースと時間を、与え、活かしてくれませんが、大体は、診療補助だけに、追われるばかりの医院もある

るわけで、今、勤めてるところは、後者の方なんです。診療補助以上のことも、やる、X線撮る、仮歯をつくる、入れ歯の調整もする、ナースキャップにマスクに、グテメがね（削った金属の粉が目に入るから）完全武装で、異様でしょ？ なかば、技工士のようなテクニックも要求するので、ドクターとしては、便利さ、このうえなし、「こまでは、やってはいけない」という、明確な規制がないおかげで、資格があろうが、なろうが、ドクターの考えは、だから新聞タネにもなるトラブルには、事かかないわけですね。ここまで、衛生士が出る幕はない病院だとは、わからなかったもので、そろそろ、おいとましようと思っっています。（就職の面接のときは、院長は衛生士を活かす職場だとも言われたので、働いてみないと、実態をつかめない。私も甘かったのね）

二人のドクターがいるんですけど、そのひとり、不器用な歯科医師の典型で、患者は悲惨そのもの、こういうドクターがいるんですから、患者も、受身だけではいけません。そして、ボスにあたる院長は、保険のきかない歯、メタルボンド（一本8万5千円だよ）に全精力を傾けています。1日に、2、3人それをやる患者がいまして、軽く百万いきますね。蛇足、こういう大金まいこむと、彼は、外車の購入とかにあててる様子、ワンパターの成金趣味を、絵に画いたような、おひとだ）

歯科医師は経営者、歯科衛生士は社員、患者はお客、この商売三角関係には、医療というテーマは、すみに置かれてい

かんじ、こういう病院にあつた患者は大変。衛生士も、苦しい（でもね、営利先行だけの医院ばかりじゃあないからね）だから、現場の衛生士としては「あなた方の、言い成りにはならない」ぐらゐの強気の姿勢を、患者さんに、持って頂きたい（交流の読者なら、X線ひとつにも、質問をあげせる、と、切に願います。一緒に働いて、若い衛生士達は、「結婚する迄ですよ、この仕事は先細りですから」と、有難いお言葉を、頂きませんが、私って歯石除去好きだし、歯槽膿漏で、弱った歯肉に出会おうと、ときめきさえ、覚えてしまう。まだ、まだ、続けていくつもりではいます。問題多いけど、皆さんも、歯を大切にしてくださいませ。あなたの、おうちの恋人、歯科衛生士でした。

かんに、こういう病院にあつた患者は大変。衛生士も、苦しい（でもね、営利先行だけの医院ばかりじゃあないからね）だから、現場の衛生士としては「あなた方の、言い成りにはならない」ぐらゐの強気の姿勢を、患者さんに、持って頂きたい（交流の読者なら、X線ひとつにも、質問をあげせる、と、切に願います。一緒に働いて、若い衛生士達は、「結婚する迄ですよ、この仕事は先細りですから」と、有難いお言葉を、頂きませんが、私って歯石除去好きだし、歯槽膿漏で、弱った歯肉に出会おうと、ときめきさえ、覚えてしまう。まだ、まだ、続けていくつもりではいます。問題多いけど、皆さんも、歯を大切にしてくださいませ。あなたの、おうちの恋人、歯科衛生士でした。

かんに、こういう病院にあつた患者は大変。衛生士も、苦しい（でもね、営利先行だけの医院ばかりじゃあないからね）だから、現場の衛生士としては「あなた方の、言い成りにはならない」ぐらゐの強気の姿勢を、患者さんに、持って頂きたい（交流の読者なら、X線ひとつにも、質問をあげせる、と、切に願います。一緒に働いて、若い衛生士達は、「結婚する迄ですよ、この仕事は先細りですから」と、有難いお言葉を、頂きませんが、私って歯石除去好きだし、歯槽膿漏で、弱った歯肉に出会おうと、ときめきさえ、覚えてしまう。まだ、まだ、続けていくつもりではいます。問題多いけど、皆さんも、歯を大切にしてくださいませ。あなたの、おうちの恋人、歯科衛生士でした。

かんに、こういう病院にあつた患者は大変。衛生士も、苦しい（でもね、営利先行だけの医院ばかりじゃあないからね）だから、現場の衛生士としては「あなた方の、言い成りにはならない」ぐらゐの強気の姿勢を、患者さんに、持って頂きたい（交流の読者なら、X線ひとつにも、質問をあげせる、と、切に願います。一緒に働いて、若い衛生士達は、「結婚する迄ですよ、この仕事は先細りですから」と、有難いお言葉を、頂きませんが、私って歯石除去好きだし、歯槽膿漏で、弱った歯肉に出会おうと、ときめきさえ、覚えてしまう。まだ、まだ、続けていくつもりではいます。問題多いけど、皆さんも、歯を大切にしてくださいませ。あなたの、おうちの恋人、歯科衛生士でした。

かんに、こういう病院にあつた患者は大変。衛生士も、苦しい（でもね、営利先行だけの医院ばかりじゃあないからね）だから、現場の衛生士としては「あなた方の、言い成りにはならない」ぐらゐの強気の姿勢を、患者さんに、持って頂きたい（交流の読者なら、X線ひとつにも、質問をあげせる、と、切に願います。一緒に働いて、若い衛生士達は、「結婚する迄ですよ、この仕事は先細りですから」と、有難いお言葉を、頂きませんが、私って歯石除去好きだし、歯槽膿漏で、弱った歯肉に出会おうと、ときめきさえ、覚えてしまう。まだ、まだ、続けていくつもりではいます。問題多いけど、皆さんも、歯を大切にしてくださいませ。あなたの、おうちの恋人、歯科衛生士でした。

# 老いとつき合う その(5) 猫山たま

視覚障害、一人暮らしのおばあさん。ヘルパーが帰ったあと、ガス臭いと電話が来れば、放つておけず見に行けば、彼女の沸した湯が吹きこぼれてガスが立ち消えていたとか。洗面台の前がビシヨヌレだと言うので行けば、どこもぬれていない。洗濯物が落ちたの呼び出し、落ちてなんかない。雨で室内に干したのを晴れたので外へ出

させるための魂胆。等々、先輩たちの体験談もつきない。連休前の土曜、仕事を終えて事務所へ戻ると電話のメモ。例の御人から「次の月曜が祭日（この人の訪問日は月・木）なのに、食べる物が無い、買物をしてきてほしい」とのこと。祭日は役所が休みだから訪問も無い。祭日につかつた人に、振り替訪問をすることは無理（他の曜日には他の人への訪問が組まれているから）なので、対象者の方へ対策を立ててもらおうかな

うれしいのは当然として、自分に対して批判的な声に、どこまで耳を傾けることができるか、というところ。朝日ジャーナル十月二日号に次のような記事が載っていた。

「JICC出版局が、先に刊行した資料集『アグネス論争を讀んで』を、むきになってケンカをしてみたい、二人の関係はますますこじれることは目に見えている。すでに何度もこのういことを繰り返しているのだから、任意の人間関係だつたらと食べる物が無い、買物をしてきてほしい」とのこと。祭日は役所が休みだから訪問も無い。祭日につかつた人に、振り替訪問をすることは無理（他の曜日には他の人への訪問が組まれているから）なので、対象者の方へ対策を立ててもらおうかな

うれしいのは当然として、自分に対して批判的な声に、どこまで耳を傾けることができるか、というところ。朝日ジャーナル十月二日号に次のような記事が載っていた。

「あ、やっぱり」とぼくは思った。実は、前にJICC出版局の担当の人と話した際、本紙7月号に書いたような経過を話したら、「金子さんは話の分る人ですよ」という答えが返ってきたので、ぼくは自分がおかしいのかと動揺してしまつたことがある。別に先見の明を誇りたくて言うわけじゃないよ。自分の直接体験を信じたい気持ちと反対意見にも謙虚に耳を傾けたい、という気持ちの両方がある。猫の託児所などという下手なジョークで真理子ファンのご機嫌を伺わなきゃならんし、何か東大教授辞めたいと元ゼンガクレン活動家さんには、あまりみじめになつてはいたくないんだけど、おや、また憎まれ口叩いちゃつた。やはりアドレナリン値が高いのかな。

うれしいのは当然として、自分に対して批判的な声に、どこまで耳を傾けることができるか、というところ。朝日ジャーナル十月二日号に次のような記事が載っていた。

「あ、やっぱり」とぼくは思った。実は、前にJICC出版局の担当の人と話した際、本紙7月号に書いたような経過を話したら、「金子さんは話の分る人ですよ」という答えが返ってきたので、ぼくは自分がおかしいのかと動揺してしまつたことがある。別に先見の明を誇りたくて言うわけじゃないよ。自分の直接体験を信じたい気持ちと反対意見にも謙虚に耳を傾けたい、という気持ちの両方がある。猫の託児所などという下手なジョークで真理子ファンのご機嫌を伺わなきゃならんし、何か東大教授辞めたいと元ゼンガクレン活動家さんには、あまりみじめになつてはいたくないんだけど、おや、また憎まれ口叩いちゃつた。やはりアドレナリン値が高いのかな。

うれしいのは当然として、自分に対して批判的な声に、どこまで耳を傾けることができるか、というところ。朝日ジャーナル十月二日号に次のような記事が載っていた。

「あ、やっぱり」とぼくは思った。実は、前にJICC出版局の担当の人と話した際、本紙7月号に書いたような経過を話したら、「金子さんは話の分る人ですよ」という答えが返ってきたので、ぼくは自分がおかしいのかと動揺してしまつたことがある。別に先見の明を誇りたくて言うわけじゃないよ。自分の直接体験を信じたい気持ちと反対意見にも謙虚に耳を傾けたい、という気持ちの両方がある。猫の託児所などという下手なジョークで真理子ファンのご機嫌を伺わなきゃならんし、何か東大教授辞めたいと元ゼンガクレン活動家さんには、あまりみじめになつてはいたくないんだけど、おや、また憎まれ口叩いちゃつた。やはりアドレナリン値が高いのかな。

# とかく論争 とやもものは



紙7月号に書いたような経過を話したら、「金子さんは話の分る人ですよ」という答えが返ってきたので、ぼくは自分がおかしいのかと動揺してしまつたことがある。別に先見の明を誇りたくて言うわけじゃないよ。自分の直接体験を信じたい気持ちと反対意見にも謙虚に耳を傾けたい、という気持ちの両方がある。猫の託児所などという下手なジョークで真理子ファンのご機嫌を伺わなきゃならんし、何か東大教授辞めたいと元ゼンガクレン活動家さんには、あまりみじめになつてはいたくないんだけど、おや、また憎まれ口叩いちゃつた。やはりアドレナリン値が高いのかな。

紙7月号に書いたような経過を話したら、「金子さんは話の分る人ですよ」という答えが返ってきたので、ぼくは自分がおかしいのかと動揺してしまつたことがある。別に先見の明を誇りたくて言うわけじゃないよ。自分の直接体験を信じたい気持ちと反対意見にも謙虚に耳を傾けたい、という気持ちの両方がある。猫の託児所などという下手なジョークで真理子ファンのご機嫌を伺わなきゃならんし、何か東大教授辞めたいと元ゼンガクレン活動家さんには、あまりみじめになつてはいたくないんだけど、おや、また憎まれ口叩いちゃつた。やはりアドレナリン値が高いのかな。



# むかし、わたしの生徒だった人たち (2)

佐々木赫子

「夜明けの鐘が鳴る」

わたしが教師をやめて十年ほどたったある日、真弓さんから電話がかかってきました。

「たぶんおぼえていらっしやらないでしょうが」と彼女は言いました。どういたしまして。

電話の数を、わが家を訪ねてきた真弓さんは、清楚な服装と、白い素顔とい、高校時代から全く年をとっていないように見えました。

彼女は田舎の高校を卒業すると、県庁所在地の児童養護施設に就職して、保護者のいない子どもたちの身の世話をしていたと語りました。そこでのできごとを、いろいろ聞かせてくれました。とりわけ興味深かったのは、彼女が休みをとって自宅にもどった夜に、児童養護施設に隣接する乳児院で火事があった話でした。赤ちゃんをひとりづつ毛布にくるんで柳行李にいれ、非常用滑り台を使って救

みつけたのだそうです。重度の身障者児童施設に勤めているとのことでした。

出たこと、その応援に彼女の勤めていた施設の年長の子どもたちが行ったことなどです。真弓さんは自分が同僚から聞いた話をしてくれたのです。また聞きとはいえ、夜空にパチパチ音をとてまいてあがる火の粉や、煙のように次々と滑りおりてくる柳行李を、滑り台の下で待ち受けて赤ちゃんをだきあげる養護施設の子どもの真剣な表情が、目に浮かびました。

わたしの胸の底に「よし、この情景を書いてやろう」といういやしい気持ちが高まった。そして、どうやらプロットをくみだしたら、この火事の場面を最も効果的にいかせるだろうかと考えかけたときです。

彼女が「いい経験をする大事な機会だったのに、その場にいな

あわせなかつたのが残念で残念で」と述べました。それは、保護を必要とする人たちの間で働く者として、当然の感想だったのかも知れません。が、わたしは自分が教師だったとき、彼女のような職業意識をもっていない

相手は社会人になってから病気のために視力を完全に失った人だと言います。

わたしはとっさに言うべき言葉がみつけれませんでした。彼女の不自由な人と恋愛しての結果、結婚なら理解できます。でも、見合いだなんて、というのが、そのときの正直な感想でした。

わたしは年寄りくさく、相手の方は生活費を得る手段をもっているのか、障害のある人と結婚することに真弓さん自身も覚悟をできているのかと、俗っぽい質問をしてみました。

職業訓練が実を結び、関西の方に職を得て赴任する彼と結婚して、真弓さんは去りました。

彼女の次男が通う幼稚園の園歌に、彼女の作詞したものが入り選した、それが彼女一家の最新のニュースです。電話線を通して、真弓さんが声をたてて笑うのが伝わってきました。

わたしはいつか真弓さんから聞いた乳児院の火事の話を書きたい誘惑に負けて、結局「あしたは雨」という童話の第二部に

むつかしい理屈は何もない、じつに自然で謙虚な姿でした。自分が日本人でなければ、彼女をだきしめるのに、さう思ったほど彼女へのいとおしさがこみあげてきました。

電話で見合いの結果を報告する彼女は、はにかんだういいういしい声でした。「すてきな人でした。わたし、とても心ひかれて

職業訓練が実を結び、関西の方に職を得て赴任する彼と結婚して、真弓さんは去りました。

彼女の次男が通う幼稚園の園歌に、彼女の作詞したものが入り選した、それが彼女一家の最新のニュースです。電話線を通して、真弓さんが声をたてて笑うのが伝わってきました。

わたしはいつか真弓さんから聞いた乳児院の火事の話を書きたい誘惑に負けて、結局「あしたは雨」という童話の第二部に

「伝言板の続き。」このままでもいい。天皇の問題（主権在民の視点から）日時11月23日（休日）午後1時より場所山手教会（渋谷駅より5分）

「お話し住みすえ／辻元清美他／主催。」このままでもいい。天皇の問題（主権在民の視点から）日時11月23日（休日）午後1時より場所山手教会（渋谷駅より5分）

入れているから出来るまでに10日かかるので、その間に何が起ころか、今回は特に気になる。首都圏の小学校では、例のじいさんがいつ死ぬかトトカルチョが流行ったとか。こういうまくまい子どもたちが未来を創るのだらうね。誰も当たらないでさうだだけだ。

「おぼえていらっしやらないでしょうが」と彼女は言いました。どういたしまして。

電話の数を、わが家を訪ねてきた真弓さんは、清楚な服装と、白い素顔とい、高校時代から全く年をとっていないように見えました。

彼女は田舎の高校を卒業すると、県庁所在地の児童養護施設に就職して、保護者のいない子どもたちの身の世話をしていたと語りました。そこでのできごとを、いろいろ聞かせてくれました。とりわけ興味深かったのは、彼女が休みをとって自宅にもどった夜に、児童養護施設に隣接する乳児院で火事があった話でした。赤ちゃんをひとりづつ毛布にくるんで柳行李にいれ、非常用滑り台を使って救

出たこと、その応援に彼女の勤めていた施設の年長の子どもたちが行ったことなどです。真弓さんは自分が同僚から聞いた話をしてくれたのです。また聞きとはいえ、夜空にパチパチ音をとてまいてあがる火の粉や、煙のように次々と滑りおりてくる柳行李を、滑り台の下で待ち受けて赤ちゃんをだきあげる養護施設の子どもの真剣な表情が、目に浮かびました。

わたしの胸の底に「よし、この情景を書いてやろう」といういやしい気持ちが高まった。そして、どうやらプロットをくみだしたら、この火事の場面を最も効果的にいかせるだろうかと考えかけたときです。

彼女が「いい経験をする大事な機会だったのに、その場にいな



「おぼえていらっしやらないでしょうが」と彼女は言いました。どういたしまして。

電話の数を、わが家を訪ねてきた真弓さんは、清楚な服装と、白い素顔とい、高校時代から全く年をとっていないように見えました。

彼女は田舎の高校を卒業すると、県庁所在地の児童養護施設に就職して、保護者のいない子どもたちの身の世話をしていたと語りました。そこでのできごとを、いろいろ聞かせてくれました。とりわけ興味深かったのは、彼女が休みをとって自宅にもどった夜に、児童養護施設に隣接する乳児院で火事があった話でした。赤ちゃんをひとりづつ毛布にくるんで柳行李にいれ、非常用滑り台を使って救

出たこと、その応援に彼女の勤めていた施設の年長の子どもたちが行ったことなどです。真弓さんは自分が同僚から聞いた話をしてくれたのです。また聞きとはいえ、夜空にパチパチ音をとてまいてあがる火の粉や、煙のように次々と滑りおりてくる柳行李を、滑り台の下で待ち受けて赤ちゃんをだきあげる養護施設の子どもの真剣な表情が、目に浮かびました。

わたしの胸の底に「よし、この情景を書いてやろう」といういやしい気持ちが高まった。そして、どうやらプロットをくみだしたら、この火事の場面を最も効果的にいかせるだろうかと考えかけたときです。

彼女が「いい経験をする大事な機会だったのに、その場にいな

入れているから出来るまでに10日かかるので、その間に何が起ころか、今回は特に気になる。首都圏の小学校では、例のじいさんがいつ死ぬかトトカルチョが流行ったとか。こういうまくまい子どもたちが未来を創るのだらうね。誰も当たらないでさうだだけだ。

「おぼえていらっしやらないでしょうが」と彼女は言いました。どういたしまして。

電話の数を、わが家を訪ねてきた真弓さんは、清楚な服装と、白い素顔とい、高校時代から全く年をとっていないように見えました。

彼女は田舎の高校を卒業すると、県庁所在地の児童養護施設に就職して、保護者のいない子どもたちの身の世話をしていたと語りました。そこでのできごとを、いろいろ聞かせてくれました。とりわけ興味深かったのは、彼女が休みをとって自宅にもどった夜に、児童養護施設に隣接する乳児院で火事があった話でした。赤ちゃんをひとりづつ毛布にくるんで柳行李にいれ、非常用滑り台を使って救

出たこと、その応援に彼女の勤めていた施設の年長の子どもたちが行ったことなどです。真弓さんは自分が同僚から聞いた話をしてくれたのです。また聞きとはいえ、夜空にパチパチ音をとてまいてあがる火の粉や、煙のように次々と滑りおりてくる柳行李を、滑り台の下で待ち受けて赤ちゃんをだきあげる養護施設の子どもの真剣な表情が、目に浮かびました。

わたしの胸の底に「よし、この情景を書いてやろう」といういやしい気持ちが高まった。そして、どうやらプロットをくみだしたら、この火事の場面を最も効果的にいかせるだろうかと考えかけたときです。

彼女が「いい経験をする大事な機会だったのに、その場にいな

入れているから出来るまでに10日かかるので、その間に何が起ころか、今回は特に気になる。首都圏の小学校では、例のじいさんがいつ死ぬかトトカルチョが流行ったとか。こういうまくまい子どもたちが未来を創るのだらうね。誰も当たらないでさうだだけだ。

「おぼえていらっしやらないでしょうが」と彼女は言いました。どういたしまして。

電話の数を、わが家を訪ねてきた真弓さんは、清楚な服装と、白い素顔とい、高校時代から全く年をとっていないように見えました。

「伝言板の続き。」このままでもいい。天皇の問題（主権在民の視点から）日時11月23日（休日）午後1時より場所山手教会（渋谷駅より5分）

「お話し住みすえ／辻元清美他／主催。」このままでもいい。天皇の問題（主権在民の視点から）日時11月23日（休日）午後1時より場所山手教会（渋谷駅より5分）

入れているから出来るまでに10日かかるので、その間に何が起ころか、今回は特に気になる。首都圏の小学校では、例のじいさんがいつ死ぬかトトカルチョが流行ったとか。こういうまくまい子どもたちが未来を創るのだらうね。誰も当たらないでさうだだけだ。

## エピソード エピソード うちの下宿人



本紙にもたびたび息子のこと「うちの下宿人」のタイトルで書いたことがあり、人さまから「その後、息子さんは？」と聞かれたりしますが、今回はそのエピソードについて書いてみます。

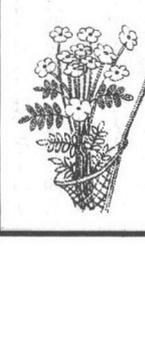
彼は高校2年で中退、中野駅近くの看板屋に就職したので、それが亀有の方に移動したので、彼も昨年暮れ、埼玉県草加にアパートを借りた。2DK車庫付約六万の部屋だから、もうその時から、二人暮らしをするつもりだったのだらう。

2月頃だったか「9月に結婚する。サンパルサも予約して」と言う。前にも書いたかと思うが、相手は中学時代の同級生で、3年の夏休みにほかのギャンブルに連れていった仲間の一

人。その頃から、ぼくらはホッと通称してきた。ただしその頃は、全然恋人関係でも何でもなくて、推定によれば高1か高2の夏休み頃で、エピソードということになる。

彼は高校2年で中退、中野駅近くの看板屋に就職したので、それが亀有の方に移動したので、彼も昨年暮れ、埼玉県草加にアパートを借りた。2DK車庫付約六万の部屋だから、もうその時から、二人暮らしをするつもりだったのだらう。

2月頃だったか「9月に結婚する。サンパルサも予約して」と言う。前にも書いたかと思うが、相手は中学時代の同級生で、3年の夏休みにほかのギャンブルに連れていった仲間の一



「伝言板の続き。」このままでもいい。天皇の問題（主権在民の視点から）日時11月23日（休日）午後1時より場所山手教会（渋谷駅より5分）

## パンフ紹介

障害児が学校に入るとき（発行）障害児を普通学校へ・全国連絡会／定価七〇〇円

この問題にのりこんできた全国の親たちの体験、地域からの報告、運動の資料、Q&Aなど、すぐ実践に役立つものばかりを集めたもの。申込み東京都世田谷区上北沢4・4・11 03・303・4739

嫌いすることもなきさうな気がしてききた。参考までに収支報告をする、費用ははじめて約百万円。これを双方半分ずつ負担ということで、こちら側は親戚その他からの祝儀でほぼバランスがとれた。息子は前からそういうソロバンをはじめていたが、あまりビッターだったので、ぼくの方が驚いてしまった。ただ、これには「返礼」という慣習の支出が含まれていない。ぼくは親戚のような関係には、祝儀は有難いけど、返礼はしませんので、返礼はしない、挨拶状をワープロで送っておいた。怒っているかなあ？

その日の夜は主に中学時代の友達を主催で、原宿のレストランを開いて切り、賑やかにパーティを催っていた。昔々キャンブルに連れていった懐かし顔ぶれもかなりいて、ぼくも楽しんでしまった。息子の友人の中では唯一の優等生で、今T大生のK君が「おじさん、中学時代が一番楽しかったのはあのキャンブル

# 12月号 (No.182)

1988年12月10日 (毎月10日発行)  
1年間予約制(送料共) 2,000円 1部頒価 200円

## 発行 「交流」編集会議

東京都中野区江古田4-17-14 (増野潔気付)  
〒165 電話(03)385-2293  
郵便振替 東京 4-51709



◆「交流」は、いろいろな生活領域から、体制に異議申し立てをして、人々相互の交流と討論と発展のための月刊新聞です。  
◆原稿料は払いません。編集作業も無償です。購読料とカンパによって、印刷費・郵送費をまかないます。

# 育時連の100ヶ月

ますのきよこ

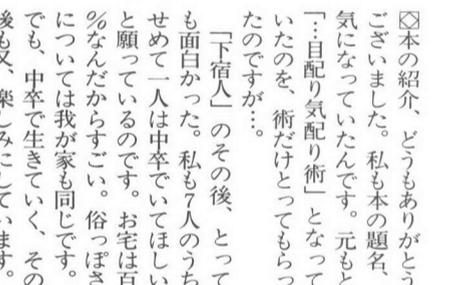
ひょうたんからコマというか、どうやら関西育時連みたいなものが出来たような気がしてきただけで、この際忘れないうちに東京での育時連の歩みを振り返っておこうと思う。

一九八〇年六月三日、「労基法改悪反対、男も女も育児時間を」と題するシンポジウムを、実行委員会方式で開いた。これがそもそもの育時連の母体になるわけだが、参加者は男十五、女十六合せて三十一人という、ささやかな集会だった。直後の二六日に十人で労働省に申し入れに行き、課長補佐氏が「男の育児時間」という話は初めて聞きました」と答えたのが印象的だった。今から思えば、その後労働省は一万社の企業にアンケート調査して、そのうち九〇社が男の育児時間を認めているということが明らかになったのだから結構その時の申し入れの効果はあったのかも知れない。同月二七日「育時連」として継続していくことを申し合せる。しかし、九月三日、初めて育時連として開いたティーンズ「性別分業をなくすには」の参加者十三人で、しばらくは冬の時代がつづく。八一年二月、長らく育児時間問題で争議を続けていた応用物理学会労働組の委託報告集があり、以来この組合との関係ができる。同年五月、メーデー行進に育時連として十六人参加(男10、女6)、以来毎年ピラマキ参加を続けてきた。この月、パンフレット1号の作製にとりかかる。七月には全石油シェル労働組の昼休み集会「女の60分」に丹原とますのが出席、以来この組合とも協力関係ができた。同十二月、黄色表紙パンフレット1号完成。新聞等に紹介され約半年で千部が売り切れた。八三年一月からは、月一回覆



84年2月3日の集会

ケ関ビルの子供たちと、例を再開しようになり、これは昭和とシエルが合併する八五年一月の直前まで続いた。昼休みのため、都心以外の参加は難しくなったが、反面その近くの人は参加しやすいという利点がある。この期間の育時連は比較的活発だったように思う。



84年2月3日の集会

84年2月3日の集会  
84年2月3日の集会  
84年2月3日の集会

85年3月10日田無集会  
85年3月10日田無集会  
85年3月10日田無集会

85年3月10日田無集会  
85年3月10日田無集会  
85年3月10日田無集会

## 元祖・4時間労働

ラッセルおじさんの『怠惰のすすめ』

先月号で紹介したバートランド・ラッセルの4時間労働論を改めて読んでみる。ラッセルが注釈した、今は公立図書館がオンラインで結ばれているらしく、はるばる日比谷図書館から中野区の図書館まで届けてくれた。問題の文は一九六七年に紀伊国屋書店から出たE・フロム編「社会主義ヒューマニズム」下巻に収められている短い論文で、原文は一九三三年に書かれた。しかし、読んでみると、今でも充分通用する。上野千鶴子さんの名セリフ「時代が私に追いついた」をマナて言えば、「ぼくはやつと五〇年前のラッセルに追いついた」ということになるのか？

「私と同世代のほとんどのひとびとと同様、私は『小人閑居して不善を為す』という格言に従ってしつけられた」というのがラッセルさんの書き出しだ。「仕事とは何であるか」と彼は問う。仕事には二種類あって、一つは物の位置を相対的に変えること、二つめは、他の人々にそのように命じることだ、と。ある時、ある数の人々が一日八時間働いて、世間が必要とするものを製造しているとする。労働力二二人ある家でできるはずはない、とAさんは言っている。わしの後継者がここにもいたよと草葉の陰でラッセルおじさん嬉し涙を流しているよ、きつと…… (ますの)



「教師たちははじめだがや」

の巻

NHKの教育特集に出たんだわ。11月13日午後九時放送されたがね。教育はどうか、学校はどうか、かえられるかというテーマなんだけど、要するに、ようわからんのだなこれが。で、「百人の先生」っていう話だけど、本当は、八十三人でよ、どっちかという、かわった先生ばかりかいたがね。

まずは、土井の俊ちゃん、山本の芳幹ちゃん、三人で、名古屋の良心派教師として参加したんだわ。わしらは、某雑誌で、「名古屋のお笑い三人組」と言われた。どっちにしてもいいかげんにしか教育を考えられんのだわ。

ところが来た人は「まじめ」な先生ばかりで、番組の収録前から、待ち合ろうロビーは異様なふんい気だったんだわ。せまいロビーに先生が、八十人もお



つたら大へんだわな。

まず、埼玉の川上先生という人。何と、いちに、いちに、準備体操やとるでいかながね。最近「宝島」なんかで、売りに出たこの先生は、その同志に「オレが切り込みやるから、やばくなったら、バックアップ」とか言ってる。おそろしい人。事実、討論中では、一番ようしゃべったし、テレビにも一番よう出た。

次に法則化の人たち。教育技術の法則化運動の人。早くいえば、「教育QCサークル」の人。この人たちも七、八人来ています。「あ、この人の家では、NHKに出るってんで、親のいかに何から大ききでね」というふうの人や、「ガンバリマス」とやたらはり切っている人たちがいた。この人たちは、雑誌を上げて、打ち合わせしてる。この雑誌は、この人たちの批判しとある……」っていうミーハー

の気分だったんだわ。わしらは、地方の民放の雑な仕事は、よく知ってる。中京テレビの安易な取材には、安易に協力したこともあるわ。ほんでも今日は、NHKのメジャーなふんい気は是非味わおうとわざわざ来たよなもんだ。受信料は払ったらいいんだ。わしらは、出演料ももたらしたし、「美人」アナウンスも見たし、そと帰るよなもんだ。あと言いつつ、けどよ、スタジオへ入ったとたん、ビシッと出入口が閉じられてしまった。まあしょうがない、黙って、時が過ぎるのを待って、夜の酒場へレッツゴーというふんい気だわ。

十月に、保母学の実習で教護院という所へ行って来た。教護院というのは、児童福祉法(四十四条)の規定による児童福祉施設で不良行為をなし、又はなすおそれのある児童で、家庭等において適当な監視が困難なものを入所させ、生活指導、学習指導、職業指導等を通じて、心身の健全な育成をはかる、とある。

もつと簡単に言うと、少年院と比較した場合、へいのない24時間監視で、入所期限がなく、よくなるまで日常生活習慣をはじめとしたしつけを家庭のかわりにやる所だ。

ここは十才一十五才の少年少女が百二十人ほどいた。院内には学校から病院、床屋まであり、寮ごとに十人ぐらいいに分かれ、異年齢が集団生活している。

朝六時半起床。まず清掃、そしてランニング。朝食を食べて登校する。昼食時になると一時帰寮。寮内で食事をして再び登校。夕方帰寮して清掃、自由時間、風呂、夕食と続く。夕食後反省日記を毎日書き、勉強し、就寝前に指導員と反省会をして九時には寝る。休日には、学校へ行っている時間帯は清掃や寮内外の整備などの作業をする。とにかく一日最低二回は清掃で、スミズミまでいねいにやる。床のからぶきは五十往復もやる

本の紹介

「女縁」が世の中を変える 上野千鶴子・電通ネットワーク研究会編 (日本経済新聞社)

この10年女が変わった。変わった女の代表格「主婦」。だが、主婦ということばでよく知られてきた主婦に分解した。主として、分解した主婦の女。分析している。夫の長時間労働を利用し、パパありでもパパ抜きでも外に出かけ、自分のため

の女縁づくりに励む。社縁・血縁でがんじがらめにされている男たちを置き去りにして……。「個人の顔」で「気分はもう自立」して、出かける女も夫の退職が足かせになつたりする。しかし、女縁を育てるには、「ココロザシ」を持ち、「ケ」のある人しか誘わず、地縁・血縁からは浮きあがる。いつやめてもいい拘束性のなさを特徴にして、あくまで個人としての「わたくし源」を大切に。そのコミュニケーションを支えるのは、多少の距離はものともせず、タタ会場にかけつける行動力。もうひとつ強い味方はNNT。名義と支払いが夫、管理と使用は妻専用。こうして作った

いよいよ討論がはじまったがね。「教師は忙しいすぎる」「いや、それは逃げ口上だ」と言った討論が続いた。次に「では、子ども、どのようにつき合うか」とアナウンスが聞かれる。手、パンパン拳が。とにかく、言いたい人ばかりだがね。あつという間に過ぎて、黙っておればええと思つた。一人五分位みんなしゃべつとる。日頃、みんな、つりやあ思いをしとるんだなあという思いやりの気持ちが湧くがや。職員室の様子が一ひとりの先生のしゃべりから、十分想像できる。きつと、

いよいよ討論がはじまったがね。「教師は忙しいすぎる」「いや、それは逃げ口上だ」と言った討論が続いた。次に「では、子ども、どのようにつき合うか」とアナウンスが聞かれる。手、パンパン拳が。とにかく、言いたい人ばかりだがね。あつという間に過ぎて、黙っておればええと思つた。一人五分位みんなしゃべつとる。日頃、みんな、つりやあ思いをしとるんだなあという思いやりの気持ちが湧くがや。職員室の様子が一ひとりの先生のしゃべりから、十分想像できる。きつと、

ぼくの保育日記 (22) 門野悦生

ぼくだけは何杯も食べる子が何人もいた。自由時間等に食べるおやつは月一回園外指導ということで外に出る日があり、そのときに近くの西友ストアなどへ行き、各自買物をする。他にレコードやマンガ本も買ったりして彼らと一緒に一番楽しい時らしい。

ここに来る子どもたちのほとんどが親のいない子で、小さいときから施設にいられている子だ。親がいる子でも、酒乱で

暴力をふるう親だったり、十年以上もふとんをひきっぱなしの生活状況だったり、仕事で家にあまりいない親だったり、親が子育てを放棄しているため、五、六才頃から家出をくり返している児童相談所におくられ、措置会議の結果、ここへ送られてきた。しかし、来た子どもたちのほとんどがここへ来てホットと安心するという。なぜなら大人社会にうらぎられ、コソコソ逃げまわる生活をしているのに比べれば、衣食住の心配がないだけでもまだいいことだ。

赤ん坊の頃、母親にうるさいといわれ、ウイスキーを飲まされて黙させられて育ってきた子、実父にレイプされ、逃げるように家出、売春して生活しているところを捕縛された子。子どもたちが唯一楽しい場所だった学校でさえ、教師は家庭がメチャメチャな状態を最初から差別してきたないとか貧乏だといつてイジめる。友だちもはなれていく

聞けば聞くほど彼らの過去は想像を越えた悲惨なものである。しかも原因は彼らにあるのではなく、親にあり、教師にあり、近所の大人たちが悪化させているのはわかりきっていることばかりだ。そして彼らは大人たちの目からかくれるようにして登壇はコインランドリーや公園のベンチの下などにひそんでいた。僕は正直に聞いて、こういう子どもたちの現状をほとんど知らなかった。見ることもなかった。でもいたんだ。しかも身体も心もスタスタになりながらも必死で生き抜いてきた子たちがここだけでも百人以上いた。こんな過去があれば補導されたときホットとするのは当然かもしれない。保護されたとしても彼らの目つきは完全に人間不信になっており、栄養失調でポロポロの状態だそう。しかし保護されて安心したのかみるみると、目つきもかわらなくなり、思えないほどかわいらしい子どもたちがはかりだつた。ただ時々、ゾッとするような顔つきにかわるのは、十年以上も大人の作った社会環境をうらみ、親をうらんできて、一人で生き抜いてきたというこがあったからだろう。いつか何がこの子たちをこ

田中 泰子

NHK

# 子連れ通学だっただけあるや

## 学生結婚の場合

千葉大学生  
山口典子

夜勤明けの朝八時半、西葛西の駅を出て徒歩三分の自転車置き場へ。この時間はいつも満車だから、愛車を持ち上げて柵の外へ。「よかつた、きょうは故障してないぞ」家までの二十分の道のりは、いつもどこかが工事中だ。ただでさえ歩道や道の端は凸凹が激しいのに、ホント、疲れた腰に響く。あとカラー歩道、あれはよっぽど気をつけてないと足をとられる。別にイライラしたいわけじゃないのに、いつも帰りの道のはムツとしてすごさざるを得ない。

川沿いのサイクリングロードを橋四つ分りげばもうわが家だ。駅を出た頃のカラ元気は失せ、額面通りの眠けと腰痛が訪れた。帰宅。ママと風如(ふにょ)の一日は、大抵私に起こされて始まる。

昼間私がどう過ごすかは、その日のママのスケジュールによって違う。帰ったらパンとココアの朝食というは共通しているが。週四日の夜勤明けのうち、二日は午後夕方からママの予定が入っている。そんな日でも午前中に一回はママが風如を遊びにつれてくれるから助かるけど、それでも睡眠・洗濯・ごはんの仕度・風如の十分な運動・二人の時間・自分の時間のうち、半分満たされるのがやっただ。洗濯物が雨に濡れたり、干した布団が冷えてしまったら、



もし将来それがメインの収入源にならなかつたとしても、最低限自分の住む街で仕事をしたい。それが自然な仕事と生活と地域との関わり方だと思ってる。「勤め人」という形の「例外」が「常識」として君臨し、仕事、隸属、家庭、孤立、地域、消滅を強いられそうな現状は、どうにも憂うつだし、許せない。(タッド)

風如は11月で一才半となり、私といっしょに大学に行くことが多くなってきました。もともとよく寝る子だったのか、生まれてからハイハイするぐらいまでは、夜勤の夫(タッド)といっしょに昼間は寝ていました。だから、私も安心して大学に行ったり、バイトをしたりしていたのですが、ひとり歩きをするようになって、夜勤明けのダッドといっしょに家においていくのは心配になりました。ダッドにとっても、それはプレッシャーのようです。幸い、大学の授業は週一回、バイトは週2回に止まったので、その時だけは、なんとかスケジュールをあわせて家にいらしてあげようとしていました。ママは来春就職に就く予定だ。風如の保育の問題は、まだこれからだ。でも私が今や長く続ける井屋の仕事は、そう長く続ける気はない。私の本業は芝居だが、

も抱っこしてしまつたことが多いです。風如は体重が重い(約13kg)ので、連れていくには覚悟がいりますが、何回か続けて外出するうちに、苦ではなくなりました。

風如を外へ連れていった時、私はまわりの人の反応が気がかりですが、楽しみでもありません。私が教育実習でお世話になった小学校に連れていった時は、小学生は赤ん坊に近い存在のせいか、私の子供だとわかつて、はじめてワァーと近寄ってくるという感じでした。たぶん、生徒の弟とかだったら、それほど興味を示さないでしょう。

中学生になると、中学校に赤坊が来るのが少ないせいかなんかなり大騒ぎをします。高校には、残念ながら行く機会がありません。

この聞き慣れない言葉に、ハテ？と首をかしげる人もいるかも知れませんが、地方誌などでは「レントゲン技師」などと書く新聞社もあります。私が「診療放射線技師」というのが正式の名前です。つまり病院や保健所で「脱いで下さい」と言われてヌード写真を撮る人のこと。同じ放射線技師でも造船所などでボルトのしまり具合などを調べるためにX線を照射する人たちは「診療」という字はくつきません。X線写真を撮る人と簡単に言いましたけど、今は半減期のごく短かい放射線同位元素を使用して医師の指示の下に(撮影も同様)医師の指示がないと法律違反になります。治療や検査をしたりします。医療技術の進歩と高度化に伴い、最近ではコンピュータとX線を組合わせたり、超音波を使用したり装置で診断の情報を提出する仕事もあります。

この仕事をして足かけ二十年、居心地がいいのか、同じ職場に居るわりをつけています。診断装置の進歩はめざましく、子供と仕事の二股かけた私には追いつくのがやっつ。新しい機械が入る時は、使いこなせるかと

をしていると知って、また驚きます。大学の先生は、こういう驚きがありません。私が大学に通いやすと感じているのは、このあたりのものであるように思います。

学生結婚して、子育てしてきしいところかもしれない。先生がたは、家庭科専攻のためか、かなり好意的です。いい教材だ、なんていう先生もいます。ただ、実際に子供を育てたことのない先生は(独身のかたとかは)お気を遣うようです。どう接したらいいのかわからない、という感じ。子育ての経験のある先生は、風如が研究室で遊びはじめるとおもしろい。

小学校でも、中学校でも、先生がたは私が持ちであることに驚きます。そして、昼間預けないで二人でかわるがわる世話

进行交流

日時 12月10日(土) 2時~5時  
きもの販売 / 7時~交流会(歌/寸劇他)

場所 小金井教職員住宅集会所 上野原会館(武蔵小金井駅北口7分)

問合せ 差別と自立を考える私たちの会 0423・84・0326 (黒崎方・夜のみ)

青時連の1月例会  
日時 1月12日(木) 6時半  
会場 (お茶の水) ルノール 294・7675

男の子育てを考える会例会  
日時 1月21日(土) 6時  
場所 平山宅  
問合せ 923・7038 6327

# 現代職業カタログ (36)

## 診療放射線技師

仙台 齊藤洋子

放射線障害が気になるだろうと思いが、原発とは比べものにならないほど微量です。私が勤務する病院では放射線治療を行っていませんが、X線だけの病院内(一応総合病院で大きな病院です)の中ではいちばん給料が安いのです。しかし、今どき女性で年収四〇〇万近く稼げる職業はなかなかないのでないかと思えます。

この職業については、高校を卒業してから各地にある医療短大か放射線技師学校(両方共3

性代わってくれるのです)男性の同年令の人よりは下がります。ただし、私の住むこの都市の病院(一応総合病院で大きな病院です)の中ではいちばん給料が安いのです。しかし、今どき女性で年収四〇〇万近く稼げる職業はなかなかないのでないかと思えます。

この職業については、高校を卒業してから各地にある医療短大か放射線技師学校(両方共3

# むかし、わたしの生徒だった人たち (3)

佐々木 赫子



春のわかれ

秀樹くんが郷里で町会議員をしていて彼の同級生の一人から聞いたとき、わたしははたり顔に相槌をうったものです。「ははん。さては、おやじさんの地盤をひきついでな」彼の父親が地域のちよつとした勢力家という、二十数年前に聞いた話を思い出したのです。秀樹くんが高校に入学した春に、わたしも新米の一年生教師としてその学校に赴任しました。よく遅刻して「パスが遅れた」と弁解し、「パスが遅れた、だろが」と担任にいやみを言われていたときの、彼のふくれ面がよよく印象に残っています。その学校では、教師は研究室と称する教科毎の小部屋に自分の机を持っていました。職員室より出入りしやすいとみえて、この部屋には生徒たちがたえず遊びにやってきました。秀樹くんも親友とつれだつて何度かきました。が、しゃべるのはもっぱら友人で、彼自身は憂鬱そうにだまっていただけでした。秀樹くんの屈託の原因を、その親友は自分ひとりですべて聞かせてくれました。いわく、秀樹くんは現在べつつのクラスの〇〇さんに片思いしているが、うちあけられずに悩んでいる。いわく、地域勢力家の父親を嫌っている。おやじの顔も見たくないと思っている。いわく、数学の試験で落第点をとった、などなどです。彼らより六、七才年長のわたしは「したたりやまぬ日のひかり／＼うつつまわる水ぐるま」

で始まる厚星の詩を口に、先輩つらで、青春は憂鬱なものよと、うそぶきました。詩は「二日もの言わず／野にいでてあゆめば／菜種のはなは波をつくりて／いまははや／しんにさびしいぞ」とむすぶのです。やがて秀樹くんは東京の大学に進み、わたしも郷里を離れ、彼の消息を耳にすることもなく二十数年がたちました。秀樹くんから突然電話をもらったのは、町会議員うんぬんという話を聞いてまもなくです。自分がPTA会長をしている小学校で、何か話をしてくれという用件でした。実は、そのすこし前に郷里の新聞社が特集シリーズの何回目かに、その土地を舞台にしたわたしの童話作品をとりあげたことがあり、それ

がきっかけで、わたしは郷里に講演に行くことになったのです。そのことを知った秀樹くんが、どうせ来るのならついて自分の学校でしゃべって行けというのです。PTAの予算の残りを何に使おうか思案しよつたんだぞ。来てもらやあ、金がかたついてええあんばいじゃけえ」と、彼は講演依頼の趣旨を説明しました。わたしのような者にも、何かしゃべれといふ話とはときどきこまれます。が、こんなに率直に理由を述べられたのは、はじめてです。目の奥にあの口の重かった少年像がうかがひが、消え去り、わたしは笑ってしまいました。「で、わたしは何について話せばいいの」

「まあ、児童文学と現代の教育問題」とでもいう題でどうじやろか。なかみは何でもええぞ。先生、授業中にしじゅう脱線して、漫談やっつて生徒を笑わせよつたらう。あの調子でしゃべつてもらやあ、ええわな」と紙に大きく書いて貼つとく

今朝、僕は大笑いしながらわが家を出た。笑いは意識的な禁欲から発生すると、かつて種村季弘が何かに書いており、そう僕も信じている。

いつものように慌しい朝食の時間に、近ごろ毎日楽しみにしているあの歌が流れてこない。それは、フジテレビの人気番組「開けポンキッキ」でこのころわが家で評判の「たなあげおんど」という挿入歌のことだ。

月ほうらでたぞ またでたぞ たなあげほうやがでたきたぞ テレビみながらごはんをたべてはいけません ママいうけれど

どうしてパパだといわないんだらう ほくだとダメで、パパはいい パパだとよくてぼくはダメ

ほうらでたぞ またでたぞ たなあげほうやがでたきたぞ ヤッコラセイのかけこいで じぶんのじぶんのじぶんのこ

とはたなにあげ たなにあげ たなにあげましょ げんきなひけつ たなにあげましょ たなあげおんど

(事情通の方は、この曲がつかこうへいの作詞によっていることも存知かもしれない)

子供に尋くともう終わったという。残念無念で僕は朝メシにとりかかった。その時、その歌のとおり自分のことは棚に上げるお父さんの目に飛びこんできたものは、「毎日新聞」の朝刊の三面記事の見出しだった。そこにはこう書かれてあった。

「疑惑棚上げ 税ゴリ押し」(衆院税特委の強行採決に関する記事)

今朝の出勤はいつも増して大笑いで初まったのである。

丸山真男なる社会学者が31年前に著した名著「日本の思想」を初めてきちんと読んだ。この本の中には、棚上げ社会

の構造が実に的確に分析されて、久々に読書で昂奮したのだ。

天皇制の核心のことも、学界のタクソボ化のことも、組織の自然成長性のことも、よくわかる。たつた四八〇円で近代日本の一〇〇年の構造がわかる。安いものだ、最近、僕が経営

学生としての社会勉強をしてきた僕は、いきがかりと青くさいつばりやまぶしたような動機で、学生仲間5人と会社を作つた。とりのあえす喰うためと「〇〇からの自由」が得たいというのが本音だったかもしれない。以来14年、会社は二〇〇人近い社員数にふくれあがり、業界

間なので、承知しました。郷里での先約の講演をすませた夜、わたしのために、秀樹くんと同じクラスだった何人かが集まってくれました。彼らの卒業以来はじめて会う人がほとんでした。会社の会議をぬけだして出席してくれた人もいれば、わざわざ大阪からかけつけてくれた人もいます。彼は新幹線の最終で帰っていきましたが、奈良の自宅に真夜中すぎにいたので、おまかせしてしまいました。秀樹くんも来てくれました。

「町会議員センセイよ。そのうち、おまえが何かの利権にやらんで贈収賄汚職をやつたちゅうて新聞に載りやせんかと、おれは今からひやひやとるがな」誰かがそう言つてからかいます。にやにや聞き流している秀樹くんの小聲には、誰より早く白いものがまじっていました。わたしにとつて大感激の一夜の終わりごろ。

「あしたは「児童文学散歩」と紙に大きく書いて貼つとく

とがある。「忙しい」という言葉。電話でたびたび使われるこのあいさつ時の常套句に僕は「僕は「忙しい」という観念をもっていない」と答えているのだけれど、それは次のような理由による。「忙しい」という言葉は、「何かしたいのだけれどそれをやる時

は好むと好まざるを問わず自己商品化を意味する。自己商品化を進めながら、組織化をしていくということは、他人に対するおせっかいの質が問われてくる。俗に言う「責任」というやつだが、本質的にも「責任」を背負う。何故なら、己れにとって最も関心が深く、強敵としている「商品」という観念と「実体」を、現実の活動は主たる媒介項(共通の言語)として

この危い道筋は、しかし、「〇〇への自由」を選択した人には避けられないものだ、このことは今や確信の段階に入っている。「何故」に端を発する僕の自己学習法は、次に「対象に身をぶつけ」そして「対象から身を離す」という自分流のジャーナリズム精神の発揮の仕方に行きついてしまった。そして、この精神は、極めて優れた世界(その中に自分を含む)の確認法でもあるようだ。

14年間の職業生活は、「何故?」の連続だった。喰うという活動

## タナ上げ会社を経営してみよう

枚田 繁

する(でも社長ではない)映像制作会社で愛読されている。僕は24時間のうちの大部分をこの会社の組織時間に費しているのだが、この本が、今、会社の幹部・社員の間で真剣に読まれていることに、時間の値うちと組織の品質を味わっている。

丸山真男なる社会学者が31年前に著した名著「日本の思想」を初めてきちんと読んだ。この本の中には、棚上げ社会



田中由布子さんからの投稿があったが、のせきれないので次号掲載の予定。

読者の佐藤昭昭さんからの依頼。NHKで放映された「運ずきた聖断」、ぜひ観たいので、誰かビデオに収録した人がいたら借りたいとのこと。お心当りの方はお手数ながら本紙までお電話を。

先月号の「とかく論争とゆーものは」の中で、朝日ジャーナルの記事(桂秀実さんの署名入り文)を引用したが、その後、同誌11月4日号に、金子力さんが、その記事に対する反論を書いていて、それによると、JICC出版の「アグネス論争を読む」パートIIが出版された。主因は、林真理子さん側にあるとのこと。こうなると、ほくにはもう「ヤブの中」……。

話変わって、育時連の田尻研治さんが、俳優の津川雅彦さんから表彰されたそう。なーんてかとうと、田尻さんが、賃金カットされながらも子どもの保育園送迎のために、勤務時間を削っているという新聞記事を読み、津川さんがいたく感激。津川さん自身、手作りオモチャの店を開いたりしている、なかなかの夢の持主。それで、意気投合したとゆーわけ。

育時連としても、とにかく受賞はメダタイ、とゆーことになり、12月23日に受賞祝賀パーティー兼忘年会を開くことになった。場所は原宿のASRA・Kという、毛利敏子さんが最近始めた貸切り専用の小レストラン。

12月11日の「関西版・花の外野席」を開く機会に、関西育時連みたいなものがないかなあ、と前にも書いたが、本紙読者や育時連、Pフ読者合わせて約40人に呼びかけたところ、5人(男2・女3)から、旗上げメンバーになってほしいとの返事。他に、応援団くらいなら、という人も3人いるので、なんとかかなりそうな気配になってきた。なーに東京だって常連は10人くらいだもの。